

平成29年
3月議会提出議案
(当初予算分)

主要事項説明書

目次

平成29年度当初予算の概要	2
---------------------	---

◆会計別予算額一覧	3
◆一般会計予算概要と市税の状況	4
◆一般会計歳入予算	6
◆一般会計歳出予算（目的別）	8
◆一般会計歳出予算（性質別）	10
◆基金と市債の残高	12

平成29年度当初予算 主要事項	13
-----------------------	----

◆平成29年度予算 市長公約事業「新時代 福知山へ」	14
◆平成29年度予算 「森の京都」・「海の京都」関連事業一覧	17
◆平成29年度予算 公共施設マネジメント推進事業一覧	17
◆平成29年度予算 中長期計画に基づく対応 主要事業一覧	18

平成29年度当初予算の概要

◆会計別予算額一覧

平成29年度 各会計予算集計表

(単位 千円)

会 計 別		平成29年度	平成28年度	増減額	伸率(%)	
一 般 会 計		39,480,000	41,250,000	△ 1,770,000	△ 4.3	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	9,267,100	9,352,000	△ 84,900	△ 0.9	
	国 民 健 康 保 険 診 療 所 費	47,400	50,400	△ 3,000	△ 6.0	
	と 畜 場 費	32,500	32,500	0	0.0	
	簡 易 水 道 事 業	—	834,000	△ 834,000	皆減	
	宅 地 造 成 事 業	22,600	22,500	100	0.4	
	休 日 急 患 診 療 所 費	22,900	23,100	△ 200	△ 0.9	
	公 設 地 方 卸 売 市 場 事 業	6,600	6,700	△ 100	△ 1.5	
	農 業 集 落 排 水 施 設 事 業	972,800	1,059,000	△ 86,200	△ 8.1	
	石 原 土 地 区 画 整 理 事 業	609,000	700,600	△ 91,600	△ 13.1	
	福 知 山 駅 周 辺 土 地 区 画 整 理 事 業	—	64,400	△ 64,400	皆減	
	介 護 保 険 事 業	保 険 事 業 勘 定	8,451,200	8,106,600	344,600	4.3
		介 護 サービス 事 業 勘 定	21,600	22,400	△ 800	△ 3.6
	河 守 土 地 区 画 整 理 事 業	—	18,800	△ 18,800	皆減	
	下 夜 久 野 地 区 財 産 区 管 理 会	172	172	0	0.0	
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	1,934,400	1,862,700	71,700	3.8	
地 域 情 報 通 信 ネットワーク 事 業	1,993,200	1,171,000	822,200	70.2		
12 特別会計 小計 (前年度15特別会計)		23,381,472	23,326,872	54,600	0.2	
企 業 会 計	水 道 事 業	4,670,500	3,045,100	1,625,400	53.4	
	下 水 道 事 業	7,292,500	6,956,400	336,100	4.8	
	病 院 事 業	福 知 山 市 民 病 院	13,908,791	12,625,800	1,282,991	10.2
		大 江 分 院	892,264	851,400	40,864	4.8
		14,801,055	13,477,200	1,323,855	9.8	
3 企業会計 小計		26,764,055	23,478,700	3,285,355	14.0	
16 会計 合計 (前年度19会計)		89,625,527	88,055,572	1,569,955	1.8	

◆一般会計予算概要と市税の状況

一般会計 予算概要

(単位 千円、%)

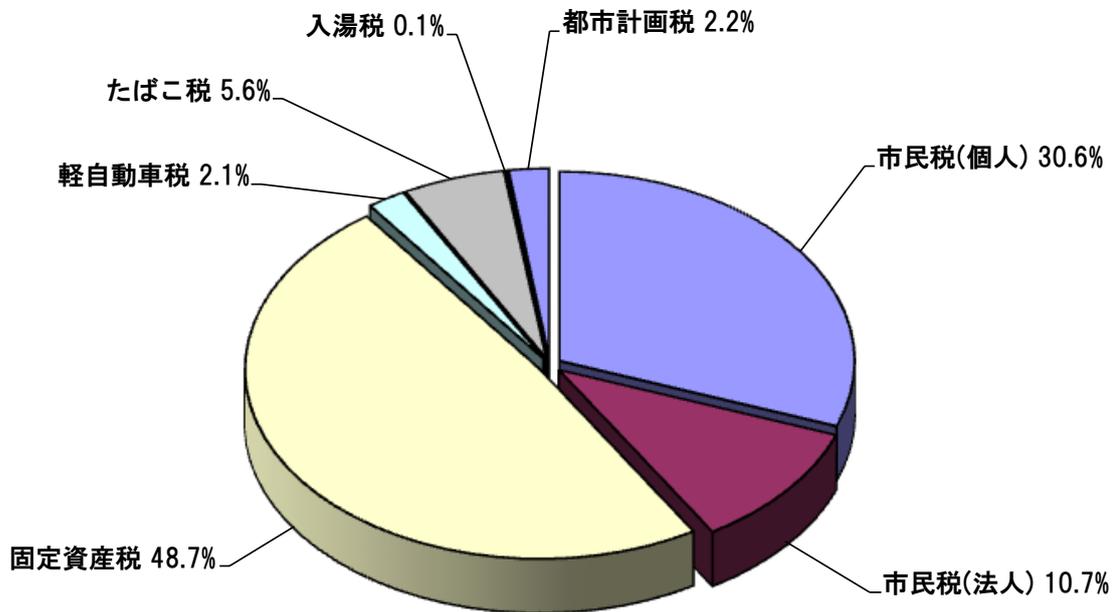
区 分		平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	伸 率 (A)/(B)(%)	構 成 比	
					平成29年度	平成28年度
総 額		39,480,000	41,250,000	△ 4.3	100.0%	100.0%
財源 区分	自 主 財 源	15,628,694	15,409,555	1.4	39.6%	37.4%
	依 存 財 源	23,851,306	25,840,445	△ 7.7	60.4%	62.6%
歳入	市 税	11,589,814	11,536,264	0.5	29.4%	28.0%
	市 債	3,786,800	4,244,700	△ 10.8	4.3%	3.5%
	臨時財政 対策債	1,709,400	1,439,000	18.8	4.3%	3.5%
	合併特例債	907,000	915,500	△ 0.9	2.3%	2.2%
	そ の 他	1,170,400	1,890,200	△ 38.1	3.0%	4.6%
歳出	義務的経費	20,737,901	20,683,907	0.3	52.5%	50.1%
	投資的経費	2,692,356	4,728,576	△ 43.1	6.8%	11.5%
	その他の経費	16,049,743	15,837,517	1.3	40.7%	38.4%

市 税 の 状 況

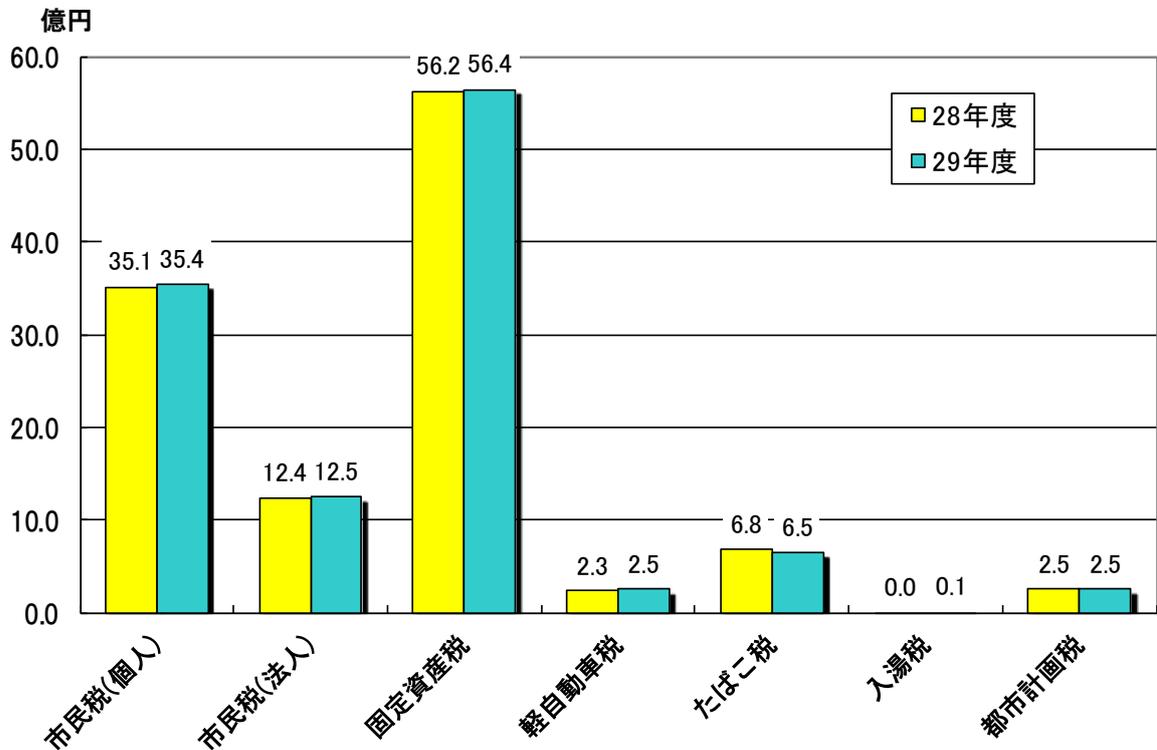
(単位:千円)

区 分		平 成 2 9 年 度		平 成 2 8 年 度		増 減 額	伸 率 (%)
		予算額	構成比	予算額	構成比		
市 民 税	個 人	3,541,063	30.6%	3,512,430	30.4%	28,633	0.8
	法 人	1,246,275	10.7%	1,235,468	10.7%	10,807	0.9
固定資産税	固定資産税	5,611,897	48.4%	5,591,558	48.4%	20,339	0.4
	国有資産等	32,720	0.3%	31,433	0.3%	1,287	4.1
軽 自 動 車 税		249,263	2.1%	232,203	2.1%	17,060	7.3
た ば こ 税		649,532	5.6%	680,203	5.9%	△ 30,671	△ 4.5
鉱 産 税		1	0.0%	1	0.0%	0	0.0
入 湯 税		6,901	0.1%	3,904	0.0%	2,997	76.8
都 市 計 画 税		252,162	2.2%	249,064	2.2%	3,098	1.2
計		11,589,814	100.0%	11,536,264	100.0%	53,550	0.5

H29 市税の構成比



市税の前年度比較



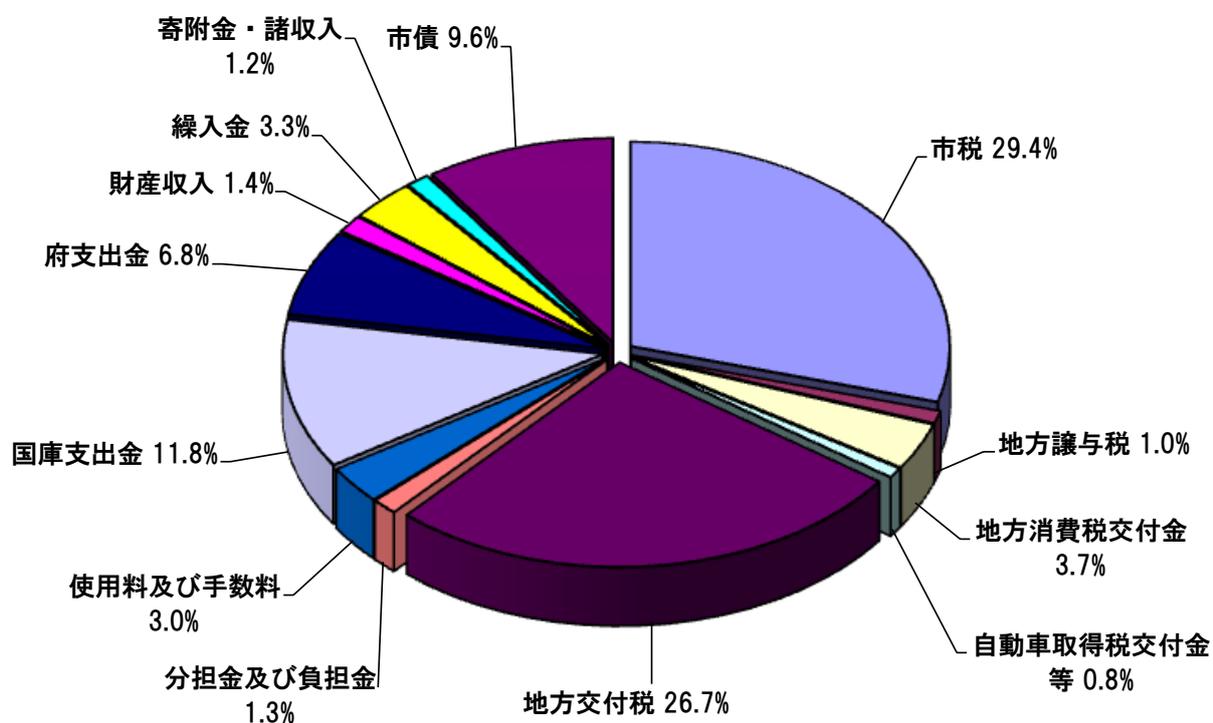
◆一般会計歳入予算

平成29年度 一般会計予算

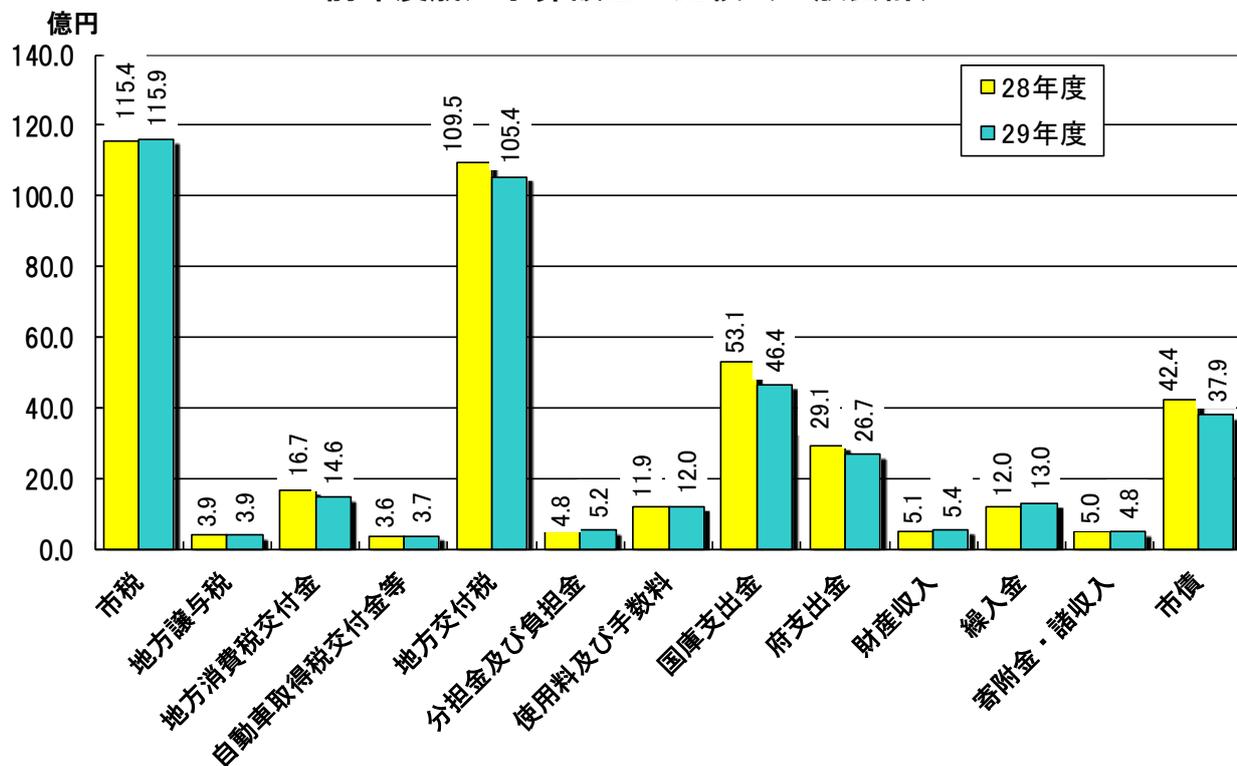
(単位 千円)

科 目	歳		入			
	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	増減額 (B)	伸率(%) (C)/(B)	平成29年度 構成比(%)	平成28年度 構成比(%)
市 税	11,589,814	11,536,264	53,550	0.5	29.4	28.0
地 方 譲 与 税	386,000	392,000	△ 6,000	△ 1.5	1.0	1.0
利 子 割 交 付 金	4,000	25,000	△ 21,000	△ 84.0	0.0	0.1
配 当 割 交 付 金	91,000	91,000	0	0.0	0.2	0.2
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	60,000	60,000	0	0.0	0.1	0.1
地 方 消 費 税 交 付 金	1,460,000	1,670,000	△ 210,000	△ 12.6	3.7	4.0
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	7,000	10,000	△ 3,000	△ 30.0	0.0	0.0
自 動 車 取 得 税 交 付 金	117,000	88,000	29,000	33.0	0.3	0.2
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	22,000	18,000	4,000	22.2	0.1	0.1
地 方 特 例 交 付 金	56,000	50,000	6,000	12.0	0.1	0.1
地 方 交 付 税	10,537,000	10,948,000	△ 411,000	△ 3.8	26.7	26.5
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	14,000	15,000	△ 1,000	△ 6.7	0.0	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	522,671	484,276	38,395	7.9	1.3	1.2
使 用 料 及 び 手 数 料	1,198,971	1,189,851	9,120	0.8	3.0	2.9
国 庫 支 出 金	4,641,759	5,313,768	△ 672,009	△ 12.6	11.8	12.9
府 支 出 金	2,668,747	2,914,977	△ 246,230	△ 8.4	6.8	7.1
財 産 収 入	535,726	505,219	30,507	6.0	1.4	1.2
寄 附 金	131,501	12,301	119,200	969.0	0.3	0.0
繰 入 金	1,300,691	1,198,913	101,778	8.5	3.3	2.9
諸 収 入	349,320	482,731	△ 133,411	△ 27.6	0.9	1.2
市 債	3,786,800	4,244,700	△ 457,900	△ 10.8	9.6	10.3
うち臨時財政対策債	1,709,400	1,439,000	270,400	18.8	4.3	3.5
歳 入 合 計	39,480,000	41,250,000	△ 1,770,000	△ 4.3	100.0	100.0

H29 一般会計歳入予算の構成比



前年度歳入予算額との比較（一般会計）



◆一般会計歳出予算（目的別）

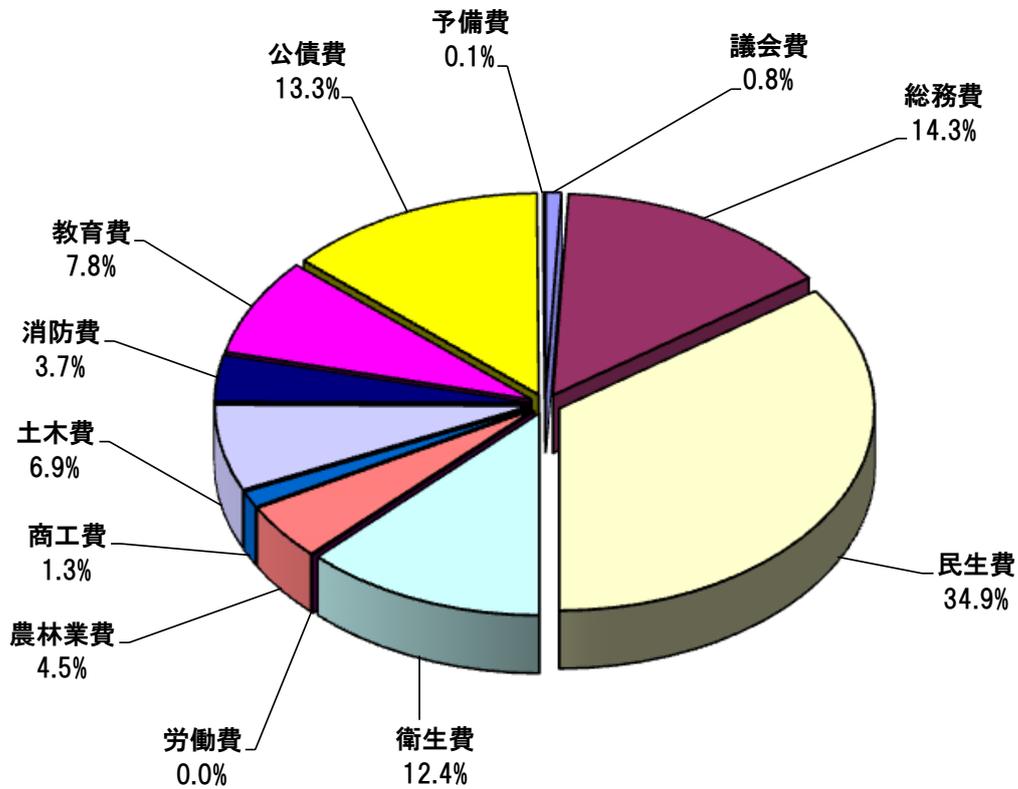
（単位 千円）

科 目	歳 出		増減額 (A) - (B) (C)	伸率(%) (C) / (B)	平成29年度 構成比(%)	平成28年度 構成比(%)
	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)				
議 会 費	305,719	304,838	881	0.3	0.8	0.7
総 務 費	5,632,706	5,525,812	106,894	1.9	14.3	13.4
民 生 費	13,782,995	13,707,557	75,438	0.6	34.9	33.2
衛 生 費	4,898,213	5,376,633	△ 478,420	△ 8.9	12.4	13.0
労 働 費	19,332	21,314	△ 1,982	△ 9.3	0.0	0.1
農 林 業 費	1,758,041	2,000,776	△ 242,735	△ 12.1	4.5	4.9
商 工 費	510,185	465,447	44,738	9.6	1.3	1.1
土 木 費	2,732,372	3,051,711	△ 319,339	△ 10.5	6.9	7.4
消 防 費	1,443,366	1,577,544	△ 134,178	△ 8.5	3.7	3.8
教 育 費	3,093,849	3,581,498	△ 487,649	△ 13.6	7.8	8.7
公 債 費	5,253,222	5,446,870	△ 193,648	△ 3.6	13.3	13.2
予 備 費	50,000	50,000	0	0.0	0.1	0.1
災 害 復 旧 費	-	140,000	△ 140,000	△ 100.0	0.0	0.4
歳 出 合 計	39,480,000	41,250,000	△ 1,770,000	△ 4.3	100.0	100.0

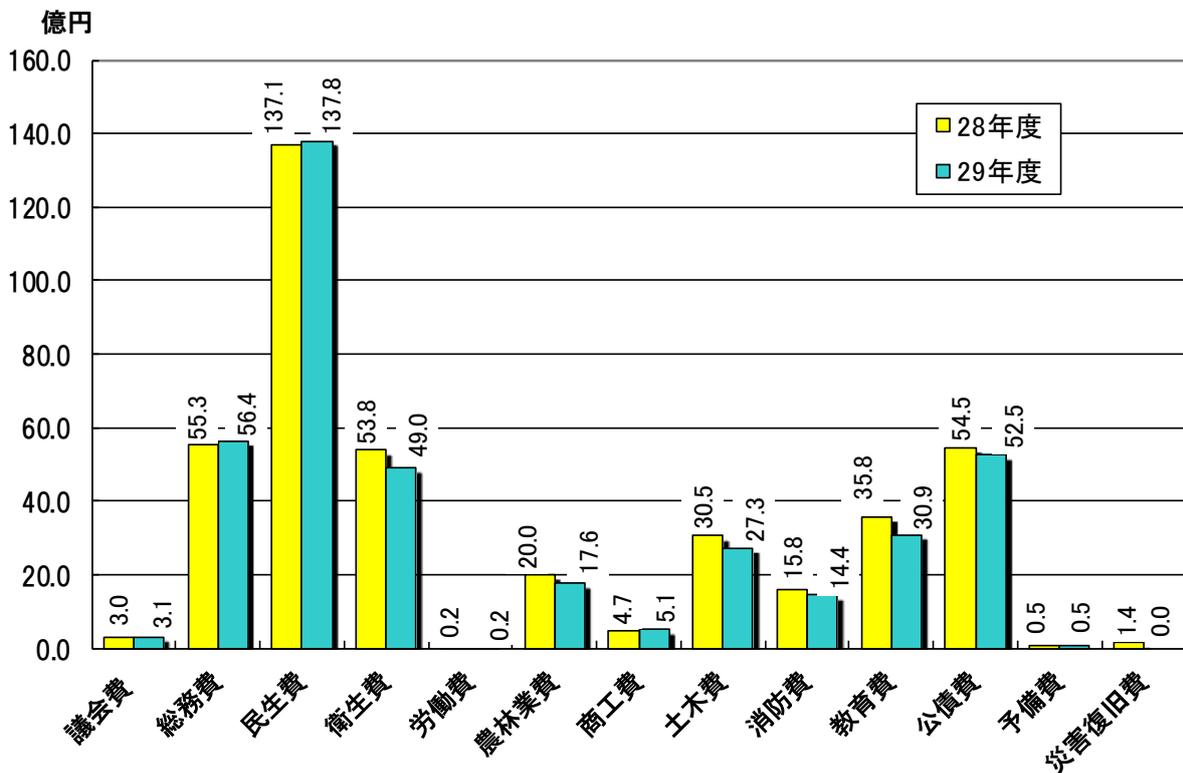
（再掲）いわゆる教育予算（教育費+児童福祉費（子育て支援））

科 目	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	増減額 (A) - (B) (C)	伸率(%) (C) / (B)	平成29年度 構成比(%)	平成28年度 構成比(%)
い わ ゆ る 教 育 予 算	8,294,525	8,783,259	△ 488,734	△ 5.6	21.0	21.3
教 育 費	3,093,849	3,581,498	△ 487,649	△ 13.6	7.8	8.7
児 童 福 祉 費	5,200,676	5,201,761	△ 1,085	△ 0.0	13.2	12.6

H29 歳出予算の構成比（一般会計・目的別）



前年度歳出予算額との比較（一般会計・目的別）



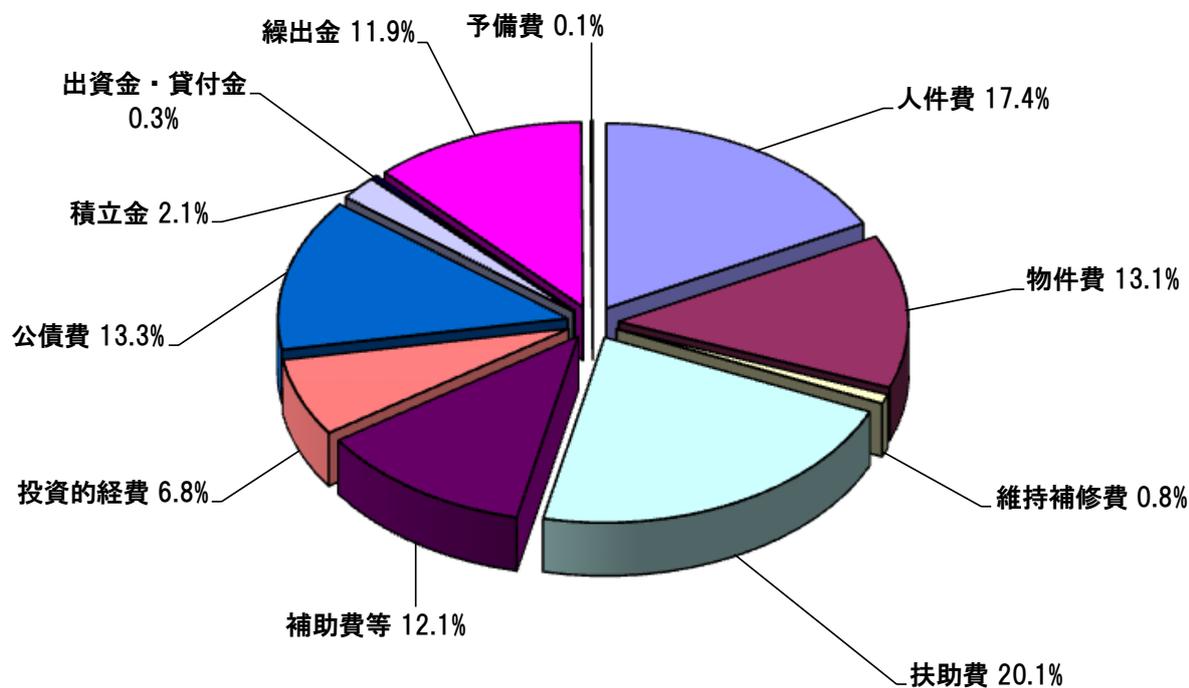
◆一般会計歳出予算（性質別）

一般会計 性質別 予算

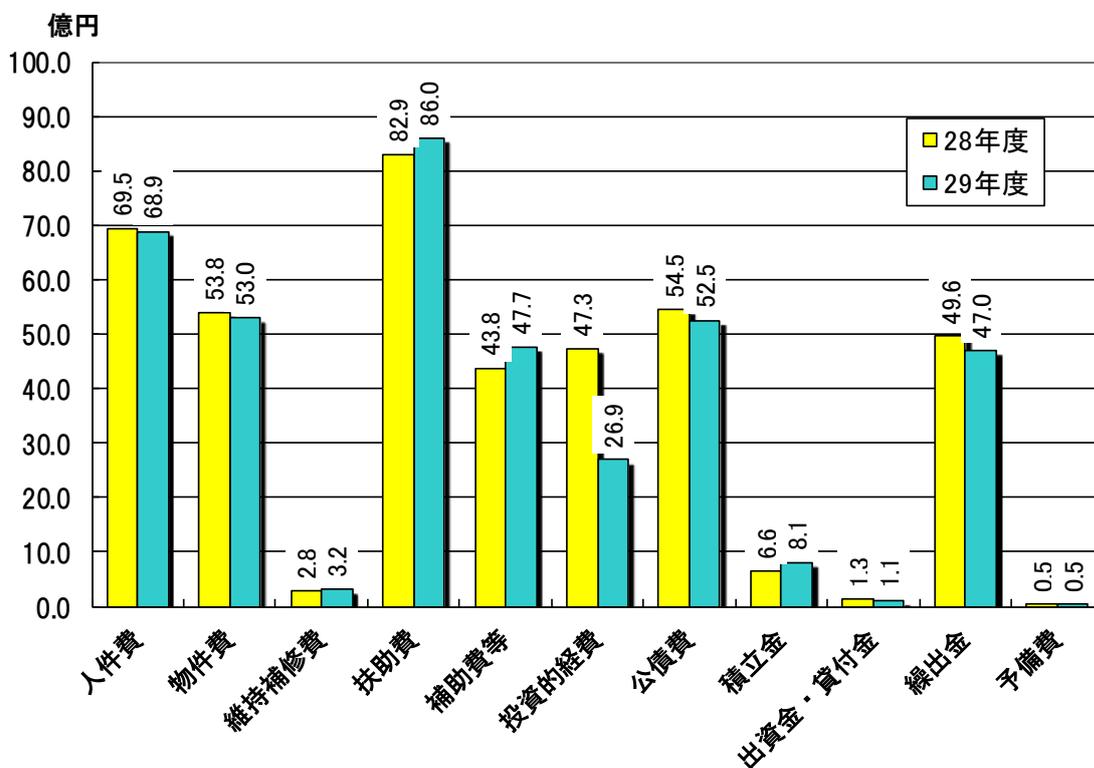
(単位 千円)

区 分	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	伸率(%) (C)/(B)	平成29年度 構成比 (%)	平成28年度 構成比 (%)
人 件 費	6,886,479	6,946,059	△ 59,580	△ 0.9	17.4%	16.8%
うち 議員給与費	169,572	168,333	1,239	0.7	0.4%	0.4%
うち 職員給与費	4,924,232	4,977,487	△ 53,255	△ 1.1	12.5%	12.1%
物 件 費	5,295,205	5,382,879	△ 87,674	△ 1.6	13.4%	13.1%
維持補修費	316,020	282,443	33,577	11.9	0.8%	0.7%
扶 助 費	8,598,200	8,294,124	304,076	3.7	21.8%	20.1%
補助費等	4,766,982	4,376,512	390,470	8.9	12.1%	10.6%
投資的経費	2,692,356	4,728,576	△ 2,036,220	△ 43.1	6.8%	11.5%
うち人件費	161,890	228,545	△ 66,655	△ 29.2	0.4%	0.6%
普通建設 事業費	2,692,356	4,588,576	△ 1,896,220	△ 41.3	6.8%	11.1%
補助事業費	643,406	2,032,883	△ 1,389,477	△ 68.4	1.6%	4.9%
単独事業費	2,048,950	2,555,693	△ 506,743	△ 19.8	5.2%	6.2%
災害復旧 事業費	0	140,000	△ 140,000	皆減	0.0%	0.4%
公 債 費	5,253,222	5,446,870	△ 193,648	△ 3.6	13.3%	13.2%
積 立 金	814,774	656,856	157,918	24.0	2.1%	1.6%
出資金・貸付金	104,236	126,300	△ 22,064	△ 17.5	0.3%	0.3%
繰 出 金	4,702,526	4,959,381	△ 256,855	△ 5.2	11.9%	12.0%
予 備 費	50,000	50,000	0	0.0	0.1%	0.1%
計	39,480,000	41,250,000	△ 1,770,000	△ 4.3	100.0%	100.0%

H29 歳出予算の構成比(一般会計・性質別)



前年度歳出予算額との比較(一般会計・性質別)



◆基金と市債の残高

○ 一般会計の基金残高の状況

(単位 千円)

	H27年度末 決算	H28年度末 残高見込	H29年度(見込)			
			元金積立	利子積立	取崩	年度末残高
		(A)	(B)	(C)	(D)	(A)+(B)+(C)-(D)
財源対策のための基金	5,011,125	4,960,776	266,399	10,216	381,920	4,855,471
財政調整基金	2,294,441	2,368,023	-	5,011	-	2,373,034
減債基金	1,549,646	1,423,146	104,303	2,904	228,829	1,301,524
公共施設等総合管理基金	-	-	162,096	20	153,091	9,025
合併算定替減対策基金	1,167,038	1,169,607	-	2,281	-	1,171,888
地域振興基金 <small>(※合併特例債を発行して積み立てた基金)</small>	2,677,972	2,648,514	-	5,172	268,731	2,384,955
その他の基金	3,243,739	3,281,739	526,707	6,279	650,040	3,164,685
鉄道網整備事業基金	237,238	300,567	37,507	525	5,000	333,599
第三セクター等改革推進債償還基金	26,011	2,930	186,864	32	180,000	9,826
その他の基金	2,980,490	2,978,242	302,336	5,722	465,040	2,821,260
合計	10,932,836	10,891,029	793,106	21,667	1,300,691	10,405,111

※定額運用基金・特別会計を除く

○ 市債残高の状況

(1) 一般会計

(単位 千円)

	H27年度末 現在高	H28年度末 現在高見込	H29年度中 増減見込		
			起債見込	償還見込	年度末残高見込
		(A)	(B)	(C)	(A)+(B)-(C)
合計	51,674,439	52,141,684	3,786,800	4,574,865	51,353,619
合併特例事業債 ①	14,713,741	15,645,439	907,000	985,156	15,567,283
第三セクター等改革推進債	1,538,531	1,090,935	-	365,267	725,668
過疎対策事業債	3,826,687	3,530,485	428,400	537,766	3,421,119
辺地対策事業債	582,686	667,103	9,000	30,281	645,822
臨時財政対策債	16,303,683	16,848,878	1,709,400	1,049,928	17,508,350
その他の市債	14,709,111	14,358,844	733,000	1,606,467	13,485,377

(2) 地域情報通信ネットワーク事業特別会計

(単位 千円)

合計	2,225,008	1,666,328	998,900	750,673	1,914,555
合併特例事業債 ②	2,225,008	1,559,428	95,600	750,673	904,355
過疎対策事業債 ③	-	101,500	757,000	-	858,500
辺地対策事業債 ④	-	5,400	146,300	-	151,700

(参考) 合併特例事業債

(単位 千円)

①+②	16,938,749	17,204,867	1,002,600 ^(D)	1,735,829	16,471,638
合併特例事業債の発行額 累計(H18～)	H27年度末	H28年度末 (見込)	H29年度末 (見込)	発行可能総額 (合併時に決定)	H29以降 発行可能残額
		(E)	(F)=(D)+(E)	(G)	(G)-(F)
	20,728,500	22,499,200	23,501,800	26,966,700	3,464,900

平成29年度当初予算 主要事項

◆平成 29 年度予算 市長公約事業 「新時代 福知山へ」

「新時代 福知山へ」

新時代・福知山を拓く基盤づくり重点事業

70事業 16,311,415千円（特別会計を含む）

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費 (千円)	ページ
------	-----	-------	------	-------------	-----

1 医療・介護・福祉・子育ての充実した暮らしづくり

1	病院事業	市民病院事務部	拡充	14,801,055	163
2	医療・介護・福祉総合確保ビジョン検討事業	高齢者福祉課	継続	992	22
3	介護者支援事業	高齢者福祉課	新規	2,687	23
4	高齢者日常生活支援事業	高齢者福祉課	拡充	2,535	24
5	生活支援・介護予防サービス基盤整備事業(介護特会)	高齢者福祉課	拡充	11,615	157
6	介護予防・生活支援サービス事業(介護特会)	高齢者福祉課	新規	129,244	157
7	情報コミュニケーション施策推進事業	社会福祉課	新規	294	25
8	福祉医療費(障害)給付事業	社会福祉課	継続	213,617	26
9	産前・産後サポート事業	子育て支援課	新規	274	27
10	のびのび福知っ子就学前発達支援事業(発達障害者支援体制整備事業)	子育て支援課	拡充	21,350	28
11	くりのみ園運営事業	子育て支援課	拡充	16,771	28
12	学童期支援教室運営事業	子育て支援課	拡充	594	28
13	子どもの貧困対策プロジェクト事業	子育て支援課	新規	278	30
14	地域で支える「地域未来塾」開講事業	生涯学習課	拡充	4,021	31
15	「絆」プロジェクト 手話のできる人材育成推進事業	地域福祉課	継続	960	32

2 安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり

1	つつじが丘・向野団地建替事業	建築課	新規	7,000	33
2	地域コミュニティ交通導入モデル事業	生活交通課	新規	1,187	34
3	(仮称)三和学園整備事業	教育総務課	新規	13,500	35
4	(仮称)三和学園準備事業	教育総務課	新規	104	35
5	「知の拠点」整備構想策定事業	大学政策課	新規	10,550	36
6	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業	大学政策課	新規	31,294	37
7	水防センター整備事業	消防本部警防課	新規	12,600	38
8	防災行政無線整備事業	危機管理室	拡充	3,082	39
9	調節池整備事業	土木課	継続	325,000	40
10	ため池等農地災害危機管理対策事業	農林管理課	継続	27,500	41
11	農村地域防災減災事業	農林管理課	継続	21,470	42
12	府営ため池整備事業	農林管理課	継続	2,000	43

No	事業名	担当室・課	増減区分	事業費 (千円)	ページ
13	市営林 安心・安全の森づくり事業(弘法川流域等)	林業振興課	継続	12,300	44
14	治山流末整備事業	林業振興課	継続	2,260	45
15	消防車両更新事業	消防本部警防課	継続	16,823	46
16	自主防災組織育成補助事業	危機管理室	継続	1,800	47
17	自主防災組織地域防災マップ作成事業	危機管理室	継続	1,500	48
18	住宅耐震改修事業	建築課	継続	2,700	49
19	住宅耐震診断事業	建築課	継続	500	49

3 市民すべてが活躍するまちづくり

1	～福知山市市制施行80周年記念～福知山市市民憲章推進協議会設立25周年記念事業－未来の力祭典－	まちづくり推進課	新規	9,243	50
2	男女共同参画協働支援事業	人権推進室	拡充	1,118	51
3	次世代交流ワークショップ事業	企画課	新規	2,134	52
4	福知山市伝統文化後継者育成事業	まちづくり推進課	新規	600	53
5	福知山市文化芸術振興基本方針策定事業	まちづくり推進課	新規	1,591	54
6	福知山市アーティスト・イン・レジデンス事業	まちづくり推進課	新規	544	55
7	スポーツ推進計画策定事業	スポーツ振興課	新規	1,509	56
8	地域づくり人材育成事業(夜久野支所)	夜久野支所	新規	334	57
9	地域づくり人材育成事業(大江支所)	大江支所	新規	691	57
10	まちづくりミーティング事業	秘書課	新規	38	58

4 新たなPR・観光戦略に基づく魅力づくり

1	福知山PR戦略総合推進事業	秘書課	新規	16,700	59
2	観光地域づくりセンター(仮称)設置運営事業	観光振興課	新規	13,603	60
3	体育施設設備整備事業	スポーツ振興課	継続	40,200	61
4	三段池公園ユニバーサル化事業	都市計画課	新規	27,000	62
5	スポーツ合宿補助事業	スポーツ振興課	拡充	2,450	63
6	文化合宿補助事業	まちづくり推進課	継続	375	64
7	「肉のまち福知山」事業	観光振興課	新規	1,200	65
8	「あしぎぬ大雲の里」かわまちづくり検討事業	まちづくり推進課	新規	617	66
9	治水対策プロモーション事業	都市整備課	新規	1,000	67
10	中心市街地誘客・回遊促進事業	商工振興課	新規	8,300	68

No	事業名	担当室・課	増減 区分	事業費 (千円)	ページ
----	-----	-------	----------	-------------	-----

5 産業振興をめざした事業者支援と人づくり

1	福知山市産業支援事業	商工振興課	新規	30,744	69
2	長田野工業団地利活用増進計画策定事業	移住・企業立地推進課	新規	3,030	70
3	企業誘致促進特別対策事業	移住・企業立地推進課	拡充	38,880	71
4	丹波漆活用調査研究事業	まちづくり推進課	新規	2,000	72
5	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業	林業振興課	拡充	49,360	73
6	有害鳥獣防除事業	林業振興課	拡充	3,131	74
7	有害鳥獣捕獲事業	林業振興課	継続	89,394	75

6 対話の市政・経営力の高い市政の推進

1	住民自治検討事業	企画課	新規	940	76
2	地域協議会支援事業	企画課 まちづくり推進課	新規	27,461	77
3	みんなのまちづくり推進事業	企画課	新規	1,540	78
4	行財政経営マネジメント推進事業	企画課	新規	2,949	79
5	ふるさと市民制度推進事業	秘書課	新規	438	80
6	ふるさと納税推進事業	財政課	継続	221,779	81
7	職員一般研修事業	職員課	拡充	11,065	82

◆平成 29 年度予算 「森の京都」・「海の京都」関連事業一覧



No	事業名	担当室・課	増減区分	事業費(千円)	ページ
----	-----	-------	------	---------	-----

★ 森の京都・海の京都

(1) 「森の京都」関連事業

「森の京都 福知山」夜久野高原・道の駅支援事業	夜久野支所	継続	738	83
「森の京都 福知山」夜久野高原玄武岩コンサート事業	夜久野支所	継続	600	84
「森の京都 福知山」元伊勢内宮参道マルシェ事業	大江支所	継続	334	85
「森の京都 福知山」夜久野高原花回廊整備事業	夜久野支所	継続	735	86
「森の京都 福知山」エンジョイプログラム二瀬川散策コース整備事業	大江支所	継続	27,000	87
森の京都DMO事業	観光振興課	新規	10,100	88

(2) 「海の京都」関連事業

海の京都DMO事業	観光振興課	継続	11,815	88
-----------	-------	----	--------	----

◆平成 29 年度予算 公共施設マネジメント推進事業一覧

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費(千円)	ページ
------	-----	-------	------	---------	-----

★ 公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして

(1) 公共施設の統合

消防団施設整備事業	消防本部警防課	継続	79,998	89
市立保育園整備計画推進事業	子育て支援課	継続	7,344	90

(2) 公共施設の民間譲渡

公共施設民間譲渡事業(5事業)	まちづくり推進課ほか	継続	35,907	91
-----------------	------------	----	--------	----

(3) 公共施設の除却

公共施設除却事業(11事業)	夜久野支所ほか	継続	186,090	93
----------------	---------	----	---------	----

(4) 公共施設の長寿命化

公共施設長寿命化事業(7事業)	環境政策室ほか	継続	303,260	95
-----------------	---------	----	---------	----

(5) その他公共施設の整理

その他公共施設マネジメント関連事業(13事業)	資産活用課ほか	継続	1,239,500	97
-------------------------	---------	----	-----------	----

◆平成 29 年度予算 中長期計画に基づく対応 主要事業一覧

No	事業名	担当室・課	増減 区分	事業費 (千円)	ページ
----	-----	-------	----------	-------------	-----

1. 市民が主体のまちづくり（協働・人権）

(1) 市民協働の推進

集会施設等整備事業	まちづくり推進課	継続	708	99
元気出す地域活力支援事業	まちづくり推進課	継続	2,500	100

(2) 人権・平和の尊重

人にいちばん近いまちづくり事業	人権推進室	継続	1,320	101
-----------------	-------	----	-------	-----

2. 人と文化・スポーツを育むまちづくり（教育・文化・スポーツ）

(3) 学校教育の充実

遷喬小学校教室棟増築事業	教育総務課	新規	13,680	102
小学校施設空調設備設置事業	教育総務課	継続	14,800	103
中学校施設空調設備設置事業	教育総務課	継続	4,100	103

(5) 大学教育の充実

福知山公立大学運営費交付金事業	大学政策課	継続	307,080	104
-----------------	-------	----	---------	-----

(7) 文化活動の推進

日本鬼文化交流事業	観光振興課	継続	2,712	105
-----------	-------	----	-------	-----

3. だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり（生活基盤）

(1) 土地利用および市街地・集落整備

中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業	商工振興課	縮小	7,835	106
地籍調査事業	都市整備課	継続	84,489	107
農業委員会運営事業	農業委員会事務局	継続	16,819	108
中心市街地活性化基本計画推進事業	商工振興課	継続	8,064	109
地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業	商工振興課	継続	6,000	110

(2) 公共交通の最適化

中心市街地活性化関連道路整備事業	土木課	継続	255,000	111
KTR支援事業	生活交通課	継続	147,662	112
敬老乗車券事業	生活交通課	継続	14,493	113

(3) 道路網の整備

街路事業（多保市正明寺線 高畑工区）	都市計画課	継続	186,929	114
社会資本整備総合交付金事業（道路整備）	土木課	継続	140,000	115
地域間交流促進ネットワーク事業（市道整備）	土木課	継続	114,402	116
広域交通網整備促進事業	土木課	継続	113,000	117
橋りょう長寿命化対策事業	土木課	継続	43,000	118

No	事業名	担当室・課	増減区分	事業費(千円)	ページ
----	-----	-------	------	---------	-----

(4) 生活空間の整備

斎場火葬炉設備改修事業	生活交通課	新規	40,000	119
空家対策事業	建築課	継続	6,704	120

(5) 上下水道の整備

水洗化促進補助事業	お客様サービス課	継続	66,004	121
-----------	----------	----	--------	-----

No	事業名	担当室・課	増減区分	事業費(千円)	ページ
----	-----	-------	------	---------	-----

4. 豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり（防災・環境）

(2) 消防・救急体制の強化

消防水利整備事業	消防本部警防課	継続	26,670	122
----------	---------	----	--------	-----

(5) 低炭素・循環型社会の形成

第1期・第2期処分場埋立整備事業	環境政策室	継続	78,300	123
地球温暖化対策再エネ・省エネ推進事業	環境政策室	継続	3,938	124

5. 子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり（保健・医療・福祉・子育て）

(1) 保健・医療・福祉の包括的な推進

高齢者保健福祉計画推進事業	高齢者福祉課	継続	3,567	125
女性のためのがん検診推進事業	健康推進室	継続	34,900	126

(2) 地域福祉の充実

地域福祉推進事業	地域福祉課	継続	3,943	128
----------	-------	----	-------	-----

(3) 子育て支援の充実

子育て交流・相談・支援事業	子育て支援課	拡充	15,896	129
ファミリー・サポート・センター運営事業	子育て支援課	継続	1,994	130
保育所委託事業	子育て支援課	拡充	2,100,515	131
放課後児童クラブ運営事業	生涯学習課	継続	159,359	132
ふくふく医療費支給事業	子育て支援課	継続	69,491	133
不妊治療費助成事業	健康推進室	継続	8,127	134

(4) 障害のある人の福祉の充実

障害福祉計画策定事業	社会福祉課	新規	3,772	135
外出支援助成事業	高齢者福祉課	継続	15,390	136

(5) 高齢者福祉の充実

介護人材確保対策事業	高齢者福祉課	継続	12,021	137
------------	--------	----	--------	-----

(6) 生活支援の充実

生活保護扶助事業	社会福祉課	継続	1,763,574	139
生活困窮者自立支援事業	社会福祉課	継続	10,030	140

No	事業名	担当室・課	増減 区分	事業費 (千円)	ページ
----	-----	-------	----------	-------------	-----

6. 地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり（産業・地域活力）

(1) 農林水産業の振興

みつまた活用調査研究事業	夜久野支所	新規	46	141
地域間交流促進ネットワーク事業(林道整備)	林業振興課	新規	28,000	142
6次産業推進事業	農業振興課	拡充	1,800	143
中山間地域等直接支払交付事業	農業振興課	継続	126,484	144
多面的機能支払交付事業	農業振興課	継続	183,859	145

(2) 商工業の振興

小規模企業融資制度	商工振興課	拡充	14,581	146
-----------	-------	----	--------	-----

(3) 移住・定住の促進

内宮参道活性化事業	移住・企業立地推進課	新規	3,160	147
移住・定住促進事業	移住・企業立地推進課	拡充	18,293	148
農山村空き家バンク事業	移住・企業立地推進課	継続	12,432	149

7. 行財政効率の高いまちづくり

(1) 行政改革の推進

議会ICT化推進事業	議会事務局	新規	3,168	150
新地方公会計制度導入支援事業	財政課	継続	2,676	151
第三セクター等改革推進償還基金積立事業	財政課	継続	186,864	152

No	事業名	担当室・課	増減 区分	事業費 (千円)	ページ
----	-----	-------	----------	-------------	-----

特別会計・企業会計

○社会保障関連

国民健康保険事業	保険課	継続	9,267,100	153
国民健康保険診療所費	保険課	継続	47,400	155
休日急患診療所費	健康推進室	継続	22,900	156
介護保険事業(保険事業勘定)	高齢者福祉課	拡充	8,451,200	157
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	高齢者福祉課	継続	21,600	160
後期高齢者医療事業	保険課	継続	1,934,400	161
病院事業	市民病院事務部	拡充	14,801,055	163

○上下水道等関連

農業集落排水施設事業	上下水道部	継続	972,800	165
水道事業	上下水道部	継続	4,670,500	166
下水道事業	上下水道部	継続	7,292,500	167

○土地区画整理関連

石原土地区画整理事業	都市整備課	継続	609,000	168
宅地造成事業	農林管理課	継続	22,600	169

○その他

と畜場費	農業振興課	継続	32,500	170
公設地方卸売市場事業	農業振興課	継続	6,600	171
福知山市下夜久野地区財産区管理会	夜久野支所	継続	172	172
地域情報通信ネットワーク事業	情報推進課	継続	1,993,200	173

政策名	医療・介護・福祉・子育ての充実した暮らしづくり					
事業名	医療・介護・福祉総合確保ビジョン検討事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
992	国	府	市債	その他	一般財源	992
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>少子高齢化が進行し人口減少社会、超高齢化社会が現実のものとなる中、高齢者をはじめとした市民が住み慣れた地域で、心の豊かさを持ち、安心・安全に暮らし続けることができるまちづくりをめざし、団塊の世代が75歳を迎える2025年に向けた本市の医療・介護・福祉のあり方について意見をいただくため、平成28年度に「ふくちやま医療・介護・福祉総合ビジョン検討委員会」（以下「検討委員会」という。）を設置したところです。</p> <p>平成29年度も引き続き検討委員会を開催し、ビジョンの取りまとめを行います。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>上記1のとおり、検討委員会を継続開催し、検討結果を取りまとめます。</p> <p>《検討委員会について》</p> <p>(1) 目的</p> <p>2025年に向けた本市の医療・介護・福祉のあり方について意見をいただく。</p> <p>(2) 委員構成 18人</p> <p>ア 京都府保健医療関係者 イ 福知山市保健・福祉関係者 ウ 福知山市医療関係者 エ 福知山市行政関係者 オ その他有識者</p> <p>(3) 事務局 福祉保健部高齢者福祉課、福祉保健部健康推進室、市民病院事務部総務課、市民人権環境部保険課の4課で担当</p> <p>(4) 平成28年度開催実績 2回（第1回：12月2日、第2回：2月3日）</p> <p>(5) 平成29年度開催予定 6回</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 老人福祉費</p> <p>委員報償 540千円、旅費 90千円、消耗品 30千円、報告書印刷 324千円、郵送料 8千円</p>						
担当課	福祉保健部高齢者福祉課		電話	直通 24-7013 内線 2159		

政策名	医療・介護・福祉・子育ての充実した暮らしづくり					
事業名	介護者支援事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,687	国	府	市債	その他	一般財源	-
					2,687	

1 事業の背景・目的

在宅で要介護高齢者を常時介護している家族介護者を支援することにより、在宅老人福祉の向上を図ります。

また、在宅介護者の実態を把握するための調査を行ったうえで、在宅で重度の要介護者を介護する介護者への支援のあり方を検討するための検討委員会を開催し、「ふくちやま医療・介護・福祉総合ビジョン検討委員会」とも連携を図りながら制度の見直しを行います。

2 事業の内容

市内在住の要介護4又は5と認定され、その状態が6ヶ月以上継続している65歳以上の方を在宅で常時直接介護している家族に支援金（要介護高齢者1人につき、30千円）を支給します。

※介護者及び要介護者の世帯員全員が市民税非課税世帯の場合が対象となります。

3 事業費の内訳

(款)民生費 (項)社会福祉費 (目)老人福祉費
事業費

○扶助費 2,580千円

・介護者支援金

30千円×86人（利用見込み）

○報償費 90千円

・介護者支援のあり方検討委員会 委員等謝礼

5,000円×3人×3回=45千円

15,000円×1人×3回=45千円

○旅費 15千円

・委員旅費 4,920円×1人×3回=14,760円

○役務費 2千円（郵送料）

担当課	福祉保健部高齢者福祉課	電話	直通 24-7073 内線 2141
-----	-------------	----	--------------------

政策名	医療・介護・福祉・子育ての充実した暮らしづくり					
事業名	高齢者日常生活支援事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,535	国	府	市債	その他	一般財源	535
		2,535				
<p>1 事業の背景・目的 高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるよう高齢者の日常生活のサポートを推進するため、当該サポートを実施するNPOや社会福祉法人等に対し、立上げや利用者減免の助成を行います。</p> <p>2 事業の内容 (1) 高齢者日常生活支援サポート団体立上げ支援(新規) 地域ボランティアや元気高齢者を支援者として、65歳以上の高齢者の日常生活を支援する活動(介護保険サービスを除く。)その他住民参加型の支え合いの仕組みづくりの取組を新たに実施する場合、初年度につき1回を限度に助成します。 ア サポート団体 NPO、社会福祉協議会、社会福祉法人など営利目的でない団体 イ サポート内容 日常的生活援助 (掃除、電球取替え、家屋の軽微な補修等) ウ サポート提供者 元気な高齢者、ボランティア (2) 高齢者日常生活サポート利用者支援事業(継続) 本市に住所を有する65歳以上の高齢者のうち、市民税非課税世帯に属するもので日常生活支援サービスを利用する場合、サポート団体に対して利用者1人当たり同一年度に5千円を上限として利用料金の一部を助成します。 利用者減免対象者の人数により事務費も支給します。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 老人福祉費 ○事業費 2,535千円 (1) 高齢者日常生活支援サポート団体立上げ支援 ・補助金 2,000千円 (2) 高齢者日常生活サポート利用者支援事業 ・補助金 535千円 利用者減免相当額 5,000円×89人=445,000円 事務費 40,000円×1団体=40,000円 50,000円×1団体=50,000円</p> <p>4 主な特定財源 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 民生費府補助金 地域包括ケア総合交付金 2,535千円 (補助率 10/10)</p>						
担当課	福祉保健部高齢者福祉課		電話	直通 24-7073 内線 2151		

政策名	医療・介護・福祉・子育ての充実した暮らしづくり					
事業名	情報コミュニケーション施策推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
294	国	府	市債	その他	一般財源	294
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>障害のある人もない人も、互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向けて、障害者基本法の改正や障害者差別解消法の施行など、さまざまな法整備がなされています。</p> <p>しかしながら、その一方で、実際には障害の特性や障害のある人のニーズに応じたコミュニケーション手段の選択と利用の機会が十分に確保されているとは言えない状況があります。</p> <p>こうした中、本市では、障害のある人がその障害特性に応じたコミュニケーション手段を利用しやすい環境を構築し、もって障害のある人もない人も分け隔てられることなく理解しあい、お互いに一人ひとりの尊厳を大切に安心して暮らすことのできる地域社会を実現することを目的に本事業を実施します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) (仮称)手話言語・情報コミュニケーション条例の制定</p> <p>(2) 情報コミュニケーションに関する施策の評価や検討</p> <p>(3) 条例の広報・周知 など</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 社会福祉援護費</p> <p>報酬 224千円 (委員報酬)</p> <p>報償費 50千円 (講師謝礼)</p> <p>需用費 20千円 (印刷製本費)</p>						
担当課	福祉保健部社会福祉課		電話	直通 24-7017 内線 2124		

政策名	医療・介護・福祉・子育ての充実した暮らしづくり					
事業名	福祉医療費（障害）給付事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
213,617	国	府	市債	その他	一般財源	220,221
		55,813			157,804	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>障害のある人は、疾病や事故率が高く二次障害などが生じやすいなど、医療の持つ重要度が高くなっています。</p> <p>このため京都府と市町村が連携して、障害のある人が安心して必要とする医療を受けることができるよう医療機関における自己負担分の助成を行っています。</p> <p>また、市独自制度として、本人が市民税非課税に限定した上で、対象者の範囲を拡大しています。市独自制度については、事業の対象、内容、成果や効果などの把握と分析、評価を行うなど、本事業の今後のあり方についての検討を行います。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府制度（身体障害者手帳1級・2級所持者、療育手帳A判定所持者） ・市制度（身体障害者手帳3級・4級所持者、療育手帳B判定所持者、精神障害者保健福祉手帳 1～3級所持者（精神疾患での入院は除く）） <p>※市制度については、府制度の所得制限をかけた上に、本人が市民税非課税の人のみ対象となります。</p> <p>(2) 内容</p> <p>75歳未満の重度障害児・者が保険による治療を受けた場合、その保険診療の自己負担分を助成します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 社会福祉総務費</p> <p>報償費 135千円</p> <p>旅費 29千円</p> <p>需用費 68千円（消耗品費、印刷製本費）</p> <p>役務費 2,591千円（郵送料、事務取扱手数料）</p> <p>扶助費 210,794千円（府制度109,612千円、市制度101,182千円）</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 民生費府補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉医療助成事業（障） 55,313千円 ・障害者福祉サービス等利用支援事業費 500千円 						
担当課	福祉保健部社会福祉課		電話	直通 24-7017 内線 2124		

政策名	医療・介護・福祉・子育ての充実した暮らしづくり																			
事業名	産前・産後サポート事業					新規														
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額														
274	国	府	市債	その他	一般財源	-														
	101				173															
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>他市からの転入家庭や核家族の子育て家庭が多くなり、祖父母や家族からの生活や子育ての見守りのサポートが受けにくい家庭が増えています。特に、保護者が子育てに慣れていない産前・産後の生活や見守りの子育て支援サービスはないのが現状です。</p> <p>そこで、新たに産前産後訪問支援員を養成し、産前産後支援計画に基づく産前・産後の養育支援（生活や見守りの子育て支援）を行います。</p> <p>成果指標：産前産後サポート事業利用者数</p> <p>2 事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産前産後訪問支援員を（5人）養成します。 ・訪問支援員は産前産後支援計画に基づき、育児支援活動を行います。 ・産前・産後サポート事業利用に係る費用を補助します。 ・産前産後訪問支援員の支援活動について報償金を支払います。 <p>3 事業費の内訳</p> <table> <tr> <td>(款) 民生費</td> <td>(項) 児童福祉費</td> <td>(目) 児童福祉総務費</td> </tr> <tr> <td>報償費：</td> <td>研修受講費用</td> <td>106千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>支援活動謝礼</td> <td>96千円</td> </tr> <tr> <td>扶助費：</td> <td>支援事業利用助成</td> <td>72千円</td> </tr> </table> <p>4 主な特定財源</p> <table> <tr> <td>母子保健衛生費国庫補助金</td> <td>101千円</td> </tr> </table>							(款) 民生費	(項) 児童福祉費	(目) 児童福祉総務費	報償費：	研修受講費用	106千円		支援活動謝礼	96千円	扶助費：	支援事業利用助成	72千円	母子保健衛生費国庫補助金	101千円
(款) 民生費	(項) 児童福祉費	(目) 児童福祉総務費																		
報償費：	研修受講費用	106千円																		
	支援活動謝礼	96千円																		
扶助費：	支援事業利用助成	72千円																		
母子保健衛生費国庫補助金	101千円																			
担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7082 内線 2111																	

政策名	医療・介護・福祉・子育ての充実した暮らしづくり					
事業名	のびのび福知っ子就学前発達支援事業・くりのみ園運営事業 学童期支援教室運営事業				拡充	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
38,715	国	府	市債	その他	一般財源	
				38,715		33,299

1 事業の背景・目的

就学前児童に対して、発達課題の早期発見、早期支援のため、関係機関と連携し健診やスクリーニングを行います。

また、発達の課題のある児童に対して、安心できる環境と遊びを提供する親子療育や支援教室とともに保護者への相談事業に取り組み、子育て支援とスムーズな就学に繋がります。

児童発達支援の量と質の充実に向けては、くりのみ園機能拡充事業により充実した施設を有効活用し、学童期の児童に対してコミュニケーション能力等の社会性を育てるための支援教室を行い、成功体験を増やし、自己肯定感を高める支援に新たに取り組みます。

2 事業の内容

(1) のびのび福知っ子就学前発達支援事業

- 4歳児クラス健診
- 就学前スクリーニング
- うきうき教室（支援教室）

(2) くりのみ園運営事業

- 親子療育
- 保護者相談支援事業

(3) 学童期支援教室運営事業（新規）

○ 小学生と保護者を対象に、水曜日の放課後月2回集団生活に順応していく社会性を高める支援教室を実施します。

○ 小学生を対象にした支援教室に対応していくための職員スキルアップ研修に取り組みます。



3 事業費の内訳

(1) のびのび福知っ子就学前発達支援事業 21,350千円

(款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童福祉総務費

- ・ 報酬 495千円 (4歳児クラス健診医師等報酬)
- ・ 賃金 11,067千円 (臨時職員賃金)
- ・ 報償費 110千円 (研修会、講演会謝礼)
- ・ 旅費 98千円 (研修等旅費)
- ・ 需用費 140千円 (支援教室材料費、印刷製本費、賄材料等)
- ・ 役務費 311千円 (通信運搬費等)
- ・ 使用料及び賃借料 9千円 (複写機使用料)
- ・ 備品購入費 125千円 (施設備品)
- ・ 負担金補助及び交付金 8,995千円 (研修参加負担金等)

- (2) くりのみ園運営事業 16,771千円
 (款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童福祉施設費
- ・報酬 783千円 (運営委員、療育スタッフ報酬)
 - ・賃金 11,763千円 (臨時職員賃金)
 - ・旅費 269千円 (研修等旅費)
 - ・需用費 2,710千円 (療育材料費、光熱水費、修繕料等)
 - ・役務費 409千円 (通信運搬費等)
 - ・委託料 360千円 (維持管理業務等)
 - ・使用料及び賃借料 176千円 (複写機使用料、施設使用料)
 - ・備品購入費 152千円 (療育備品)
 - ・負担金補助及び交付金 99千円 (研修参加負担金等)
 - ・公課費 50千円 (自動車重量税)

- (3) 学童期支援教室運営事業 594千円
 (款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童福祉施設費
- ・賃金 389千円 (臨時職員賃金)
 - ・報償費 60千円 (研修会、講演会謝礼)
 - ・需用費 33千円 (支援教室材料費、印刷製本費等)
 - ・役務費 12千円 (保険料)
 - ・備品購入費 100千円 (小学生用机、椅子)

4 主な特定財源

- (1) のびのび福知っ子就学前発達支援事業
 (款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金
- ・ のびのび福知っ子就学前発達支援事業基金繰入 (ふるさと納税)
21,350千円
- (2) くりのみ園運営事業
 (款) 分担金及び負担金 (項) 負担金 (目) 民生費負担金
- ・ 居宅生活支援費 15,422千円
 - ・ くりのみ園利用者負担金 1,349千円
- (3) 学童期支援教室運営事業
 (款) 分担金及び負担金 (項) 負担金 (目) 民生費負担金
- ・ 放課後等デイサービス障害児通所給付費 467千円
 - ・ 放課後デイサービス利用者負担金 127千円

担当課	福祉保健部くりのみ園	電話	直通 23-1933
-----	------------	----	------------

政策名	医療・介護・福祉・子育ての充実した暮らしづくり					
事業名	子どもの貧困対策プロジェクト事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
278	国	府	市債	その他	一般財源	—
					278	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>6人に1人の子どもが貧困世帯で暮らしているという状況から、国においては子どもの貧困対策について、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」や「子供の貧困対策に関する大綱」に基づき、取り組みを推進することとしています。</p> <p>本市におきましても、すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成長していけるよう、子どもの貧困対策に関する施策に取り組みます。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>本市における子どもがおかれている貧困の実状を把握し、本市の課題に対応する施策の検討を行います。</p> <p>「福知山市子ども・子育て会議」に学識経験者などを加えた「(仮称)子どもの貧困対策検討部会」を設置し、学習支援、生活支援や経済的支援などの事業を検討します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 社会福祉総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 80千円 ・報償費 60千円 ・旅費 65千円 ・需用費 25千円 ・役務費 20千円 ・委託料 13千円 ・使用料及び賃借料 15千円 						
担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7011 内線 2115			

政策名	医療・介護・福祉・子育ての充実した暮らしづくり					
事業名	地域で支える「地域未来塾」開講事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
4,021	国	府	市債	その他	一般財源	
		2,630		1,391		3,285

1 事業の背景・目的

家庭の事情や経済的な理由等により、学習習慣が十分に身につけていない、又は家庭での学習が困難な中学生に対し、教員OBや大学生など地域住民の協力による学習支援を実施します。

2 事業の内容

各中学校ブロックで取組んでいる「心の教育」実践活動実行委員会を中心に、市内中学校で学習支援に取り組めます。

中学3年生の希望者を対象に、9月から週1～2回程度開講します。4月から8月は準備期間とし、各中学校区実行委員会に学校支援部会を立ち上げ、学習支援員の確保や学校との連携を進めていきます。平成27年度はモデル校として桃映中学校で実施し、平成28年度は桃映、成和、六人部中学校の3校に拡大しました。平成29年度は、新たに1校拡大すると共に、平成30年度の全中学校での開講を目指します。

「地域未来塾」の全体調整をおこなうコーディネーター数名と、学習支援にあたる学習支援員複数名を配置し英・数・国を中心に支援します。学習支援員には教員のOBや大学生、また一般の方を予定しており、場所は中学校または近隣の社会教育施設を使用します。

3 事業費の内訳

(款) 教育費 (項) 社会教育費 (目) 社会教育総務費
報償費 3,153千円

内訳 ・1,137千円 コーディネーター謝金
・2,016千円 学習支援員謝金

需用費 792千円 教材費等消耗品、灯油代

役務費 76千円 傷害保険料

4 主な特定財源

(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 教育費府補助金

地域で支える「地域未来塾」開講事業 2,630千円

補助率2/3(内 国負担1/3、府負担1/3)

(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金

地域で支える「地域未来塾」開講事業基金繰入 1,391千円

担当課	教育委員会生涯学習課	電話	直通 22-9552 内線 5142
-----	------------	----	--------------------

政策名	医療・介護・福祉・子育ての充実した暮らしづくり					
事業名	「絆」プロジェクト 手話のできる人材育成推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
960	国	府	市債	その他	一般財源	1,110
		480			480	

1 事業の背景・目的

手話通訳や要約筆記は、聴覚・音声・言語に障害のある人のコミュニケーション手段を確保する上で、社会参加（日常の買い物や外出、スポーツ、観劇など）、市役所や事業所における手続き、災害時の避難支援、日ごろの見守りなどに大切な役割を担っています。

また、要約筆記は難聴の高齢者などにとっても、有効なコミュニケーション手段のひとつとなります。

本市では、平成25年3月に策定した「第2次福知山市地域福祉計画」に基づき、人権尊重を基本に、住民相互の理解・補完・協力によって誰もが安心して暮らせる地域づくりと社会参加を促進するとともに、福祉文化を創造しユニバーサル社会の形成に向け本事業を実施します。

2 事業の内容

(1) 聴覚・音声・言語に障害のある人の情報支援を行うため、市役所窓口に自己紹介程度の手話による会話ができ要約筆記を可能とする職員を養成します。

(2) 聴覚・音声・言語に障害のある人の社会参加を促進するため、企業や事業所に対して簡単な手話の出前講座を開催し、手話の普及・啓発を行います。

(3) 地域住民に対して、聴覚・音声・言語に障害のある人の生活・福祉制度についての理解と認識を深めるための講演会を開催します。



出前講座の様子

3 事業費の内訳

- | | | |
|---------|-----------|---------------------|
| (款) 民生費 | (項) 社会福祉費 | (目) 社会福祉総務費 |
| ・ 報償費 | 100千円 | (講師謝礼) |
| ・ 需用費 | 60千円 | (消耗品、印刷製本費) |
| ・ 委託料 | 800千円 | (職員手話・要約筆記養成研修実施業務) |

4 主な特定財源

- | | | |
|-----------------|----------|-------------|
| (款) 府支出金 | (項) 府補助金 | (目) 民生費府補助金 |
| ・ 京都府みらい戦略一括交付金 | 480千円 | |

担当課	福祉保健部地域福祉課	電話	直通 24-7088 内線 2112
-----	------------	----	--------------------

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	つつじが丘・向野団地建替事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
7,000	国	府	市債	その他	一般財源	—
	3,500				3,500	
<p>1 事業の背景・目的 「福知山市市営住宅整備計画」に基づき、耐用年数を超過し老朽化した市営住宅団地の建替を行うことにより、市民の安心・安全と居住水準の向上を図ります。</p> <p>2 事業の内容 ◎つつじが丘団地の概要 つつじが丘団地は敷地2.25ha（市有地）に、昭和42年～44年度にかけて建設された市営73戸、府営87戸の府市混在団地です。 ◎向野団地の概要 向野団地は敷地1.7ha（市有地）に、昭和36年～38年度に建設された市営76戸、府営4戸の府市混在団地です。 ◎2団地については、「福知山市市営住宅整備計画」において建替を予定している団地であり、建替後は市営住宅として市が管理運営します。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 土木費 (項) 住宅費 (目) 住宅建設費 委託料 つつじが丘・向野団地建替基本計画策定業務 7,000千円 ・つつじが丘・向野団地建替基本計画策定業務委託 ・市営住宅団地の建替え事業における、直接建設、借り上げ、PFI等の手法比較の検討。 ・サービス付高齢者向け住宅の併設、福祉的サービスの展開等の検討。 ・福知山市での需要の調査、先進地事例の収集、補助の調査。 ・長期的な財政シュミレーションによる比較。 ・建替により得られる余剰地の有効活用調査。</p> <p>4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 土木費国庫補助金 社会資本整備総合交付金 7,000千円×補助率0.5=3,500千円</p>						
担当課	土木建設部建築課	電話	直通 24-7058 内線 4246			

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	地域コミュニティ交通導入モデル事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1,187	国	府	市債	その他	一般財源	—
				1,187		
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>平成27年度に策定した、まちづくり施策と一体となった公共交通再編の基本方針となる「福知山市地域公共交通網形成計画」に基づき、地域の実情やニーズに適した効率的・効果的な交通体系の整備・再編を今後進めていきます。</p> <p>その一環として、バス路線の再編に伴う補完交通として、また鉄道やバス路線から離れた公共交通空白地における移動手段の確保することを目的とした「公共交通空白地有償運送事業」の導入を推進するため、新たに導入に取り組む地域等に対する支援内容や適正な運行のあり方について検証を行うため、モデル事業を実施します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>今年度は三和地域において、公共交通空白地有償運送事業を地域コミュニティ交通導入のモデル事業として位置づけ、支援します。</p> <p>○対象地域</p> <p>有償運送運営協議会が定めるガイドラインに基づく過疎地域等の公共交通空白地有償運送が実施可能な地域</p> <p>○実施主体</p> <p>地域の協議会や地域と連携するNPO法人等</p> <p>○支援内容</p> <p>事業立ち上げに要する経費及び運行に伴う収支欠損相当額に対する補助</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 交通対策費</p> <p>公共交通空白地有償運送事業初期立ち上げ経費補助 187千円</p> <p>公共交通空白地有償運送事業に係る収支欠損補助 1,000千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金</p> <p>過疎地域自立促進基金繰入(地域コミュニティ交通導入事業基金繰入) 1,187千円</p>						
担当課	市民人権環境部 生活交通課		電話	直通 24-7084 内線 2232		

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり																			
事業名	(仮称) 三和学園整備事業					新規														
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額														
13,500	国	府	市債	その他	一般財源	—														
			13,500																	
事業名	(仮称) 三和学園準備事業					新規														
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額														
104	国	府	市債	その他	一般財源	—														
					104															
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>三和地域では、少子化に伴う学校の小規模化が進み、現在、菟原小学校では複式学級が設置されており、将来的にも解消の目途が立たず、また、平成27年4月に川合小学校と統合した細見小学校も平成31年度には複式学級が設置される見込みです。</p> <p>このような状況を受け、三和地域では各小中学校PTAが小中一貫校としての学校統合を決議され、さらに、三和地域協議会でも学校統合問題検討部会を立ち上げ、協議検討が進められてきた結果、PTAの意向を尊重し、小中一貫校としての学校統合が決議され、市と教育委員会に対して要望書が提出されました。</p> <p>これを受けて平成31年4月に、小中一貫校である(仮称)三和学園を開校するための協議会を設置し、保護者・地域と一体となって、円滑な学校統合と小中一貫校開校のための準備を進めます。また必要となる校舎増築工事の設計・調査を行います。</p> <p>2 事業の内容</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>(仮称) 三和学園整備事業</td> <td>(仮称) 三和学園準備事業</td> </tr> <tr> <td>校舎増築に伴う設計業務 10,800千円</td> <td>先進地(小中一貫校)の視察</td> </tr> <tr> <td>地質調査業務 2,700千円</td> <td>広報による地域啓発、共通理解の醸成</td> </tr> </table> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 教育費 (項) 小学校費</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>(仮称) 三和学園整備事業</td> <td>(仮称) 三和学園準備事業</td> </tr> <tr> <td>(目) 学校建設費 委託料 13,500千円</td> <td>(目) 学校管理費</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○協議会運営関連 84千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○先進地視察関連 20千円</td> </tr> </table> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 市債 (項) 市債 (目) 教育債</p> <p>(仮称) 三和学園整備事業(過疎対策債) 13,500千円</p>							(仮称) 三和学園整備事業	(仮称) 三和学園準備事業	校舎増築に伴う設計業務 10,800千円	先進地(小中一貫校)の視察	地質調査業務 2,700千円	広報による地域啓発、共通理解の醸成	(仮称) 三和学園整備事業	(仮称) 三和学園準備事業	(目) 学校建設費 委託料 13,500千円	(目) 学校管理費		○協議会運営関連 84千円		○先進地視察関連 20千円
(仮称) 三和学園整備事業	(仮称) 三和学園準備事業																			
校舎増築に伴う設計業務 10,800千円	先進地(小中一貫校)の視察																			
地質調査業務 2,700千円	広報による地域啓発、共通理解の醸成																			
(仮称) 三和学園整備事業	(仮称) 三和学園準備事業																			
(目) 学校建設費 委託料 13,500千円	(目) 学校管理費																			
	○協議会運営関連 84千円																			
	○先進地視察関連 20千円																			
担当課	教育委員会教育総務課	電話	直通 24-7061 内線 5114																	

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	「知の拠点」整備構想策定事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
10,550	国	府	市債	その他	一般財源	—
	5,275			5,275		
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>京都工芸繊維大学福知山キャンパスと福知山公立大学を北近畿地域の「知の拠点」とし、北近畿地域の企業、行政、各種団体と協力して地域創生、地域再生の実現を目指していきます。</p> <p>文系・理系の両大学の強みを活かしながら地域貢献の推進に必要な将来構想を策定し、文理連携推進体制を構築することを目的とします。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>大学間包括協定を踏まえ、北近畿地域の「知の拠点」づくりを推進するため、教育研究環境の充実に向けた将来ビジョンについて有識者を交えて検討を行い、「知の拠点」整備構想を策定します。</p> <p>また、福知山公立大学において、入学定員200名の実現を見据え、北近畿地域にとって求められる大学像のあり方を検証し、大学将来構想（福知山公立大学改革プログラム）を策定します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款)教育費 (項)大学費 (目)大学振興費</p> <p>①「知の拠点」整備構想策定委員会事務費 550千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費 240千円 ・旅費 185千円 ・消耗品費 83千円 ・役務費 42千円 <p>②「知の拠点」整備構想策定業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 3,000千円 <p>③福知山公立大学改革プログラム策定業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付金 7,000千円 <p>4 主な特定財源</p> <p>(款)国庫支出金 (項)国庫補助金 (目)教育費国庫補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生推進交付金 5,275千円 <p>(款)繰入金 (項)基金繰入金 (目)基金繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと創生事業基金繰入金 5,275千円 						
担当課	市長公室大学政策課	電話	直通 24-7039 内線 3003			

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
31,294	国	府	市債	その他	一般財源	23,730*
	11,350			11,350	8,594	
※前年度当初予算額は0であるが、H27前倒し計上した予算額を示す。						
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>福知山公立大学が北近畿地域における様々な課題解決に向けたシンクタンク機能を発揮するとともに、市民の「知の拠点」の役割を果たすことを目的として、地域連携・地域協働を推進するための取組を支援します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>福知山公立大学北近畿地域連携センターが、北近畿地域の自治体や企業等との連携・協働の活動拠点として魅力ある施設となるように、魅力向上に向けた施設改修及び地域貢献事業等に係る取組みを支援します。また、市内外で大学講義等を実施する「まちかどキャンパス」事業などを支援します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款)教育費 (項)大学費 (目)大学振興費 ・負担金補助及び交付金 31,294千円 <内訳></p> <p>【地方創生推進交付金事業 22,700千円】</p> <p>① 京都北部地域連携都市圏（地域再生計画） 20,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北近畿地域連携センター施設改修事業 10,000千円 ・京都北部地域連携推進事業 8,550千円 ・まちかどキャンパス運営事業 1,450千円 <p>② 福知山市・朝来市・丹波市（地域再生計画） 2,700千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北近畿地域データバンク事業 800千円 ・兵庫県北部地域連携推進事業 1,400千円 ・まちかどキャンパス運営事業 500千円 <p>【その他事業 8,594千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学認証評価 4,594千円 ・大学施設改修事業 4,000千円 <p>4 主な特定財源</p> <p>(款)国庫支出金 (項)国庫補助金 (目)教育費国庫補助金 ・地方創生推進交付金 11,350千円</p> <p>(款)繰入金 (項)基金繰入金 (目)基金繰入金 ・ふるさと創生事業基金繰入金 11,350千円</p>						
担当課	市長公室大学政策課	電話	直通 24-7039 内線 3003			

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	水防センター整備事業				新規	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
12,600	国	府	市債	その他	一般財源	—
			12,600			

1 事業の背景・目的

平成 25 年の台風 18 号・平成 26 年 8 月豪雨災害においては、外水・内水氾濫により市内各所で多数の床上浸水が発生した。全国的に時間 100 ミリとなる集中豪雨は 30 年前と比較し約 2 倍に増加しており、外水・内水氾濫による被害の軽減を図るため、水防活動の核となる水防センターを建築し、水防体制の強化に努めます。

2 事業の内容

水防活動の充実・強化が喫緊の課題となっているなか、国土交通省が戸田地区に整備を進めている「戸田地区河川防災ステーション」内に、水防活動の核となる水防センターを建築し、水防資機材の充実と水防活動能力の強化を推進する。

3 事業費の内訳

(款) 消防費 (項) 消防費 (目) 消防施設費

水防センターの設計業務委託料 1 式 12,600 千円

4 主な特定財源

(款) 市債 (項) 市債 (目) 消防債

水防センターの設計業務委託料 12,600 千円(緊急防災・減災事業債 100%)



戸田地区河川防災ステーション (イメージ図)

担当課	消防本部警防課	電話	直通 24-0119 内線 2420+205
-----	---------	----	------------------------

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	防災行政無線整備事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3,082	国	府	市債	その他	一般財源	-
		1,000			2,082	
<p>1 事業の背景・目的 無線設備の老朽化や電波法令の改正に伴う法令適合などの課題を踏まえ、防災行政無線を含む情報伝達体制の抜本的な検討を行うほか、現在運用中の無線設備で耐用年数を過ぎたバッテリーの更新を行います。</p> <p>2 事業の内容 有識者を交えたプロジェクトチームを立ち上げ、防災行政無線の在り方や、新たな情報伝達手段導入の検討を加え、今後における防災情報伝達手段の整備に向けた基本構想を策定します。 また、防災行政無線設備で耐用年数を過ぎた、屋外子局のバッテリーの取替更新を実施します。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 消防費 (項) 消防費 (目) 災害対策費 有識者委員報酬 (専門委員、委員各1人) 及び 委員旅費 149千円 } (新規) 基本構想業務委託費 一式 2,000千円 防災行政無線バッテリー更新 (屋外拡声子局) 11局 704千円 無線局再免許申請料ほか 229千円</p> <p>4 主な特定財源 防災行政無線整備事業 (みらい戦略一括交付金) 1,000千円</p>						
担当課	総務部 危機管理室		電話	直通 24-7503 内線 3513		

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	調節池整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
325,000	国	府	市債	その他	一般財源	90,000
	26,000		281,400		17,600	
<p>1 事業の背景・目的 平成26年8月豪雨による内水被害への対策として、国・府・市3者による「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」で示された方針に基づき、法川及び弘法川の市管理河川等において、調節池を整備します。 国・府と連携して事業を進めていくことで、法川及び弘法川流域住民はもとより、市民の安心・安全に寄与することができます。</p> <p>2 事業の内容 法川流域において、調節池新設にかかる詳細設計、桃池の改修工事を実施します。 弘法川流域においては、西川調節池の整備にかかる用地取得を実施します。 また、京都府の調節池整備事業と連携し、調節池設置に伴い発生する残土を有効利用し、下荒河地内に広場を整備します。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 土木費 (項) 河川費 (目) 河川総務費 委託料 測量設計業務（詳細設計他） 28,000千円 工事請負費 ため池改修（桃池調整池） 60,000千円 公有財産購入費 用地買収 237,000千円</p> <p>4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 土木費国庫補助金 社会資本整備総合交付金 78,000千円×補助率1/3=26,000千円 (款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債 公共事業等債 (事業費78,000千円－国費26,000千円)×充当率90%=46,800千円 合併特例債 対象事業費 247,000千円×充当率95%≒234,600千円</p>						
担当課	土木建設部土木課		電話	直通 24-7059 内線 4215		

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	ため池等農地災害危機管理対策事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
27,500	国	府	市債	その他	一般財源	8,000
		25,500	1,300	500	200	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>福知山市字大内地内に位置する大内山田奥池は平成27年12月に老朽化が原因と思われる底樋の閉塞により、大規模な漏水が発生し、危険な状態であるため、今回整備に必要な計画策定業務を実施します。</p> <p>また、府営事業で改修工事を実施している豊富用水池と大内山田奥池を含むその他6池について、ため池の危険性と地区住民の避難経路を周知することにより、被害を最小限にするとともに、地区住民の安心安全な生活の確保に寄与するため、ハザードマップを作成します。</p> <p>あわせて、福知山市字大門地内に位置する袋池の実施設計業務等を実施します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>○全体事業</p> <p>(袋池) 工事内容 取水施設改修 1式 総事業費 50,000千円 事業期間 平成27年度～平成30年度</p> <p>(大内山田奥池) 工事内容 取水施設改修 1式他 総事業費 100,000千円 事業期間 平成29年度～平成32年度</p> <p>○平成29年度事業</p> <p>(袋池) 実施設計業務 1式 事業費 10,000千円 (負担割合：国55% 府25% 市15% 地元5%)</p> <p>(豊富用水池他) ハザードマップ作成 1式 事業費 7,500千円 (負担割合：国100%)</p> <p>(大内山田奥池) 計画策定業務 1式 事業費 10,000千円 (負担割合：国100%)</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 農林業費 (項) 農業費 (目) 農地費 委託料 27,500千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>農林業費分担金 500千円、府補助金 25,500千円 公共事業債 1,300千円</p>						
担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7042 内線 4116			

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	農村地域防災減災事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
21,470	国	府	市債	その他	一般財源	48,000
			16,100		5,370	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>平成26年8月に設置された「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」の計画に基づき、弘法川、法川流域の農業用ため池6池に洪水調整機能を付与した改修を平成29年度から31年度にかけて府営事業により実施するため負担金を支払います。（計画策定は28年度に市により実施）</p> <p>さらに、法川流域のため池に係る調整池容量の増加を検討するため、調査及び概略設計業務を実施します。</p> <p>2 事業の内容 （府営分）</p> <p>○全体事業概要</p> <p>工事内容 洪水調整機能付与他改修 6池（弘法川流域：市寺奥池、大道池、論田池 法川：新長谷池、長谷池、釜戸池）</p> <p>総事業費 404,400千円</p> <p>事業期間 平成28年度～平成31年度</p> <p>平成29年度事業概要及び事業費の内訳</p> <p>実施設計業務 3池（法川：新長谷池、長谷池、釜戸池）</p> <p>事業費 27,000千円（9,000千円×3池）</p> <p>（市営分）</p> <p>○全体事業概要</p> <p>工事内容 法川流域のため池に係る調整池容量増加のための改修</p> <p>事業期間 平成29年度～平成31年度</p> <p>平成29年度事業概要 調査及び概略設計業務</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>（款）農林業費 （項）農業費 （目）農地費</p> <p>負担金補助及び交付金（事業主体：京都府）</p> <p>27,000千円×11%=2,970千円（国55%、府34%、市11%）</p> <p>委託料 18,500千円</p> <p>（調査業務 5,000千円、概略設計業務 13,500千円 市単費）</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>旧合併特例債 16,100千円</p>						
担当課	農林商工部農林管理課		電話	直通 24-7042 内線 4116		

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	府営ため池整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,000	国	府	市債	その他	一般財源	14,200
			1,800		200	

1 事業の背景・目的

豊富用水池は、造成後70年以上経過し、施設の老朽化が顕著な状況です。
 府営事業で平成21年度から23年度まで施設の診断を行った結果、改修・改良が必要となりました。その結果を踏まえ、平成26年度から31年度にかけて府営事業によりため池整備を実施するため負担金を支払います。

2 事業の内容

○全体事業概要

事業内容 底樋、洪水吐、斜樋ゲート、水管理施設の改修・更新
 (監視システム、警報装置含む)

総事業費 332,000千円

事業期間 平成26年度～平成31年度(予定)

○平成29年度事業概要

ため池整備工事(土砂対策) 1式 20,000千円

3 事業費の内訳

(款)農林業費 (項)農業費 (目)農地費
 負担金補助及び交付金(事業主体:京都府)
 $20,000千円 \times 10\% = 2,000千円$
 国55%、府30%、市10%、地元5%

4 主な特定財源

公共事

業債 1,800千円



担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7042 内線 4116
-----	------------	----	--------------------

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり				
事業名	市営林 安心・安全の森づくり事業（弘法川流域等）				継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)				前年度 予算額
12,300	国	府	市債	その他	
		10,000		2,300	

1 事業の背景・目的

平成26年8月豪雨により被害を受けた弘法川流域の上流域では、治水対策として林地の保水力強化が必要となっています。

このため、弘法川流域等の上流域に位置する市営林を早期に整備することで林地保水力を高め、治水対策の推進を図ります。

2 事業の内容

豊かな森を育てる府民税市町村交付金を活用して、早急に弘法川流域等の治水対策としての森林整備（本数調整伐）を進めます。

森林整備（本数調整伐） 室地区

スギ A=10.83ha

ヒノキ A=16.26ha

計 A=27.09ha

3 事業費の内訳

(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 財産管理費

・委託料 (その他業務委託)

12,300千円

4 主な特定財源

(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 農林業費府補助金

豊かな森を育てる府民税市町村交付金 10,000千円

豊かな森を育てる基金繰入金 2,300千円



森林の状況（室地内）

担当課	農林商工部林業振興課	電話	直通 24-7047 内線 4130
-----	------------	----	--------------------

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	治山流末整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,260	国	府	市債	その他	一般財源	1,200
					2,260	
<p>1 事業の背景・目的 平成26年8月豪雨により被害を受けた森林において、現在京都府により治山事業が進められています。 この治山事業により土砂の流出を防ぐとともに、下流の水路を整備することで、下流域の安全を確保します。</p> <p>2 事業の内容 京都府の治山事業等と連携して治山事業の流末水路の整備を行います。 治山事業の流末水路の整備 水路整備 L=43.3m</p> <p>3 事業費の内訳 (款)農林業費 (項)林業費 (目)林業振興費 工事請負費 2,260千円</p>						
担当課	農林商工部林業振興課	電話	直通 24-7047 内線 4130			

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	消防車両更新事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
16,823	国	府	市債	その他	一般財源	72,353
		4,150	11,400		1,273	

1 事業の背景・目的

消防団の災害現場活動における機動力を向上するため、老朽化したポンプ車と小型動力ポンプ付積載車を更新整備します。

2 事業の内容

多機能型小型動力ポンプ付積載車整備 2台
 更新車両 西中分団第2部1班(石原) 積載車(経過年数27年)
 細見分団第3部(千束) ポンプ車(経過年数24年)

3 事業費の内訳

(款) 消防費 (項) 消防費 (目) 消防施設費
 多機能型小型動力ポンプ付積載車整備 2台 16,823千円

4 主な特定財源

(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 消防費府補助金
 積載車整備(西中分団) 4,150千円(地域防災力総合支援事業 50%)
 (款) 市債 (項) 市債 (目) 消防債
 積載車整備(西中分団) 3,100千円(防災対策事業債 75%)
 積載車整備(細見分団) 8,300千円(過疎対策債 100%)



多機能型小型動力ポンプ付積載車(イメージ)

担当課	消防本部警防課	電話	直通 24-0119 内線 2420+205
-----	---------	----	------------------------

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	自主防災組織育成補助事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1,800	国	府	市債	その他	一般財源	2,300
		900			900	
<p>1 事業の背景・目的 大規模な災害が発生した場合、「自助・共助」による活動が被害を減少させる大きな力となります。 「自助・共助」による防災力を更に育成強化し、「市民とともにつくる災害に強いまちづくり」を推進します。</p> <p>2 事業の内容 自主防災組織結成の推進及び活動の充実を図るため、自主防災組織の設置及び既存組織の運営に対して補助を行います。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 消防費 (項) 消防費 (目) 災害対策費 負担金補助及び交付金 〈設置補助 (設置時1回のみ)〉 基準額10万円、補助率1/2、補助金上限5万円 〈運営補助 (毎年利用可能)〉 基準額6万円、補助率1/3、補助金上限2万円 設置補助金 500千円 (10組織) 運営補助金 1,300千円 (65組織) 【自主防災組織の組織率 77.4% (平成28年度末見込み)】</p> <p>4 主な特定財源 自主防災組織育成補助事業 (みらい戦略一括交付金) 900千円</p>						
担当課	総務部 危機管理室		電話	直通 24-7503 内線 3513		

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	自主防災組織地域防災マップ作成事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1,500	国	府	市債	その他	一般財源	3,000
		750			750	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>市が全域を対象として作成し全戸配付している防災マップ（洪水、地震ハザードマップ）に加えて、自主防災組織が地域で独自に取り組む、地域ごとの災害リスクや避難方法等を反映した地域版防災マップ（マイマップ）の作成を支援することで、各地域での防災意識の高揚を図り、安心・安全なまちづくりを推進します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>マイマップ作成にかかる、各地域で実施される検討会やグループワークに危機管理室職員が参加し、アドバイスなどの支援を行います。</p> <p>【参考】</p> <p>平成27年度 20組織が取組 平成28年度 27組織が取組</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 消防費 (項) 消防費 (目) 災害対策費 マイマップ印刷 一式 1,500千円 (30組織)</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>自主防災組織地域防災マップ作成事業（みらい戦略一括交付金） 750千円</p>						
担当課	総務部 危機管理室		電話	直通 24-7503 内線 3513		

政策名	安心・安全の生活・教育・防災基盤づくり					
事業名	住宅耐震改修事業・住宅耐震診断事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3,200	国	府	市債	その他	一般財源	6,500
	925	1,475			800	

1 事業の背景・目的

民間木造住宅の耐震化を進めることにより、市民の生命、財産を守り、防災意識を向上させ、地震時に避難、救命、消火の妨げとなる倒壊家屋の減少を図ります。

2 事業の内容

地震による倒壊の恐れのある民間木造住宅の耐震化に係わる本格改修及び簡易改修並びに平成29年度より新たに減災改修の実施に係わる助成を行います。
また、耐震診断士を派遣し、耐震診断を行います。

3 事業費の内訳

(款) 消防費 (項) 消防費 (目) 災害対策費

住宅耐震改修事業

補助金

【本格改修】 900千円 × 2戸 = 1,800千円

【簡易改修】 300千円 × 2戸 = 600千円

【減災改修】 300千円 × 1戸 = 300千円

(款) 消防費 (項) 消防費 (目) 災害対策費

住宅耐震診断事業

委託料

【耐震診断士派遣】 50千円 × 10戸 = 500千円

4 主な特定財源

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 消防費国庫補助金

社会資本整備総合交付金 925千円

(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 消防費府補助金

1,475千円

担当課	土木建設部建築課	電話	直通 24-7058 内線 4244
-----	----------	----	--------------------

政策名	市民すべてが活躍するまちづくり					
事業名	～福知山市市制施行80周年記念～ 福知山市市民憲章推進協議会設立25周年記念事業 — 未来の力祭典 —					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
9,243	国	府	市債	その他	一般財源	—
	4,621			4,622		
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>福知山市市制施行80周年・福知山市市民憲章推進協議会設立25周年となる記念の年に、市民憲章推進協議会主催により「幸せを生きる」をテーマに、本市の未来を託す若者や地域等の可能性を引き出し郷土愛を育む場として「未来の力祭典」を開催します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>市内高校及び大学並びに地域等と連携・協働し、活動成果の発表の場と市民との交流機会を創出することにより、市民憲章の理念の普及・啓発を図るとともに地域振興を図ります。</p> <p>(1) 日程 平成29年8月5日(土) 予定</p> <p>(2) 会場 厚生会館・御霊公園 他</p> <p>(3) イベント内容</p> <p>①式典</p> <p>②コンサートの開催 8月5日(土)予定(市内高校生等の若さが競演)</p> <p>③舞台発表</p> <p>④出店ブースの設置(物販、飲食等)</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款)総務費(項)総務管理費(目)地域交流推進費</p> <p>(1)旅費 43千円</p> <p>(2)負担金補助及び交付金 9,200千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款)国庫支出金(項)国庫補助金(目)総務費国庫補助金 未来の力祭典事業(地方創生推進交付金) 4,621千円</p> <p>(款)繰入金(項)基金繰入金(目)基金繰入金 未来の力祭典事業基金繰入(地域振興基金) 4,622千円</p>						
担当課	地域振興部まちづくり推進課		電話	直通 24-7033 内線 3131		

政策名	市民すべてが活躍するまちづくり																																
事業名	男女共同参画協働支援事業					拡充																											
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																											
1,118	国	府	市債	その他	一般財源	596																											
		245			873																												
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>平成28年4月から女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)が施行され、本市においても第3次福知山市男女共同参画計画「はばたきプラン2011後期計画」を福知山市女性活躍推進計画と位置づけ、女性があらゆる場において活躍できることを目的に様々な施策を行っています。</p> <p>その一環として、京都府と連携した女性活躍応援事業を実施し地域における女性の活躍を応援します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 福知山市女性活躍応援事業補助</p> <p>京都府女性活躍応援事業補助金対象事業を実施する福知山市内の団体に対して、府補助金を除く自己資金の2/3以内を補助金として交付し支援します。</p> <p>(2) 京都府主催及び京都府と連携した女性活躍応援事業への参加促進と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域女性エンパワーメントセミナー参加者支援 ・女性リーダー養成事業(京都府女性の船)参加者支援 ・女性活躍応援セミナーの開催 <p>3 事業費の内訳</p> <table> <tr> <td>(款) 民生費</td> <td>(項) 社会福祉費</td> <td>(目) 社会福祉総務費</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>321千円</td> <td>(講師謝礼他)</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>78千円</td> <td>(消耗品他)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>29千円</td> <td>(郵送料)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>50千円</td> <td>(音響照明業務委託料)</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>290千円</td> <td>(バス借上げ料・高速料他)</td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>350千円</td> <td>(補助金)</td> </tr> </table> <p>4 主な特定財源</p> <table> <tr> <td>(款) 府支出金</td> <td>(項) 府補助金</td> <td>(目) 民生費府補助金</td> </tr> <tr> <td>京都府人権問題啓発事業補助金</td> <td>245千円</td> <td></td> </tr> </table>							(款) 民生費	(項) 社会福祉費	(目) 社会福祉総務費	報償費	321千円	(講師謝礼他)	需用費	78千円	(消耗品他)	役務費	29千円	(郵送料)	委託料	50千円	(音響照明業務委託料)	使用料及び賃借料	290千円	(バス借上げ料・高速料他)	負担金補助及び交付金	350千円	(補助金)	(款) 府支出金	(項) 府補助金	(目) 民生費府補助金	京都府人権問題啓発事業補助金	245千円	
(款) 民生費	(項) 社会福祉費	(目) 社会福祉総務費																															
報償費	321千円	(講師謝礼他)																															
需用費	78千円	(消耗品他)																															
役務費	29千円	(郵送料)																															
委託料	50千円	(音響照明業務委託料)																															
使用料及び賃借料	290千円	(バス借上げ料・高速料他)																															
負担金補助及び交付金	350千円	(補助金)																															
(款) 府支出金	(項) 府補助金	(目) 民生費府補助金																															
京都府人権問題啓発事業補助金	245千円																																
担当課	市民人権環境部人権推進室	電話	直通 24-7022 内線 2217																														

政策名	市民すべてが活躍するまちづくり					
事業名	次世代交流ワークショップ事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,134	国	府	市債	その他	一般財源	—
	1,067				1,067	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>高校生などの若者を中心とする市民が福知山市のまちづくりや未来について意見を交わす場を創出し、若者のまちづくり意識の向上や意見の抽出、郷土愛の醸成を図るとともに、にぎわいと活気ある福知山の新時代を切り拓く人材を育成することを目的とします。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>各高等学校と連携し、高等学校への地域人材の派遣などによる若者の人材育成を行うとともに、市内高等学校ごとに福知山の将来を語る個別ワークショップを開催します。</p> <p>その後、無作為抽出等により募集・選出した市民とともにグループ討議により福知山のまちづくりに関する多様な議題について深く討論します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 企画費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報償費 330千円 ・ 需用費 75千円 ・ 役務費 28千円 ・ 委託料 1,701千円 <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 総務費国庫補助金 地方創生推進交付金 1,067千円</p>						
担当課	市長公室企画課		電話	直通 24-7030 内線 3114		

政策名	市民すべてが活躍するまちづくり					
事業名	福知山市伝統文化後継者育成事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
600	国	府	市債	その他	一般財源	—
	300			300		
<p>1 事業の背景・目的 本市の長い歴史、風土の中で生まれ、また日々の生活の中で生み出された技術や工夫は丹波漆、丹後和紙等の伝統技術、工芸製品として現在に伝えられており、これらは市民の「心の豊かさ」や「地域の魅力」を創造するとともに、本市の歴史・文化の個性と魅力を引き出す観光・地域資源となっています。この貴重な伝統文化を未来へ継承するため、新たな後継者の育成を図ります。</p> <p>2 事業の内容 本市の魅力ある伝統文化(伝統技術・工芸製品)の後継者育成に係る生産者及び伝承活動団体等の事業に対し支援を行います。 支援については後継者1人につき3年を限度に補助金を交付します。 後継者の育成支援 月額上限 50千円、年額 600千円 (H29年度実施予定 1人)</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 文化振興費 負担金補助及び交付金 600千円</p> <p>4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 総務費国庫補助金 福知山市伝統文化後継者育成事業(地方創生推進交付金) 300千円 (款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金 福知山市伝統文化後継者育成事業基金繰入(ふるさと創生事業基金) 300千円</p>						
担当課	地域振興部まちづくり推進課	電話	直通 24-7033 内線 3133			

政策名	市民すべてが活躍するまちづくり					
事業名	福知山市文化芸術振興基本方針策定事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1,591	国	府	市債	その他	一般財源	—
		641			950	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>本市の文化振興の基本的かつ体系的な方向性をまとめ、今後の市民協働による推進体制の整備、また文化施設のあり方等について検討し、文化を活かしたまちづくりを行うために、「福知山市文化芸術振興基本方針」を策定します。</p> <p>基本方針の策定は、平成29年度から平成30年度までの2か年にわたる継続事業として実施します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 福知山市文化芸術振興基本方針策定委員会の設置</p> <p>(2) 団体等からのヒアリング、市民アンケート調査</p> <p>(3) 基本方針策定業務委託</p> <p>【債務負担行為：業務委託 3,000千円(H29:1,283千円、H30:1,717千円)】</p> <p>●H29年度 策定委員会設置、各種団体ヒアリング、市民アンケート調査、業者委託契約</p> <p>●H30年度 策定委員会、計画策定、冊子印刷・製本</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 文化振興費</p> <p>(1) 報償費 210千円</p> <p>(2) 旅費 60千円</p> <p>(3) 需用費 30千円</p> <p>(4) 役務費 8千円</p> <p>(5) 委託料 1,283千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 総務費府補助金</p> <p>福知山市文化芸術振興基本方針策定事業(みらい戦略一括交付金) 641千円</p>						
担当課	地域振興部まちづくり推進課	電話	直通 24-7033 内線 3133			

政策名	市民すべてが活躍するまちづくり					
事業名	福知山市アーティスト・イン・レジデンス事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
544	国	府	市債	その他	一般財源	—
	272				272	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>京都府では平成28年度から地域の人々が主体となって芸術文化活動に関わる環境づくりを促進し、地域の魅力をアートの視点から引き出すアーティスト・イン・レジデンス事業を実施しています。</p> <p>本市においても、市民参加の公募美術展や特色ある展覧会を開催し、文化・芸術の振興を推進し、また伝統文化の後継者育成や情報発信に努めています。</p> <p>本事業の主題である「アートによる地域振興」の視点から、地域との交流と連携を深め、文化振興と地域活性化を図ります。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 名称 福知山市アーティスト・イン・レジデンス事業</p> <p>(2) 実施時期 平成29年8月～9月</p> <p>(3) 実施内容</p> <p>①京都アーティスト・イン・レジデンス実行委員会(事務局：京都府)を組織</p> <p>②若手アーティストを全国公募(7～8名)</p> <p>③福知山市内で15日間程度宿泊</p> <p>④ワークショップの開催</p> <p>⑤創作活動及び発表</p> <p>⑥地域コーディネーターの設置</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 文化振興費</p> <p>(1) 旅 費 44千円</p> <p>(2) 負担金補助及び交付金 500千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 総務費国庫補助金</p> <p>福知山市アーティスト・イン・レジデンス事業 (地方創生推進交付金)</p> <p style="text-align: right;">272千円</p>						
<p>※アーティスト・イン・レジデンス事業：各種の芸術制作を行う人物を一定期間ある土地に招聘し、その土地に滞在しながら作品制作を行わせる事業</p>						
担当課	地域振興部まちづくり推進課		電話	直通 24-7033 内線 3133		

政策名	市民すべてが活躍するまちづくり																																
事業名	スポーツ推進計画策定事業					新規																											
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																											
1,509	国	府	市債	その他	一般財源	—																											
				1,509																													
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックをはじめとして、国内で大規模な国際スポーツ大会が予定されており、本市においても関西ワールドマスタースゲームズ2021ソフトテニス競技の開催が決定するなど、スポーツを取り巻く環境が大きく変わりつつあります。</p> <p>こういった中で、年齢や性別、障害等を問わず、広く市民がその適正に応じたスポーツに参画し、心身の健全な発達や健康及び体力の増進を図るとともに、スポーツによる地域間交流やスポーツ観光を推進するため、本市のスポーツビジョンとなる「福知山市スポーツ推進計画」を策定します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>スポーツに関する施策の基本となる事項を定めたスポーツ基本法第10条に基づき、「福知山市スポーツ推進計画」を策定します。</p> <p>市民意識調査を実施し、庁内のプロジェクトチームで検討した素案を元に、外部有識者等の意見を踏まえ、2ヵ年計画で策定します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">(款) 教育費</td> <td style="width: 33%;">(項) 保健体育費</td> <td style="width: 33%;">(目) 保健体育総務費</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td></td> <td>240千円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td></td> <td>38千円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td></td> <td>25千円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td></td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td></td> <td>1,200千円</td> </tr> </table> <p>4 主な特定財源</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">(款) 繰入金</td> <td style="width: 33%;">(項) 基金繰入金</td> <td style="width: 33%;">(目) 基金繰入金</td> </tr> <tr> <td colspan="3">スポーツ推進計画策定事業基金繰入 (ふるさと創生事業基金)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">1,509千円</td> </tr> </table>							(款) 教育費	(項) 保健体育費	(目) 保健体育総務費	報償費		240千円	旅費		38千円	需用費		25千円	役務費		6千円	委託料		1,200千円	(款) 繰入金	(項) 基金繰入金	(目) 基金繰入金	スポーツ推進計画策定事業基金繰入 (ふるさと創生事業基金)			1,509千円		
(款) 教育費	(項) 保健体育費	(目) 保健体育総務費																															
報償費		240千円																															
旅費		38千円																															
需用費		25千円																															
役務費		6千円																															
委託料		1,200千円																															
(款) 繰入金	(項) 基金繰入金	(目) 基金繰入金																															
スポーツ推進計画策定事業基金繰入 (ふるさと創生事業基金)																																	
1,509千円																																	
担当課	地域振興部スポーツ振興課	電話	直通 24-7069 内線 5333																														

政策名	市民すべてが活躍するまちづくり					
事業名	地域づくり人材育成事業（夜久野支所）					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
334	国	府	市債	その他	一般財源	—
	167			167		
事業名	地域づくり人材育成事業（大江支所）					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
691	国	府	市債	その他	一般財源	—
	345			346		
<p>1 事業の背景・目的 地域の課題解決に向け、住民が主体となって地域のめざす将来像を実現する取組みを進めるため、地域リーダーとなる人材育成を図ります。</p> <p>2 事業の内容 全国地域リーダー養成塾（開催地：東京）への参加支援のため、旅費と負担金を支給します。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 地域交流推進費 旅費 925千円 研修旅費 養成塾土日集中セミナー4回参加(4人) 234千円(夜久野支所) 58,320円×4回=233,280円 養成塾9回参加(1人) 691千円(大江支所) 76,740円×9回=690,660円 負担金 100千円 養成塾土日集中セミナー参加費 25千円×4回=100千円(夜久野支所)</p> <p>4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 総務費国庫補助金 地方創生推進交付金 167千円(夜久野支所) 345千円(大江支所) (款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金 ふるさと創生事業基金繰入 167千円(夜久野支所) 346千円(大江支所)</p>						
担当課	地域振興部夜久野支所		電話	直通 37-1103 内線 74-9220		
	地域振興部大江支所			直通 56-1102 内線 75-9322		

政策名	市民すべてが活躍するまちづくり					
事業名	まちづくりミーティング事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
38	国	府	市債	その他	一般財源	38
					38	
<p>1 事業の背景・目的 住みよいまちづくりやあるべき将来像について、市民団体等と市長が意見交換し、出された提案などを市政運営に反映させることで、市民参画の開かれた行政の推進に努めます。</p> <p>2 事業の内容 福知山市を拠点として活動する市民団体等を対象に年度を4半期（4～6月、7～9月、10月～12月、1月～3月）に分けて希望団体を募集します。（応募は1団体年1回限り）参加人数は最大20人程度。 年間12回（1期3団体×4期）とし、1回あたり約1時間30分とし、福知山市内で各団体が希望し、設定した場所へ市長が出向いて懇談します。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 文書広報費 ・ 需用費（事務用品） 35千円 ・ 役務費（郵送料） 3千円</p>						
担当課	市長公室秘書課	電話	直通 24-7027 内線 3147			

政策名	新たなPR・観光戦略に基づく魅力づくり					
事業名	福知山PR戦略総合推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
16,700	国	府	市債	その他	一般財源	—
	8,350			8,350		
<p>1 事業の背景・目的 本市の独自性を活かした情報発信を行うために、「パブリック・リレーションズ」の考え方に基づいた広聴広報活動を行う必要があります。そのため、本市全体の広報を一元的に管理し、戦略的に組み直し、効果的な情報としてマスメディアなどを通じて本市の魅力を発信し、市民活動の活性化や更なる産業誘致、観光誘客を図ります。</p> <p>2 事業の内容 ・PR戦略の実施 基本戦略・戦術の構築及びその実施、PR実践塾（仮称）の実施 ・PRコンテンツの制作 プロモーション動画、SNS等を活用した観光プロモーション、観光パンフレット・ポスターの作成、宣伝写真の撮影、移住定住促進及び企業誘致パンフレットの作成、肉のまちイベントのPRなど</p> <p>3 事業費の内訳 （款）総務費 （項）総務管理費 （目）文書広報費 ・旅費（PR活動旅費） 200千円 ・委託料 16,500千円 【内訳】 （1）PR戦略実施業務委託料 6,500千円 （2）PRコンテンツ制作委託料 10,000千円</p> <p>4 主な特定財源 （款）国庫支出金 （項）国庫補助金 （目）総務費国庫補助金 地方創生推進交付金 8,350千円 （款）繰入金 （項）基金繰入金 （目）基金繰入金 地域振興基金繰入金 8,350千円</p> <p>※パブリック・リレーションズ（PR） 個人や組織体が最短距離で目的や目標を達成する、「倫理観」に支えられた「双方向コミュニケーション」と「自己修正」をベースとしたリレーションズ（関係構築）活動のこと。</p>						
担当課	市長公室秘書課	電話	直通 24-7000 内線 3144・3145			

政策名	新たなPR・観光戦略に基づく魅力づくり					
事業名	観光地域づくりセンター（仮称）設置運営事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
13,603	国	府	市債	その他	一般財源	—
	6,801			6,802		
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>日本各地で少子高齢化や都市部への人口流出に伴う地域活力の低迷が懸念されている昨今、観光産業は“21世紀のリーディング産業”としてその経済効果や地域コミュニティの活性化が期待されています。</p> <p>「観光は地域づくりである」という理念の下、歴史と文化、自然や風土に培われた当地の観光資源をこれまでとは異なる新しい視点や戦略的な取組み手法によって掘り起こしと磨き上げを行い効果的に発信することで、地域の活性化と誘客の促進に資することを目的に、「観光地域づくりセンター（仮称）」を設置します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 戦略マネージャー・地域づくり業務の委託 専門人材を登用し戦略的かつ総合的な観光地域づくりを推進します。</p> <p>(2) 観光地域づくりセンター（仮称）運営業務の委託 「観光地域づくりセンター（仮称）」の事務局運営を委託します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 商工費 (項) 商工費 (目) 観光費</p> <p>委託料</p> <p>戦略マネージャー・地域づくり業務委託 7,500千円</p> <p>観光地域づくりセンター（仮称）運営業務委託 5,420千円</p> <p>事務経費（事務用品 他） 683千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 商工費国庫補助金</p> <p>観光地域づくりセンター（仮称）設置運営事業（地方創生推進交付金） 6,801千円</p> <p>(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金</p> <p>観光地域づくりセンター（仮称）設置運営事業基金繰入（地域振興基金） 6,802千円</p>						
担当課	地域振興部観光振興課	電話	直通 24-7076 内線 4150			

政策名	新たなPR・観光戦略に基づく魅力づくり					
事業名	体育施設設備整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
40,200	国	府	市債	その他	一般財源	14,920
		4,510	33,900		1,790	

1 事業の背景・目的

2021年5月に本市で初めて開催される大規模な国際大会の「関西ワールドマスタースターズゲームズ2021（ソフトテニス競技）」や、全国大会等の開催を控え、三段池公園テニスコートの整備・改修を行い、施設の充実と利用者の利便性及び安全性の向上を図ります。

2 事業の内容

三段池公園テニスコートの全16面の内、砂入人工芝への施工が完了していない、残りの4面を改修し、全コートの全天候型テニスコート化を完了します。

3 事業費の内訳

(款) 教育費 (項) 保健体育費 (目) 体育施設費
工事請負費 40,200千円

4 主な特定財源

(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 教育費府補助金
広域的スポーツ施設充実支援事業補助金 4,510千円

(款) 市債 (項) 市債 (目) 教育債
体育施設整備事業(合併特例債) 33,900千円



担当課	地域振興部スポーツ振興課	電話	直通 24-7069 内線 5333
-----	--------------	----	--------------------

政策名	新たなPR・観光戦略に基づく魅力づくり					
事業名	三段池公園ユニバーサル化事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
27,000	国	府	市債	その他	一般財源	—
			25,600	1,000	400	

1 事業の背景・目的

三段池公園は動物園や児童科学館など文化施設や武道館や運動場などのスポーツ施設があり多目的な総合公園として市内外から沢山の方に利用されています。

また、1万人が参加する福知山マラソン大会のメイン会場や軟式テニスの世界大会「関西ワールドマスターズゲーム」の開催も決定するなどすべての人に配慮した公園整備が必要となっています。

来園者の利便性と快適性の向上を図る目的から、老朽化した公園内のトイレを更新・改修します。

2 事業の内容

公園内トイレの洋式化を図ります。

- ・第1駐車場便所新築工事
- ・テニスコート屋外便所改修工事

3 事業費の内訳

(款) 土木費 (項) 都市計画費 (目) 公園施設費
工事請負費 27,000 千円

4 主な特定財源

(款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債
旧合併特例債 27,000千円×充当率95%≒25,600千円
(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金
教育都市計画基金繰入金 1,000 千円



第1駐車場便所新築工事



テニスコート屋外便所改修工事

担当課	土木建設部都市計画課	電話	直通 24-7052 内線 4313
-----	------------	----	--------------------

政策名	新たなPR・観光戦略に基づく魅力づくり				
事業名	文化合宿補助事業				継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)				前年度 予算額
375	国	府	市債	その他	一般財源
				375	
<p>1 事業の背景・目的 本市の文化資源を有効に活用し、文化合宿を通して人の交流促進と地域の活性化を図るため、合宿誘致に取り組みます。 ただし、本市の合宿繁忙期である7月・8月及び土曜日・日曜日のみの宿泊を除くことで、空き施設が多い平日を中心に誘致を促進し、施設の有効活用を図ります。</p> <p>2 事業の内容 市内施設等を利用する文化合宿(宿泊等)に対して補助金を交付します。 ●交付対象 (1) 市外の高等学校、大学等の生徒及び学生で構成された文化部等学校公認のクラブ・サークル等。 (2) 1回の合宿における延べ宿泊数が20泊以上、市内の宿泊施設に宿泊し、かつ市内の文化施設等を使用すること。 (3) 補助金交付額は、1泊当たり1,500円を乗じて得た額とし、1回の合宿1団体あたり15万円を限度とする。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 文化振興費 文化合宿補助金 375千円</p> <p>4 主な特定財源 (款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金 文化合宿補助事業基金繰入(地域振興基金) 375千円</p>					
担当課	地域振興部まちづくり推進課	電話	直通 24-7033 内線 3133		

政策名	新たなPR・観光戦略に基づく魅力づくり				
事業名	「肉のまち福知山」事業				新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)				前年度 予算額
1,200	国	府	市債	その他	一般財源
	600			600	
<p>1 事業の背景・目的 これまで観光施策として取組んできた「スイーツのまち福知山」に加え、「肉」を本市の新たな観光コンテンツとして位置づけ、そのストーリーの組立てや資源の再発見などを行い、「肉のまち 福知山」を発信することで市民意識の醸成と交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化につなげます。</p> <p>2 事業の内容 「肉のまち福知山」イベントの実施 「肉のまち福知山」のPRと集客、機運向上を目的に、市内の関係業界等と連携し、肉の関連イベントを開催します。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 商工費 (項) 商工費 (目) 観光費 委託料 「肉のまち福知山」イベント業務委託 1,200千円</p> <p>4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 商工費国庫補助金 「肉のまち福知山」事業(地方創生推進交付金) 600千円 (款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金 「肉のまち福知山」事業基金繰入(地域振興基金) 600千円</p>					
担当課	地域振興部観光振興課	電話	直通 24-7076 内線 4150		

政策名	新たなPR・観光戦略に基づく魅力づくり					
事業名	「あしぎぬ大雲の里」かわまちづくり検討事業				新規	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
617	国	府	市債	その他	一般財源	—
				617		
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>現在、由良川改修事業により安心・安全な河川整備が進められています。こうした河川整備にあわせ、「あしぎぬ大雲の里」周辺において、由良川の景観・歴史・文化等の特性を活かした良好な水辺空間を形成し、地域振興・観光振興を図るための地域住民等による検討委員会を設置します。</p> <p>検討委員会の提案報告については、その具体性や実現性を精査するなかで、「かわまちづくり」を推進する熱意ある主体者を構成し、河川管理者と連携して「かわまちづくり計画」を策定するとともに「かわまちづくり支援制度」認定に向けての申請を行います。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 「あしぎぬ大雲の里」かわまちづくり検討委員会の設置 (2) 講演会（学習会）、先進地視察の実施 (3) フィールドワーク、ワークショップ等の開催</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 地域交流推進費</p> <p>(1) 報償費 435千円 (2) 需用費 140千円 (3) 役務費 7千円 (4) 使用料及び賃借料 35千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金 「あしぎぬ大雲の里」かわまちづくり検討事業基金繰入（地域振興基金） 617千円</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>※「かわまちづくり」とは（出典：国土交通省資料） 地域活性化のために景観・歴史・文化及び観光基盤などの地域がもつ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村及び地元住民と河川管理者の連携のもと、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間形成をめざす取り組み。</p> </div>						
担当課	地域振興部まちづくり推進課	電話	直通24-7033 内線3131			

政策名	新たなPR・観光戦略に基づく魅力づくり					
事業名	治水対策プロモーション事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1,000	国	府	市債	その他	一般財源	—
					1,000	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>平成25年度、26年度と2年続きの洪水被害を受けましたが、由良川改修、総合治水対策の事業進捗効果を踏まえ、現場見学会、シンポジウムにより市の内外に本市の復興と再生を発信し、安心・安全のまちをアピールします。</p> <p>とりわけ市外に向けた情報発信に重点を置き、定住人口の増加、商業施設の誘致並びに観光振興等を図ることを目的としています。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>由良川改修事業、総合的な治水対策事業の現場見学会、シンポジウムを開催します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 土木費 (項) 土木管理費 (目) 土木総務費 委託料 1,000千円 (まちプロモーション委託料)</p>						
担当課	土木建設部都市整備課	電話	直通 24-7028 内線 4330			

政策名	新たなPR・観光戦略に基づく魅力づくり					
事業名	中心市街地誘客・回遊促進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
8,300	国	府	市債	その他	一般財源	—
	4,150			4,150		
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>福知山市中心市街地活性化基本計画の事業により、広小路通り、ゆらのガーデン、駅北口の3か所の拠点整備を進め、平成28年度からの第2期計画で、広小路通りの電柱類の地中化工事を進めています。</p> <p>本事業は中心市街地活性化基本計画で取り組んできた3つの拠点を中心に実施します。</p> <p>鉄道のまち福知山の面影を活かし、鉄道に縁のある方々、鉄道を愛する人々が市民をまき込んで盛り上げるイベントを開催することで、中心市街地の魅力を発信、まちの賑わい創出を図ります。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>中心市街地への回遊性を高め誘客を促進するため、中心市街地の特色を住民自らの力で引き出していくことを目指した取組を行います。そのために組織された実行委員会等に対して補助金を交付します。</p> <p>広小路通りと御霊公園を会場にした参加体験型のアトラクションのほか、中心市街地エリアで様々なイベントを開催し、中心市街地に内外からの誘客と回遊を促進します。</p> <p>(1) 御霊公園・広小路エリア 参加体験型アトラクション他、マルシェやマーケットの開催</p> <p>(2) 福知山駅エリア 「肉のまち」イベント等の開催</p> <p>(3) ゆらのガーデン マーケット等イベントの開催</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 商工費 (項) 商工費 (目) 商工業振興費</p> <p>負担金補助及び交付金 8,300千円</p> <p>実行委員会補助金 8,300千円</p> <p>4 財源内訳</p> <p>国庫補助金(地方創生推進交付金) 4,150千円</p> <p>ふるさと創生事業基金繰入金 4,150千円</p>						
担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075 内線 4149			

政策名	産業振興をめざした事業者支援と人づくり				
事業名	福知山市産業支援事業				新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)				前年度 予算額
30,744	国	府	市債	その他	一般財源
	12,692			18,052	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>国内に於ける経済動向は持ち直しつつあると言われてはいますが、下請企業の多い本市においては、上昇の兆しは見えていません。海外情勢等の影響が大きく、大変不透明な状況にあり、また消費税率5%にアップ以降個人消費の低迷が長期化していることから、中小企業が抱える売上等の課題解決を強力に支援するため、新たな支援を行うために福知山産業支援センター（仮称）を創設します。</p> <p>併せて、近畿経済産業局のローカル・イノベーション・プロジェクトに認定された産学官連携組織「パワーオンネット」において、市内2大学との連携を推進して、更なる技術力、製品力、販売力の向上により企業の付加価値を高めることで企業の成長を促し、企業経営の安定化と地域経済の活性化を図り、雇用の維持・創出を目指します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>福知山産業支援センター（仮称）の運営については、本市及び経済団体等で構成する一般社団法人を設立して、その法人に委託します。中小企業支援に関して構成団体等の意見を反映するとともに、構成団体等による適正な監査を実施して透明性を確保し、成果等をホームページ等により随時公表します。</p> <p>センター長には、ビジネスセンス溢れる人材を登用するため全国公募とし、知財、創業・事業承継、海外展開等事業者の多岐にわたるニーズに対応するため、国等を含めた各支援機関の協力を得て、相談業務開始後に当地方のニーズにあった支援チームを構築していきます。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>（款）商工費 （項）商工費 （目）商工業振興費</p> <p>[総事業費] 30,744千円</p> <p>[内 訳] 福知山産業支援センター運営委託料 25,385千円</p> <p>福知山産業支援センター事務所整備費等 2,850千円</p> <p>その他経費（旅費・事務所使用料・光熱水費等） 2,509千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>国庫補助金（地方創生推進交付金） 12,692千円</p> <p>地域振興基金繰入金 18,052千円</p>					
担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7504 内線 4141		

政策名	産業振興をめざした事業者支援と人づくり					
事業名	長田野工業団地利活用増進計画策定事業					新規
予算額	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3,030	国	府	市債	その他	一般財源	-
		1,500			1,530	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>昭和48年度の造成完成から44年が経過する長田野工業団地は、団地内環境の老朽化が進んでおり、また、既存企業の約9割が工場立地から30年以上が経過している状況となっています。</p> <p>近年の産業構造は世界的規模でグローバル競争の激化や国内製造業の空洞化が進み、事業所集約や生産拠点の海外移転・流出が懸念されています。</p> <p>こうした中、引続き優良な操業環境を提供するため、利活用増進計画を策定し、長田野工業団地立地企業の長期的な事業継続と拡大、および市外流出の防止につなげ地域経済の活性化を図ります。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>団地内の環境、企業支援や有効的な土地活用等について幅広く検討し、次の50年を見据えた計画を策定します。</p> <p>○計画等策定委託料(3,000千円)</p> <p>○事務経費(30千円)</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款)商工費 (項)商工費 (目)商工業振興費</p> <p>○旅費 19千円 ○需用費 11千円</p> <p>○委託料 3,000千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款)府支出金 (項)府補助金 (目)商工費府補助金</p> <p>長田野工業団地利活用増進計画策定事業(みらい戦略一括交付金)</p> <p style="text-align: right;">1,500千円</p>						
担当課	地域振興部 移住・企業立地推進課		電話	直通 24-7077 内線 4161		

政策名	産業振興をめざした事業者支援と人づくり					
事業名	企業誘致促進特別対策事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
38,880	国	府	市債	その他	一般財源	51,980
				38,300	580	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>我が国では、人口減少社会の到来により、深刻な人材不足をはじめ、消費市場の規模縮小、国内産業の空洞化が進んでいます。</p> <p>また、市内既存企業においては、インフラ施設の老朽化やコスト縮減、グローバル競争の激化等により事業所集約や企業の市外流出が懸念されています。</p> <p>このような中、本市への企業誘致を進めるとともに市内既存企業への設備投資と新規雇用を奨励することにより、企業の市外流出を防ぎ、生産性の向上と安定した雇用の創出を促進し、域内経済の活性化を図ります。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 操業支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工場等新設等奨励金 (13,500千円) 工場の新設・増設・建替等に対して奨励金を交付 ○雇用奨励金 (3,500千円) 工場等の新設・増設・建替等に伴う雇用者数に応じて奨励金を交付 ○固定資産税(建物等)の課税を不均一課税から免除に拡大(3年間) ※ <p>(2) 企業誘致促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工場等新設奨励金 (18,000千円) 新規立地企業に対して奨励金を交付 ○雇用奨励金 (3,000千円) 企業立地に伴う雇用者数に応じて奨励金を交付 ○U・Iターン雇用奨励加算金 (300千円：100千円×3人) 【新設】 U・Iターン者を雇用した進出企業へ奨励金を交付 ○奨励金適用条件の用地取得 (3,000m²) の廃止 ※ <p>(3) 負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ○京都北部中核工業団地企業誘致推進協議会負担金 (500千円) ○京都府市町村企業誘致連絡会議負担金 (80千円) <p>(4) その他の制度拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(1)(2)の奨励金限度額(3年間)を5,000万円から1億円へ拡充※ <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 商工費 (項) 商工費 (目) 商工業振興費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○負担金補助及び交付金 38,880千円 <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金</p> <p>企業誘致促進特別対策事業基金繰入 (企業誘致促進及び工場等操業支援基金) 38,300千円</p>						
担当課	地域振興部 移住・企業立地推進課		電話	直通 24-7077 内線 4161		

政策名	産業振興をめざした事業者支援と人づくり																	
事業名	丹波漆活用調査研究事業				新規													
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額												
2,000	国	府	市債	その他	一般財源	—												
		2,000																
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>本市の長い歴史の中で培われ、伝統文化として伝えられる「丹波の漆かき」、そしてその手法によって産出される「丹波漆」は全国でも優れた「漆」として知られ、多くの漆器製作者や工芸作家あるいは文化財修理の原材料としての需要が高まっており、その活用について調査・研究を行います。</p> <p>将来的には漆を活用した商品の創作、開発を進め、ブランド商品として流通の裾野を広げます。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>庁内関係課による丹波漆振興のプロジェクトチームを設置するとともに文化庁、京都府、NPO、大学等の助言を得ながら丹波漆の振興等について検討します。</p> <p>また、外部機関(大学等)へ調査・研究委託を行い、まちづくりの資源として「丹波漆」の魅力を全国に発信し、文化の継承とともに生産・流通・販路等を拡大する手法を構築します。</p> <p>あわせて漆生産拡大のための漆苗木を地域と連携して植栽します。</p> <p>3 (款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 文化振興費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>(1) 報償費</td><td>80千円</td></tr> <tr><td>(2) 旅 費</td><td>121千円</td></tr> <tr><td>(3) 需用費</td><td>129千円</td></tr> <tr><td>(4) 役務費</td><td>10千円</td></tr> <tr><td>(5) 委託料</td><td>1,578千円</td></tr> <tr><td>(6) 使用料及び賃借料</td><td>82千円</td></tr> </table> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">  <p>漆かきの様子 (夜久野町)</p> </div> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 総務費府補助金 丹波漆活用調査研究事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金) 2,000千円</p>							(1) 報償費	80千円	(2) 旅 費	121千円	(3) 需用費	129千円	(4) 役務費	10千円	(5) 委託料	1,578千円	(6) 使用料及び賃借料	82千円
(1) 報償費	80千円																	
(2) 旅 費	121千円																	
(3) 需用費	129千円																	
(4) 役務費	10千円																	
(5) 委託料	1,578千円																	
(6) 使用料及び賃借料	82千円																	
担当課	地域振興部まちづくり推進課		電話	直通 24-7033 内線 3133														

政策名	産業振興をめざした事業者支援と人づくり					
事業名	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業				拡充	
予算額(千円)	財源内訳(千円)				前年度 予算額	
49,360	国	府	市債	その他		一般財源
				22,033	27,327	38,906

1 事業の背景・目的

増加する農作物被害を軽減させるための重要課題である計画的な有害鳥獣捕獲を推進するにあたり、喫緊の課題であった捕獲個体の適正処分を図るために整備した「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行ないます。このことで駆除隊員の捕獲個体処分に係る労力負担を軽減、計画捕獲を一層推進し、農作物被害の軽減を図ります。

2 事業の内容

- (1) 施設の維持管理
- (2) 捕獲個体の収集運搬及び焼却処分
- (3) 関連施設の整備（冷凍庫を1棟増設してピーク時の稼働需要に対応）

3 事業費の内訳

(款) 農林業費 (項) 林業費 (目) 林業振興費

- ・ 報償費（委員等謝礼） 53千円
- ・ 需用費（燃料費及び光熱水費他） 20,932千円
- ・ 役務費（電信・電話料等） 196千円
- ・ 委託料（指定管理委託料・施設機器点検委託料等） 19,717千円
- ・ 工事請負費（関連施設の整備） 7,900千円
- ・ 使用料及び賃借料 32千円
- ・ 備品購入費（関連機器等の購入） 530千円

4 主な特定財源

(款) 諸収入 (項) 雑入 (目) 雑入 22,033千円（他市負担金）



中丹地域有害鳥獣処理施設

担当課	農林商工部林業振興課	電話	直通 24-7047 内線 4130
-----	------------	----	--------------------

政策名	産業振興をめざした事業者支援と人づくり					
事業名	有害鳥獣防除事業				拡充	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3,131	国	府	市債	その他	一般財源	6,384
				950	2,181	
<p>1 事業の背景・目的 シカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物等への被害は農家の営農意欲や農地保全にも大きく影響しており、捕獲対策と併せて金網柵等及び捕獲柵の設置やバッファゾーン整備等による防除対策を実施するため、福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する防除事業に対して支援を行い、被害の軽減を図ります。</p> <p>2 事業の内容 (1) バッファゾーン整備事業 人里・集落・農地への野生鳥獣の侵入を防ぐため、山裾に緩衝帯を整備することで、野生鳥獣との棲み分けを図ります。 (2) サル対策 三和町の群れ出没に対するサル対策として、平成29年度より本格稼働予定の大丹波サル対策広域協議会（事務局：篠山市）へ参画し、計画的なサル対策を実施します。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 農林業費 (項) 林業費 (目) 林業振興費 ・委託料 981千円 ・負担金補助及び交付金 2,150千円 大型捕獲柵2,324m×1,500円×3/4 1,900千円 大丹波サル対策広域協議会負担金 250千円（新規）</p> <p>4 主な特定財源 (款) 諸収入 (項) 雑入 (目) 雑入 950千円</p> <p>5 大丹波サル対策広域協議会 (1) 構成員 福知山市、南丹市、京丹波町、篠山市、丹波市 (2) 関係機関 京都府南丹広域振興局、京都府中丹広域振興局、 京都府農林水産技術センター、 兵庫県丹波農林振興事務所、兵庫県森林動物研究センター、 NPO法人里地里山問題研究所</p>						
担当課	農林商工部林業振興課	電話	直通 24-7047 内線 4130			

政策名	産業振興をめざした事業者支援と人づくり					
事業名	有害鳥獣捕獲事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
89,394	国	府	市債	その他	一般財源	92,935
		38,471			50,923	
<p>1 事業の背景・目的 本市におけるシカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害の軽減と市民の不安を解消するため、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき、有害鳥獣駆除隊及び捕獲実施隊による計画捕獲を効果的に実施します。</p> <p>2 事業の内容 シカ4,500頭、イノシシ1,000頭他小動物の計画捕獲を推進するための対策を実施します。</p> <p>(1) 駆除隊活動事業 有害鳥獣駆除隊員に対し、捕獲頭数、活動実績に応じた捕獲報償金及び出動手当てを支払います。</p> <p>(2) 捕獲実施隊活動事業 有害鳥獣捕獲実施隊による、主に銃器を使用する捕獲活動の実績に応じた捕獲報償金及び出動手当てを支払います。</p> <p>(3) 広域捕獲及び緊急捕獲活動事業 府県境に生息する鳥獣を効率的に捕獲するための広域捕獲や緊急銃器捕獲を実施し、活動実績に応じて出動手当て等を支払います。</p> <p>(4) 狩猟免許取得支援強化事業 狩猟免許の新規取得者に対し、有害鳥獣駆除隊への参加を要件として免許取得費用の3分の2を助成します。</p> <p>(5) 安全・技術講習会開催事業 駆除隊員、実施隊員、農区柵の管理者等に対し捕獲活動に関する法令順守と安全対策、わなによる捕獲技術、捕獲個体の適正処分等の講習会を開催します。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 農林業費 (項) 林業費 (目) 林業振興費 賃金1,215千円、報償費(捕獲動物買上料及び活動手当)84,654千円、旅費65千円、需用費987千円、役務費439千円、負担金補助及び交付金2,034千円</p> <p>4 主な特定財源 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 農林業費府補助金 11,885千円 緑の公共事業(有害鳥獣駆除関係事業) (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 農林業費府補助金 26,586千円 鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業補助金</p>						
担当課	農林商工部林業振興課		電話	直通 24-7047 内線 4130		

政策名	対話の市政・経営力の高い市政の推進					
事業名	住民自治検討事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
940	国	府	市債	その他	一般財源	—
				940		
<p>1 事業の背景・目的 福知山市における持続可能な住民自治を推進するため、住民自治を担う組織や制度のあり方について外部識者の協力を得て検討を進める組織を設置・運営します。</p> <p>2 事業の内容 住民自治を担っていただいている組織の代表者や大学関係の識者などで構成する検討会議を開催し、福知山市にあった新しい住民自治のあり方・方向性などを議論します。</p> <p>想定される検討会議構成メンバー ・自治会長・地域協議会役員・公民館役員・民生児童委員・大学教授など</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 企画費 ・報償費 810千円 ・旅費 110千円 ・需用費 10千円 ・役務費 10千円</p> <p>4 主な特定財源 (款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金 地域振興基金繰入金 940千円</p>						
担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030 内線 3114			

政策名	対話の市政・経営力の高い市政の推進					
事業名	地域協議会支援事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
27,461	国	府	市債	その他	一般財源	—
				27,461		

1 事業の背景・目的

市民協働の理念に基づく地域のあり方を具現化するため3つの地域協議会が立ち上がり（平成27年4月三和地域協議会・平成27年7月夜久野みらいまちづくり協議会・平成28年3月大江まちづくり住民協議会）、それぞれのまちづくり計画に沿って諸課題の解決に向け住民自らが地域の主体となった取組みを進められています。こうした活動を支援するとともに、持続可能な地域自治のモデルとなる取組みをめざします。

2 事業の内容

平成29年第2回市議会定例会に上程中の「自治基本条例案」に規定する「地域づくり組織」について、今後、他の制度や地域特性等との整合を図りながら、市民協働を基本とする持続可能な制度設計（交付金ルールを含む）の検討を進めます。

平成29年度の交付金は、過年度の活動実績や取組みを勘案するとともに、市民税相当額の一部を暫定的に財源活用することを想定し、一定比率（2.5%）の基本額と地域協議会からの事業提案によるプロジェクト枠から構成し、支援を行います。

3 事業費の内訳

（款）総務費 （項）総務管理費 （目）地域交流推進費
負担金補助及び交付金（交付金） 27,461千円

（単位：千円）

内 容	三和地域協議会	夜久野みらい まちづくり協議会	大江まちづくり 住民協議会
基本額	8,340	8,727	9,029
プロジェクト枠		1,365	
計		27,461	

【活動内容】

- ・運営や部会活動に伴う取組
- ・地域振興につながる取組
- ・地域課題の解決に向けた取組 等

4 主な特定財源

（款）繰入金 （項）基金繰入金 （目）基金繰入金
地域協議会支援事業基金繰入（地域振興基金） 27,461千円

担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030 内線3110
	地域振興部まちづくり推進課		直通 24-7033 内線3139

政策名	対話の市政・経営力の高い市政の推進					
事業名	みんなのまちづくり推進事業				新規	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1,540	国	府	市債	その他	一般財源	—
				1,540		

1 事業の背景・目的

「未来創造 福知山」で掲げる市民主体のまちづくり活動を支援するため、中学校区単位で、自治基本条例の周知や市民協働をテーマとした講演会等を開催し、新たな地域協議会の設立に向けた取り組みを支援します。

2 事業の内容

自治基本条例の周知を図り、講演会では現在 3 地域で設立・運営されている地域協議会等の課題や将来への検討事項、成果などを報告するとともに、福知山市における市民協働や地域協議会制度のあり方について意見交換を行います。

<市民協働まちづくり講座の開催>

中学校区ごとに実施

講師は大学教授等を予定

3 事業費の内訳

(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 企画費

・報償費 810千円

・需用費 730千円

4 主な特定財源

(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金

地域振興基金繰入金 1,540千円



講座のイメージ

(ふくちやま未来創造ミーティングの様子)

担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030 内線 3114
-----	---------	----	--------------------

政策名	対話の市政・経営力の高い市政の推進					
事業名	行財政経営マネジメント推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,949	国	府	市債	その他	一般財源	-
					2,949	

1 事業の背景・目的

市の事務事業の見直しを進めるため、事業の棚卸しを通じ、限られた財源で事業を効果的に実施することで、次の世代に健全な財政の福知山市を引き継ぐこと、また、公開事業検証を行うことにより、職員の政策形成能力の向上に寄与することを目的とします。

2 事業の内容

平成28年度から引き続いて、市の事務事業をCAPDサイクルの「チェック」の過程において、全事業の棚卸しを実施するとともに、その一環として、一部を公開事業検証として実施します。また、市の行財政経営マネジメントシステムについて幅広く検討を行います。

棚卸しを実施するにあたっては、行政改革への高い専門性を有する外部有識者を行政改革推進委員に選出し、既存の事務事業評価の仕組みをもとに事業の方向性等について意見をいただきます。

公開事業検証は、上記の行政改革推進委員を含む外部有識者を選出し、公開の場で事業の方向性について意見をいただきます。

平成29年度予定

行政改革推進委員会（委員6名） 6回開催

棚卸し事業数 400事業程度（うち公開で30事業程度）

3 事業費の内訳

(款)総務費 (項)総務管理費 (目)企画費

報酬	540千円
報償費	1,120千円
旅費	859千円
需用費	63千円
役務費	14千円
委託料	303千円
使用料及び賃借料	50千円



平成28年度 公開事業検証

担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030 内線 3112
-----	---------	----	--------------------

政策名	対話の市政・経営力の高い市政の推進					
事業名	ふるさと市民制度推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
438	国	府	市債	その他	一般財源	—
					438	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>福知山市出身者をはじめ本市に愛着と興味を抱いている方に（仮称）「ふくちやま倶楽部」会員として登録してもらい「ふるさと市民制度」を導入し、本市に対する応援、貢献、協力、宣伝等をしていただくことを目的に実施します。</p> <p>広報誌等を通じて本市の魅力を充分にお知らせすることで、本市との繋がりを密にし、関心を持ってもらうことにより、今後の観光誘客や移住定住、ふるさと納税への寄附拡大を目指します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 広報等の資料の送付 (2) 会員証の発行 (3) 会員が優待を受けることのできる施設を募集し会員へ還元</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 文書広報費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費 (広報誌の印刷代、会員証の作成) 112千円 ・ 役務費 (広報誌等送料) 326千円 						
担当課	市長公室秘書課	電話	直通 24-7000 内線 3144・3145			

政策名	対話の市政・経営力の高い市政の推進					
事業名	ふるさと納税推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
221,779	国	府	市債	その他	一般財源	7,983
				130,000	91,779	

1 事業の背景・目的

平成20年度から始まったふるさと納税制度は、自分の選んだ自治体に寄附を行ったときに、寄附額のうち2,000円を超える部分について、所得税と住民税が原則として全額控除される制度です。平成27年1月からは寄附できる金額がこれまでの倍になり（収入や家族構成により異なります。）、さらにワンストップ特例制度が創設されるなど、寄附者にとってより利用しやすい制度となりました。このような状況のもと全国の自治体も寄附金を集めるために、寄附者に対しさまざまな特典や地元産品をお礼の品として揃え、多額の寄附金を集めている団体もあります。最近ではメディアにも多く取り上げられ、この制度が定着しています。

本市においても、寄附者の利便性の向上と寄附金の増収を目的に、平成28年度から民間業者へ受付・寄附金収納・返礼品の発送等の業務全般を委託し、ふるさと福知山を全国に発信します。

2 事業の内容

- (1) 福知山市のふるさと納税について特産品等の調達や返礼・在庫管理やクレーム対応といった業務全般や本市の情報発信業務をふるさと納税サイト運営事業者に委託します。
- (2) 地元事業者の参加数を増やし返礼品等の充実を図ります。
- (3) 地場産品の販路拡大と経済効果の拡大、観光の促進を図ります。

3 事業費の内訳

(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 諸費
 報償費(その他謝礼) 72,377千円
 特産品代等 (4,000円+1,155円) ×13,000件×1.08
 賃金 臨時職員賃金(6ヶ月) 663千円
 需用費 505千円 消耗品費 5千円 (225円×20冊×1.08)
 パンフレット等製本費 500千円 (46.25円×10,000冊×1.08)
 役務費 1,386千円 郵送料(寄附証明82円×13,000件+ワンストップ特例分
 82円×13,000×30%)
 委託料 ポータルサイト運營業務収納代行委託 16,848千円
 (納税額130,000千円×12%×1.08)
 基金積立金 13,000件×10,000円=130,000千円

担当課	財務部財政課	電話	直通 24-7035 内線 3320
-----	--------	----	--------------------

政策名	対話の市政・経営力の高い市政の推進																									
事業名	職員一般研修事業					拡充																				
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																				
11,065	国	府	市債	その他	一般財源	7,336																				
				2,005	9,060																					
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>少子高齢化・人口減少、地方分権改革等社会経済情勢の変化が著しい中、本市においても定員適正化による職員削減、若手職員の早期育成の必要性が高まり、限られた財源や人材で質の高い行政サービスを提供することが求められています。</p> <p>そこで、費用対効果を強く意識し、自ら考え行動し、戦略的に改革・改善に取り組む人材を育成するため、人材育成基本方針に基づき、各種職員研修を実施します。</p> <p>特に、政策形成能力、マネジメント能力の向上を図るため、外部研修機関等を活用する研修や国・地方公共団体等への実務派遣研修を充実します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 一般研修（福知山市が独自で実施する研修）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員研修 ・新任の主任級、係長級、課長補佐級、課長級研修 等 ・主査級業務改善研修 等 <p>(2) 外部研修機関等を活用する研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化センター（地域リーダー養成塾） ・福知山公立大学（自治体・大学連携講座） ・市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） ・京都府市町村振興協会 等 <p>(3) 実務派遣研修・合同研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 国・地方公共団体等への実務派遣研修 イ 京都府、他の自治体等との合同研修 ・北部7市職員合同研修 ・府市合同新規採用職員研修 等 <p>3 事業費の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">(款) 総務費</td> <td style="width: 25%;">(項) 総務管理費</td> <td style="width: 25%;">(目) 一般管理費</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>3,375千円</td> <td>使用料及び賃借料</td> <td>2,672千円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>181千円</td> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>1,190千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>3,647千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4 主な特定財源</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">市町村職員等共同研修派遣経費助成金等</td> <td style="width: 30%;">1,285千円</td> </tr> <tr> <td>京都府北部7市職員合同研修負担金</td> <td>720千円</td> </tr> </table>							(款) 総務費	(項) 総務管理費	(目) 一般管理費		旅費	3,375千円	使用料及び賃借料	2,672千円	需用費	181千円	負担金補助及び交付金	1,190千円	委託料	3,647千円			市町村職員等共同研修派遣経費助成金等	1,285千円	京都府北部7市職員合同研修負担金	720千円
(款) 総務費	(項) 総務管理費	(目) 一般管理費																								
旅費	3,375千円	使用料及び賃借料	2,672千円																							
需用費	181千円	負担金補助及び交付金	1,190千円																							
委託料	3,647千円																									
市町村職員等共同研修派遣経費助成金等	1,285千円																									
京都府北部7市職員合同研修負担金	720千円																									
担当課	総務部職員課	電話	直通 24-7034 内線 3234																							

政策名	森の京都・海の京都					
事業名	「森の京都 福知山」夜久野高原・道の駅支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
738	国	府	市債	その他	一般財源	1,000*
		369			369	
※前年度当初予算額は0であるが、H27前倒し計上した予算額を示す。						
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>京都府唯一の火山である宝山の噴出物である玄武岩で形成され、風光明媚で史跡にも恵まれた夜久野高原を舞台に、地域内外の住民の交流と夜久野地域及び道の駅「農匠の郷やくの」への集客の促進、情報発信、イベント等を実施する団体に対して補助金を交付し支援を行います。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>各団体が実施するイベントに対し、補助金を交付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やくの高原まつり実行委員会 ・夜久野農林商工祭実行委員会 <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 地域交流推進費 負担金補助及び交付金 補助金 738千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第25回やくの高原まつり 576千円 ・第32回夜久野農林商工祭 162千円 <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 総務費府補助金 「森の京都 福知山」夜久野高原・道の駅支援事業 (みらい戦略一括交付金) 369千円</p>						
担当課	地域振興部夜久野支所		電話	直通 37-1103 内線 74-9220		

政策名	森の京都・海の京都					
事業名	「森の京都 福知山」夜久野高原玄武岩コンサート事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
600	国	府	市債	その他	一般財源	800 [※]
		300			300	

※前年度当初予算額は0であるが、H27前倒し計上した予算額を示す。

1 事業の背景・目的

京都府唯一の火山である宝山の噴出物である玄武岩で形成され、風光明媚で史跡にも恵まれた夜久野高原、玄武岩公園を広くPRするために、コンサートを実施する地域団体に対して補助金を交付し支援を行います。

2 事業の内容

ときめき会が実施する夜久野高原玄武岩コンサートに対し、補助金を交付します。

3 事業費の内訳

(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 地域交流推進費
負担金補助及び交付金 補助金 600千円

4 主な特定財源

(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 総務費府補助金
「森の京都 福知山」夜久野高原玄武岩コンサート事業
(みらい戦略一括交付金) 300千円



平成28年9月25日開催 夜久野高原玄武岩コンサート

担当課	地域振興部夜久野支所	電話	直通 37-1103 内線 74-9220
-----	------------	----	-----------------------

政策名	森の京都・海の京都					
事業名	「森の京都 福知山」元伊勢内宮参道マルシェ事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
334	国	府	市債	その他	一般財源	800※
		167			167	
※前年度当初予算額は0であるが、H27前倒し計上した予算額を示す。						
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>「元伊勢内宮参道マルシェ」は、参道と民家軒先等を活用し、市内外からの出店協力によりかつて栄えた参道の賑わいを復活させるため、住民主体による地域おこし事業として実施されます。</p> <p>当地域は、丹後天橋立大江山国定公園の玄関口に位置しており観光ルートの拠点となっているため、「森の京都」事業との連携により誘客及び地域の賑わいの創出を図ります。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>「元伊勢内宮参道マルシェ」を実施する団体に補助金を交付し、支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○賑わい創出のためのマルシェ支援 ○会場と駐車場を結ぶシャトルバス運行等支援 ○「森の京都」をPRする森の京都啓発コーナーの開設 <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 地域交流推進費 負担金補助及び交付金 (補助金) 334千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 総務費府補助金 「森の京都 福知山」元伊勢内宮参道マルシェ事業(みらい戦略一括交付金) 167千円</p>						
担当課	地域振興部大江支所		電話	直通 56-1102 内線 75-9322		

政策名	森の京都・海の京都					
事業名	「森の京都 福知山」夜久野高原花回廊整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
735	国	府	市債	その他	一般財源	3,167
		367			368	
<p>1 事業の背景・目的 道の駅「農匠の郷やくの」を中心に、既存の緑化センターや放光院(茶堂)、玄武岩公園などの観光スポットを繋ぎ「石仏八十八か所巡りルート」を含む「夜久野高原花回廊」を整備して夜久野高原観光施設のネットワーク化を進めます。</p> <p>2 事業の内容 道の駅「農匠の郷やくの」に繋がる府道上夜久野停車場線・市道中央線に花木を植栽します。</p> <p>※ この事業は、京都府の地域主導型公共事業（府道上夜久野停車場線拡幅）の採択にあたり市として取組んでいく事業です。</p> <p>3 事業費の内訳 （款）総務費 （項）総務管理費 （目）地域交流推進費 工事請負費 735千円（植栽工 20本）</p> <p>4 主な特定財源 （款）府支出金 （項）府補助金 （目）総務費府補助金 「森の京都 福知山」夜久野高原花回廊整備事業 （みらい戦略一括交付金） 367千円</p>						
担当課	地域振興部夜久野支所		電話	直通 37-1103 内線 74-9220		

政策名	森の京都・海の京都					
事業名	「森の京都 福知山」 エンジョイプログラム二瀬川散策コース整備事業				継続	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
27,000	国	府	市債	その他	一般財源	26,612
			27,000			
<p>1 事業の背景・目的 「森の京都 福知山」マスタープランに基づき、区域内を3つのゾーンに分け整備を進めています。「自然遺産 パワースポットエリア」においては二瀬川溪流（宮川）の魅力の向上と、散策路の安全性を高めるため橋梁の整備を行います。</p> <p>2 事業の内容 二瀬川溪流（宮川）は、出水期（6月～10月）が工事抑止期間で非出水期（11月～5月）が工事可能期間とされており、平成28年度からの2か年の債務負担行為により工事を施工中です。 平成29年度は、橋梁架設工事を施工し完成をめざします。 【H28】・橋梁架設工事に係る実施設計業務委託 【H28～H29】 ・橋梁架設工事（準備工、仮設工、下部工、上部工、護岸工）《債務負担行為》</p> <p>3 事業費の内訳 （款）総務費 （項）総務管理費 （目）地域交流推進費 【H29】・橋梁架設工事 1式 27,000千円</p> <p>4 主な特定財源 （款）市債 （項）市債 （目）総務債 「森の京都 福知山」エンジョイプログラム二瀬川散策コース整備事業 （過疎対策債） 27,000千円</p> <p>5 その他【H28～H29】《債務負担行為》 ・ H28：橋梁架設工事費（工事前払金） 18,000千円 ・ H29：橋梁架設工事費 27,000千円 合計 45,000千円</p>						
担当課	地域振興部大江支所		電話	直通 56-1101 内線 75-9311		

政策名	森の京都・海の京都					
事業名	森の京都DMO事業				新規	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
10,100	国	府	市債	その他	一般財源	
	3,900			6,200		4,500 [※]
事業名	海の京都DMO事業				継続	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
11,815	国	府	市債	その他	一般財源	
	4,343			7,472		12,390 [※]
※前年度当初予算額は0であるが、H27前倒し計上した予算額を示す。						
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>京都府北部エリアの「海の京都DMO」、京都府中部エリアの「森の京都DMO」ではそれぞれの地域の特徴を活かした観光地域づくりを進めています。本市も、両DMOに社員として参画し、関係団体と連携した取り組みを通じて当地域への集客力の強化及び交流人口の拡大を目指します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>「森の京都DMO」及び「海の京都DMO」の運営に対する負担金。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 商工費 (項) 商工費 (目) 観光費</p> <p>負担金補助及び交付金 森の京都DMO事業への負担金 10,100千円 97,000千円(自治体負担総額)×1/2(市町負担割)×20.9%(本市負担割)</p> <p>海の京都DMO事業への負担金 11,815千円 170,000千円(自治体負担総額)×1/2(市町負担割)×13.9%(本市負担割)</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 商工費国庫補助金</p> <p>森の京都DMO事業(地方創生推進交付金) 3,900千円 [97,000千円(自治体負担総額) - 22,000千円(管理運営費)] ×1/2(市町負担割)×20.9%(本市負担割)×1/2(補助率)</p> <p>海の京都DMO事業(地方創生推進交付金) 4,343千円 [170,000千円(自治体負担総額) - 45,000千円(管理運営費)] ×1/2(市町負担割)×13.9%(本市負担割)×1/2(補助率)</p> <p>(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金</p> <p>森の京都DMO事業基金繰入(千年の森ふるさと基金) 6,200千円 海の京都DMO事業基金繰入(地域振興基金) 7,472千円</p>						
担当課	地域振興部観光振興課		電話	直通 24-7076 内線 4150		

政策名	公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして					
事業名	消防団施設整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
79,998	国	府	市債	その他	一般財源	60,252
		6,892	72,800		306	

1 事業の背景・目的

消防団員の活動拠点となる消防詰所・車庫などを整備し、団員の活動環境を維持することにより、地域に密着した消防団の活性化・処遇改善を図ります。

2 事業の内容

消防詰所・車庫新築工事 2か所（下川分団、中六分団）

3 事業費の内訳

(款) 消防費 (項) 消防費 (目) 消防施設費

- | | |
|---------------------|-----------|
| (1) 下川分団統合詰所・車庫新築工事 | 40,792 千円 |
| (2) 中六分団統合詰所・車庫新築工事 | 39,206 千円 |

4 主な特定財源

(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 消防費府補助金
中六分団統合詰所・車庫新築工事 6,892 千円

- | | | |
|-----------------------|-----------|-------------------|
| (款) 市債 (項) 市債 (目) 消防債 | | |
| 下川分団統合詰所・車庫新築工事 | 40,600 千円 | (緊急防災・減災事業債 100%) |
| 中六分団統合詰所・車庫新築工事 | 32,200 千円 | (緊急防災・減災事業債 100%) |



下川分団新築場所
(旧農協西側空地)



中六分団新築場所
(2部詰所敷地)

担当課	消防本部警防課	電話	直通 24-0119 内線 2420+205
-----	---------	----	------------------------

政策名	公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして					
事業名	市立保育園整備計画推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
7,344	国	府	市債	その他	一般財源	0
			7,300		44	
<p>1 事業の背景・目的 市立保育園の統廃合・民営化を進めることで、保育サービスの拡充や施設の適正規模・配置、運営などの子育て支援の一層の充実を図ります。併せて閉園した保育園のうち利用計画のないものについては解体し、資産管理の適正化を図ります。</p> <p>2 事業の内容 園児数が減少している上夜久野保育園を下夜久野保育園に統合し、適正な集団規模での保育を実施できる施設とするため、施設改修の実施設計を行います。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童福祉施設費 ・委託料. 7,344千円</p> <p>4 主な特定財源 (款) 市債 (項) 市債 (目) 民生債 ・市立保育園整備計画推進事業 (過疎対策)</p>						
担当課	福祉保健部課子育て支援課		電話	直通 24-7011 内線 2102		

政策名	公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして					
事業名	公共施設民間譲渡事業				継続	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
35,907	国	府	市債	その他	一般財源	
			9,400	26,507		29,212

1 事業の背景・目的

利用者が地域の住民に限られるコミュニティ施設で、地域住民が保有・管理することがふさわしい施設を自治会等の住民組織に譲渡します。また民間事業者の自主的な運営に託すことで、より効率的・効果的に活用ができると考えられる施設を民間事業者に譲渡します。

2 事業の内容

福知山市公共施設マネジメント実施計画に基づき、市所有の公共施設を民間に譲渡します。

3 事業費の内訳

事業名	予算額 a+b	担当課名 (電話)	
		特定財源 a	一般財源 b
款/項/目			
説明			
公共施設民間譲渡事業(集会施設)(まちづくり推進課)	23,586	まちづくり推進課(直通 24-7033 内線 3131)	
		基金 14,186 除却債 9,400	-
	(款)総務費 (項)総務管理費 (目)地域交流推進費		
	(1) 土地の境界確定等(上松集会所他)	9,586	
	(2) 施設改修等設計(大門公会堂他)	6,800	
		(3) 解体工事(岡地区中央センター)	7,200
公共施設民間譲渡事業(集会施設)(人権推進室)	2,700	人権推進室(直通 24-7021 内線 2219)	
		基金 2,700	-
	(款)民生費 (項)社会福祉費 (目)社会福祉施設費		
民間譲渡に向けた施設整備(大門集会所)			
公共施設民間譲渡事業(集会施設)(農林管理課)	1,500	農林管理課(直通 24-7041 内線 4114)	
		公共施設民間譲渡事業基金繰入金 1,500	-
	(款)農林業費 (項)農業費 (目)農業総務費		
		(1) 用地調査、分筆等業務	1,500
		(生活改善センター宮会館ほか2件)	

3 事業費の内訳（つづき）

事業名	予算額 a+b	担当課名（電話）	
		特定財源 a	一般財源 b
	款/項/目		
	説明		
公共施設民間譲渡事業（農業施設（共同作業所））（農業振興課）	7,260	農業振興課（直通 24-7044 内線 4120）	
		基金 7,260	-
	(款) 農林業費 (項) 農業費 (目) 農業振興費		
	○新庄農作業所、新庄農機具保管庫、下猪崎共同作業所 (1) 土地の境界確定、分筆登記 750 (2) 登録免許税・不動産取得税などの経費を補助 2,210 (3) 施設修繕等 4,300		
公共施設民間譲渡事業（その他施設）（教育総務課）	861	教育総務課（直通 24-7061 内線 5119）	
		基金 861	-
	(款) 教育費 (項) 小学校費 (目) 学校管理費 旧川合教員住宅 土地の境界確定		

政策名	公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして					
事業名	公共施設除却事業				継続	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
186,090	国	府	市債	その他	一般財源	
			164,200	21,890		172,150

1 事業の背景・目的

設置時の目的が概ね達成され利用者が減少している施設や、複数の施設を統合したことにより余剰となった施設、および老朽化し継続利用の見込めない施設について施設総量の削減を図るため解体（除却）します。

2 事業の内容

福知山市公共施設マネジメント実施計画に基づき、市所有の公共施設を解体（除却）します。公共施設等の除却に係る地方債と公共施設等総合管理基金の繰入金を財源として活用します。

財源	説明
除却債	<p>① 計上科目 (款)市債 (項)市債 (目)民生債ほか各目内各節</p> <p>② 財源説明 正式な地方債メニュー名称は「公共施設等の除却に係る地方債」。福知山市公共施設マネジメント計画に基づき実施する解体（除却）事業に活用することができます。事業費の90%まで発行可能（充当率、前年度までは75%）で、調達先は民間等資金、原則10年以内に償還することとされています。ただし償還に対する地方交付税算入はありません。</p>
公共施設等 総合管理基金 繰入金 (以下、「基金」)	<p>① 計上科目 (款)繰入金 (項)基金繰入金 (目)基金繰入金 (節)公共施設等総合管理基金繰入金</p> <p>② 財源説明 福知山市公共施設マネジメント計画の推進のため公共施設等の整理、整備等に関する経費に充てる（＝繰り入れる）ことを目的に平成28年度に新設した基金です。 積み立て原資は公共施設マネジメントの実施により生み出される土地建物の売却収入、貸付収入などです。 今年度は162,096千円を積立てる計画です。</p>

3 事業費の内訳

事業名	予算額 a+b	担当課名 (電話)		
		特定財源 a	一般財源 b	
	款/項/目			説明
公共施設除却事業(庁舎) (夜久野支所)	39,500	夜久野支所 (直通 37-1101 内線 74-9211)		
		除却債 35,500 基金 4,000	-	
	(款)総務費 (項)総務管理費 (目)財産管理費			
	使用していない旧コミュニティーセンター等を解体し、土地の有効利用を図るものです。			
公共施設除却事業(庁舎) (大江支所)	2,200	大江支所 (直通 56-1101 内線75-9311)		
		基金2,200	-	
	(款)総務費 (項)総務管理費 (目)財産管理費			
	旧総合センター ・土地の境界確定、地籍更正 2,200			
公共施設除却事業(その他施設) (保険課)	990	保険課 (直通 24-7019 内線 2265)		
		基金 990	-	
	(款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)診療所費			
	旧細見診療所跡地の売却に向けた土地等の整備 (境界確定、登記等)			
公共施設除却事業(児童館) (人権推進室)	9,000	人権推進室 (直通 24-7021 内線 2219)		
		除却債 8,100 基金 900	-	
	(款)民生費 (項)社会福祉費 (目)社会福祉施設費			
	児童館 (大正児童館) の解体			
公共施設除却事業(一戸建住宅) (人権推進室)	4,100	人権推進室 (直通 24-7021 内線 2219)		
		除却債 3,600 基金 500	-	
	(款)土木費 (項)住宅費 (目)住宅管理費			
	空家となった一戸建て住宅2戸 (下猪崎地内、夜久野町地内) の解体			
公共施設除却事業(農業施設(共同作業所)) (農業振興課)	59,000	農業振興課 (直通 24-7044 内線 4120)		
		除却債 53,100 基金 5,900	-	
	(款)農林業費 (項)農業費 (目)農業振興費			
	農業集会施設 (菟原下二共同畜舎、大門製茶工場、新庄農機具保管庫、) 下猪崎堆肥施設、長田共同畜舎の解体)			
公共施設除却事業(市営住宅)	10,200	建築課 (直通 24-7058 内線 4244)		
		除却債 9,100 基金 1,100	-	
	(款)土木費 (項)住宅費 (目)住宅建設費			
	平成26年度南天田団地建替事業において、統合され空家となった丸田ヶ丘団地の既存建物の解体			

3 事業費の内訳（つづき）

事業名	予算額 a+b	担当課名（電話）	
		特定財源 a	一般財源 b
	款/項/目		
	説明		
公共施設除却事業 （消防施設）	17,000	消防本部警防課（直通 24-0119 内線 2420-205）	
		除却債 15,300 基金 1,700	-
	(款)消防費 (項)消防費 (目)消防施設費		
	詰所・車庫の解体設計委託・工事 計7か所		
公共施設除却事業 （消防水利施設）	7,200	消防本部警防課（直通 24-0119 内線 2420-205）	
		除却債 6,400 基金 800	-
	(款)消防費 (項)消防費 (目)消防施設費		
	防火水槽用途廃止（土）防火水槽解体（三和町台頭）		
公共施設除却事業(小 学校施設)	13,500	教育総務課（直通 24-7061 内線 5114）	
		除却債 12,100 基金 1,400	-
	(款)教育費 (項)小学校費 (目)学校管理費		
	廃校となった施設を解体（育英プール）		
公共施設除却事業(庁 舎）（生涯学習課）	23,400	生涯学習課（直通 24-7065 内線 5151）	
		除却債 21,000 基金 2,400	-
	(款)教育費 (項)社会教育費 (目)社会教育総務費		
	文化財整理事務所（京口荘）の解体撤去		

政策名	公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして					
事業名	公共施設長寿命化事業（7事業）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
303,260	国	府	市債	その他	一般財源	
	22,000		163,400	71,177	46,683	-
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>施設を良好な状態に維持するため、設備の点検及び短期・長期的な補修計画の策定を行い、今後老朽化する施設の増大に対し、予防・計画的な修繕及び帳寿命化対策等を進めます。</p> <p>計画的に事業を実施することにより、全体的な施設維持管理費用の縮減を図り、施設の安全性を確保します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき、市所有の公共施設の長寿命化を進めます。</p>						

3 事業費の内訳

事業名	予算額 a+b	担当課名 (電話)	
		特定財源 a	一般財源 b
	款/項/目		
	説明		
体育施設維持管理事業	52,210	スポーツ振興課 (直通 24-7069 内線 5333)	
		使用料 1,547 財産収入 2,282 基金繰入 1,500 雑入 198	46,683
	(款)教育費 (項)保健体育費 (目)体育施設費		
	老朽化した体育施設の改修工事		
斎場火葬炉設備改修事業	40,000	生活交通課 斎場 (直通 27-6122)	
		合併特例債 38,000 基金 2,000	-
	(款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)環境衛生費		
斎場火葬炉の改修工事			
第1期・第2期処分場埋立整備事業	78,300	環境政策室 (直通 22-1827 内線 6120)	
		合併特例債 74,300 基金 4,000	-
	(款)衛生費 (項)清掃費 (目)じん介処理費		
埋立処分場の容量確保のための嵩上げ整備工事			
ハピネスふくちやま施設整備事業	20,000	人権推進室 (直通 24-7021 内線 2219)	
		基金 20,000	-
	(款)総務費 (項)総務管理費 (目)財産管理費		
ハピネスふくちやま受水槽設置に伴う設計・工事業務			
橋りょう長寿命化対策事業	43,000	土木課 (直通 24-7059 内線 4215)	
		補助金22,000使用料3,000基金18,000	-
	(款)土木費 (項)道路橋りょう費 (目)橋りょう維持費		
橋りょう長寿命化修繕計画策定業務ほか			
中学校施設設備改修事業	20,700	教育総務課 (直通 24-7061 内線 5114)	
		過疎債 14,400 基金 6,300	-
	(款)教育費 (項)中学校費 (目)学校管理費		
三和中学校体育館、教室棟防水改修工事ほか			
小学校施設設備改修事業	49,050	教育総務課 (直通 24-7061 内線 5114)	
		市債 36,700 基金 12,350	
	(款)教育費 (項)小学校費 (目)学校管理費		
小学校 床、天井、便所等改修工事			

政策名	公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして					
事業名	その他公共施設マネジメント関連事業（13事業）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1,239,500	国	府	市債	その他	一般財源	-
			29,200	384,980	825,320	

1 事業の背景・目的

本市ではこれまで市民ニーズに応じて様々な公共施設が整備されてきましたが、時代の変化と共に現在の住民ニーズに適合していない施設や、老朽化し継続利用の見込めない施設がいくつか見られます。それら施設機能の集約化を図り、余剰施設の解体・売却を行うことで、将来にわたる施設維持管理費の削減と売却による収入の確保を図ります。

2 事業の内容

福知山市公共施設マネジメント実施計画に基づき、市所有の公共施設の解体・売却に向けた用地整理や設計、また跡地利用のための駐車場等を整備します。

3 事業費の内訳

事業名	予算額 a+b	担当課名（電話）	
		特定財源 a	一般財源 b
款/項/目			
説明			
地域情報通信ネットワーク事業特会繰出金	969,027	財政課（直通 24-7035 内線 3323）	
		基金 421,075	51,683
	(款)総務費 (項)総務管理費 (目)地域情報化推進費 「e-ふくちやま」事業 民間事業者譲渡に向けた再整備補助等		
市有地販売事業	174,023	資産活用課（直通 24-7068 内線 4341）	
		財産収入 164,642 除却債 1,800 基金 3,007	4,574
	(款)総務費 (項)総務管理費 (目)財産管理費 売却予定土地の測量・設計業務等		
施設マネジメント事業	5,580	資産活用課（直通 24-7038 内線 3313）	
		-	5,580
	(款)総務費 (項)総務管理費 (目)財産管理費 公共施設マネジメント実施計画進捗管理等コンサル業務		
福祉施設改修事業	29,186	地域福祉課（直通 24-7088 内線 2112）	
		社会福祉事業債 27,400 基金 500	1,286
	(款)民生費 (項)社会福祉費 (目)社会福祉総務費 ふれあいの里体育館解体工事設計業務ほか		

3 事業費の内訳 (つづき)

事業名	予算額 a+b	担当課名 (電話)	
		特定財源 a	一般財源 b
	款/項/目		
	説明		
道路改良事業	38,600	土木課 (直通 24-7059 内線 4215)	
		負担金 280 基金2,600	35,720
	(款)土木費 (項)道路橋りょう費 (目)道路新設改良費 予算額のうち、段畑児童施設道路拡幅工事 (解体跡地) 2,600		
小学校施設用地整理事業	806	教育総務課 (直通 24-7061 内線 5119)	
		-	806
	(款)教育費 (項)小学校費 (目)学校管理費 旧明正小学校敷地の跡地利用に向けた境界確定業務		
東堀地区社会教育関連施設整備事業	5,600	生涯学習課 (直通 22-9552 内線 5142)	
		基金 5,600	-
	(款)教育費 (項)社会教育費 (目)社会教育総務費 大正児童館解体跡地を活用した駐車場整備工事		
文化財収蔵庫維持管理事業	1,446	生涯学習課 (直通 22-9552 内線 5142)	
		-	1,446
	(款)教育費 (項)社会教育費 (目)社会教育総務費 集約した民俗資料の保管業務と収蔵施設の維持管理		
福知山城公園観光駐車場管理運営事業	4,015	観光振興課 (直通 24-7076 内線 4150)	
		使用料 1,015 基金 3,000	-
	(款)商工費 (項)商工費 (目)観光費 文化財整理事務所跡地を活用した駐車場の整備		
福知山市公有財産解体事業	1,600	職員課 (直通 24-7034 内線 3234)	
		基金 1,600	-
	(款)総務費 (項)総務管理費 (目)財産管理費 旧内記寮跡地の売却に向けた測量設計業務		
総合福祉会館等施設管理事業	5,427	地域福祉課 (直通 24-7088 内線 2112)	
		基金 3,990	1,437
	(款)民生費 (項)社会福祉費 (目)社会福祉総務費 ふれあいの里福祉センター等の譲渡に向けた敷地登記測量業務		
南天田団地建替事業	1,500	建築課 (直通 24-7058 内線 4244)	
		基金 1,500	-
	(款)土木費 (項)住宅費 (目)住宅建設費 建替えにより余剰地となった土地の販売に向けた用地整理業務		
文化財資料移転事業	2,690	生涯学習課 (直通 22-9552 内線 5142)	
		-	2,690
	(款)教育費 (項)社会教育費 (目)社会教育総務費 2箇所にもたがる民俗資料の集約管理に向けた資料運搬委託等		

政策名	市民が主体のまちづくり					
事業名	集会施設等整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
708	国	府	市債	その他	一般財源	1,010
				708		

1 事業の背景・目的

地元自治会が所有する集会施設等の整備に対し支援を行うことにより、地域活動や防災活動の拠点である集会施設の機能性や利便性を向上し、地域コミュニティの活性化を図ります。

2 事業の内容

平成29年度から名称を「地域振興補助事業」から「集会施設等整備事業」に改めるとともに、定率補助にへき地・過疎地等を考慮して加算する制度から一律1/3（補助上限額 15,000千円）の補助率に変更し、自治会施行による集会施設等の整備事業に対して補助金を交付します。

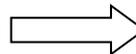
- (1) 下川合公民館改修 140千円
(2) 栗尾公民館及び有線放送通信線改修 568千円

変更前

20～50%	
【定率補助】	
①新築・改築・増築	30%
②大規模改修	20%
③放送設備	25%
【加算】	
○へき地・過疎地	10%
○新築で用地取得の場合	10%
○高齢化	0.5～3.0%

変更後

一律 1/3
補助上限額 15,000 千円



3 事業費の内訳

(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 地域交流推進費
負担金補助及び交付金 708千円

4 主な特定財源

(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金
集会施設等整備事業基金繰入 (地域振興基金) 708千円

担当課	地域振興部まちづくり推進課	電話	直通 24-7033 内線 3131
-----	---------------	----	--------------------

政策名	市民が主体のまちづくり					
事業名	元気出す地域活力支援事業				継続	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,500	国	府	市債	その他	一般財源	3,200
				2,500		

1 事業の背景・目的

地域住民が主体的に参画する団体が行う地域活力の向上や課題解決に向けた事業に対して支援し、地域住民の連帯強化及び個性ある地域振興を図ります。

2 事業の内容

これまでの支援枠・補助率・補助上限額を統一し、予算の範囲内において補助金を交付します。

■変更前

区分	補助率	補助 上限額 (千円)
一般枠	2/3	100
起業準備支援枠		200
若者創造枠	10/10	
子育てグループ 支援枠		
女性団体等起業 準備支援枠		



■変更後

区分	補助率	補助 上限額 (千円)
1年目事業	2/3	100
2年目事業	1/2	
※同一団体による同一事業については、2年目まで上記補助率で支援		

3 事業費の内訳

(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 地域交流推進費
負担金補助及び交付金 2,500千円

4 主な特定財源

(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金
元気出す地域活力支援事業基金繰入 (地域振興基金) 2,500千円

担当課	地域振興部まちづくり推進課	電話	直通 24-7033 内線 3131
-----	---------------	----	--------------------

政策名	市民が主体のまちづくり（協働・人権）					
事業名	人にいちばん近いまちづくり事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1,320	国	府	市債	その他	一般財源	1,320
	554	325			441	
<p>1 事業の背景・目的 人権を守り合うことは、社会生活の基本であり、みんなが幸せにいきいきと暮らせる社会を築くため、「市民参画による人権尊重のまちづくり」を進め、『幸せの舞台…福知山』の創造をめざします。</p> <p>2 事業の内容 市内の社会教育関係団体等により、人にいちばん近いまちづくり推進会議を構成し、人権尊重と人権擁護意識の高揚を目的に、8月の人権強調月間と12月の人権週間に人権講演会や街頭啓発等を実施します。今年度は地域人権啓発活性化事業（国補助）の実施年度（3年に1度）にあたり、京都地方法務局福知山支局、人権擁護委員協議会と連携し、より効果的な人権啓発活動を推進していきます。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 社会福祉総務費 報償費 71 千円 手話通訳・要約筆記等謝礼 需用費 373 千円 啓発物品購入、ポスター・チラシ印刷他 役務費 704 千円 講師派遣料、郵送料 委託料 100 千円 音響照明業務委託 使用料 72 千円 看板借り上げ料（立て看板）他</p> <p>4 主な特定財源 京都府人権問題啓発事業（府補助） 1/2補助 人権啓発活動地方委託事業（国補助） 10/10補助</p> <p>5 効果等 人権強調月間及び人権週間に合わせ市民団体との協働による街頭啓発活動や講演会等を実施することにより、市民の人権尊重と人権擁護意識の高揚を図ることができます。</p>						
担当課	人権推進室	電話	直通 24-7022 内線 2220・2221			

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	遷喬小学校教室棟増築事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
13,680	国	府	市債	その他	一般財源	—
			10,100		3,580	
<p>1 事業の背景・目的 教室数の不足により、特別教室を普通教室として利用するなど対応を行ってききましたが、平成31年度に学級数の増加が見込まれるため、教室棟を増築し教育環境の改善を図ります。</p> <p>2 事業の内容 遷喬小学校教室棟増築工事に伴う設計業務 13,500千円 確認申請手数料 180千円</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 教育費 (項) 小学校費 (目) 学校建設費 委託料 13,500千円 役務費 180千円</p> <p>4 主な特定財源 (款) 市債 (項) 市債 (目) 教育債 遷喬小学校教室棟増築事業 (学校教育施設等債) 10,100千円</p>						
担当課	教育委員会教育総務課		電話	直通 24-7061 内線 5114		

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	小学校施設空調設備設置事業 中学校施設空調設備設置事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
18,900	国	府	市債	その他	一般財源	161,920
			14,300		4,600	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>普通教室に空調設備を設置し教育環境の改善を図ります。 小規模小学校において、教室の簡易な間仕切を設置し、小型の空調機を設置します。 また、空調設備未設置の2中学校について、実施設計を行います。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>小学校 普通教室エアコン・間仕切りカーテン設置（5校） 14,800千円</p> <p>中学校 三和・大江中学校空調設備に係る実施設計設計業務 4,100千円</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>（款）教育費（項）小学校費（目）学校建設費 工事請負費 小学校費 14,800千円</p> <p>（款）教育費（項）中学校費（目）学校建設費 委託料 中学校費 4,100千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>（款）市債（項）市債（目）教育債 小学校施設空調設備設置事業（旧合併特例債） 10,200千円 中学校施設空調設備設置事業（過疎対策債） 4,100千円</p>						
担当課	教育委員会教育総務課	電話	直通 24-7061 内線 5114			

政策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	福知山公立大学運営費交付金事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
307,080	国	府	市債	その他	一般財源	309,812
					307,080	

1 事業の背景・目的

福知山公立大学は、「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」を基本理念に、地域で学び、地域で働くという持続可能な地域社会の形成、地域創生、地域再生に向けた社会貢献を使命とします。

2 事業の内容

法人の安定的かつ持続的な経営、大学の健全な運営を図るために必要な経常経費を運営費交付金として支出します。

3 事業費の内訳

(款)教育費 (項)大学費 (目)大学振興費

・負担金補助及び交付金 307,080千円

<内訳>

経常経費分 258,000千円

地方交付税措置分 49,080千円

 福知山公立大学



担当課	市長公室大学政策課	電話	直通 24-7039 内線 3003
-----	-----------	----	--------------------

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	日本鬼文化交流事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,712	国	府	市債	その他	一般財源	1,346
				2,712		

1 事業の背景・目的

本市では、観光資源のひとつである「大江山の鬼伝説」を活かし「鬼」をキーワードに「人・物・文化」の交流を通じて地域活性化を進めています。

全国の鬼瓦制作者の集まり「日本鬼師の会」の活動支援や鬼伝説ゆかりの自治体との交流、また「鬼文化」を全面に押し出した地域イベント「大江山酒呑童子祭り」を支援することにより鬼文化の振興や情報発信を行い、観光振興と地域振興を図ります。

2 事業の内容

- (1) 「大江山酒呑童子祭り」開催経費の支援。
- (2) 「日本鬼師の会全国研修大会」開催経費への支援等。

3 事業費の内訳

(款) 商工費	(項) 商工費	(目) 観光費	
	負担金補助及び交付金		
	「大江山酒呑童子祭り実行委員会」への補助金		2,250千円
	「日本鬼師の会」への補助金		250千円
	旅費		
	鬼伝説ゆかりの自治体交流出席等		212千円

4 主な特定財源

(款) 繰入金	(項) 基金繰入金	(目) 基金繰入金	
	日本鬼文化交流事業基金繰入	(地域振興基金)	2,712千円



平成28年10月30日開催
第35回大江山酒呑童子祭り

担当課	地域振興部観光振興課	電話	直通 24-7076 内線 4150
-----	------------	----	--------------------

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業					縮小
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
7,835	国	府	市債	その他	一般財源	11,535
	3,917			3,918		
<p>1 事業の背景・目的 空き家・空き店舗が増え空洞化が進む中心市街地において、遊休不動産の有効活用により不動産の流動化を促し、中心市街地活性化基本計画を推進するために、まちなか居住の促進と商業活性化を図ります。</p> <p>2 事業の内容 中心市街地の空き家、空き店舗等の情報を集約・登録し、利用希望者に紹介するストックバンク制度を実施します。不動産の流動化を促進するため、制度に登録された物件の購買者または貸借人である個人等には、契約仲介手数料及び家財処分費に補助金を交付します。更に、まちづくり会社等の特定会社に対しては、不動産流動化補助金を交付します。登録業務等の運営は福知山まちづくり株式会社に委託します。空き家・空き店舗等ストックバンク事業を空き家・空き店舗等の対策事業であることがわかりやすい事業名としました。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 商工費 (項) 商工費 (目) 商工業振興費</p> <p>(1) 委託料 3,535千円 ・ストックバンク運營業務一式 3,535千円</p> <p>(2) 負担金補助及び交付金 4,300千円 ・契約仲介手数料支援補助金 600千円 ・家財処分費支援補助金 300千円 ・空き店舗活用チャレンジ事業補助金 3,000千円 新店舗開業事業 (1,200千円×2件=2,400千円) 改修費補助 2,000千円の1/2以内 1,000千円 (上限) 備品購入補助 400千円の1/2以内 200千円 (上限) ※まちづくり会社等による新店舗開業事業の場合 改修費補助 2,000千円の2/3以内 2,000千円 (上限) 備品購入補助 400千円の1/2以内 200千円 (上限) 暮らしサポート施設開業事業 (600千円×1件=600千円) 改修費補助 1,000千円の1/2以内 500千円 (上限) 備品購入補助 200千円の1/2以内 100千円 (上限) ・まちづくり会社等による不動産流動化補助金 400千円</p> <p>4 主な特定財源 国庫補助金 (社会資本整備総合交付金) 300千円 国庫補助金 (地方創生推進交付金) 3,617千円 地域振興基金繰入金 3,918千円</p>						
担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075 内線 4142			

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり（生活基盤）																						
事業名	地籍調査事業				継続																		
予算額(千円)	財源内訳(千円)				前年度 予算額																		
84,489	国	府	市債	その他	一般財源																		
		61,591		22,898																			
<p>1 事業の背景・目的 もともと基礎的な土地に関する情報（面積・所有者・境界など）を1筆ごとに明らかにし、その結果を記録することにより、土地取引や公共用地の取得を円滑に進めることができ、土地利用の促進に寄与します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 末広・昭和地区 面積：0.21km² 期間：H27～29年度 H29年度：閲覧、申し出に係る訂正等</p> <p>(2) 旧福知山町周辺1地区(字天田) 面積：0.21km² 期間：H28～30年度 H29年度：測量、地積測定等</p> <p>(3) 大江町南有路第1地区 面積：3.29km² 期間：H28～31年度 H29年度：現地立会等</p> <p>(4) 旧福知山町周辺2地区(字中ノ、裏ノ) 面積：0.22km² 期間：H29～31年度 H29年度：一筆地調査、現地立会等</p> <p>(5) 大江町南有路第2地区 面積：4.34km² 期間：H29～32年度 H29年度：一筆地調査等</p> <p>(6) 上豊富1地区 面積：2.19km² 期間：H29～32年度 H29年度：一筆地調査等</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 土木費 (項) 土木管理費 (目) 土木総務費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>賃金（臨時職員賃金）</td> <td style="text-align: right;">2,535千円</td> </tr> <tr> <td>報償費（地籍調査推進委員謝礼）</td> <td style="text-align: right;">1,200千円</td> </tr> <tr> <td>旅費（講習会等）</td> <td style="text-align: right;">179千円</td> </tr> <tr> <td>需用費（印刷製本費、燃料費等）</td> <td style="text-align: right;">705千円</td> </tr> <tr> <td>役務費（郵送料等）</td> <td style="text-align: right;">634千円</td> </tr> <tr> <td>委託料（測量等業務委託料等）</td> <td style="text-align: right;">77,804千円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料（地籍システム賃借料等）</td> <td style="text-align: right;">1,219千円</td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金（国土調査協会年会費等）</td> <td style="text-align: right;">205千円</td> </tr> <tr> <td>公課費（自動車重量税）</td> <td style="text-align: right;">8千円</td> </tr> </table> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 土木費府補助金 82,122千円×補助率3/4≒61,591千円（うち国1/2、府1/4）</p> <p>(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金 地籍調査事業基金繰入 22,898千円</p>						賃金（臨時職員賃金）	2,535千円	報償費（地籍調査推進委員謝礼）	1,200千円	旅費（講習会等）	179千円	需用費（印刷製本費、燃料費等）	705千円	役務費（郵送料等）	634千円	委託料（測量等業務委託料等）	77,804千円	使用料及び賃借料（地籍システム賃借料等）	1,219千円	負担金補助及び交付金（国土調査協会年会費等）	205千円	公課費（自動車重量税）	8千円
賃金（臨時職員賃金）	2,535千円																						
報償費（地籍調査推進委員謝礼）	1,200千円																						
旅費（講習会等）	179千円																						
需用費（印刷製本費、燃料費等）	705千円																						
役務費（郵送料等）	634千円																						
委託料（測量等業務委託料等）	77,804千円																						
使用料及び賃借料（地籍システム賃借料等）	1,219千円																						
負担金補助及び交付金（国土調査協会年会費等）	205千円																						
公課費（自動車重量税）	8千円																						
担当課	土木建設部都市整備課	電話	直通 24-7079 内線 4322																				

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	農業委員会運営事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
16,819	国	府	市債	その他	一般財源	14,010
		5,775			11,044	
<p>1 事業の背景・目的 農業委員会の円滑な運営と農地関係法令等による所掌事務の適切な推進を図ります。</p> <p>2 事業の内容 農業委員会の運営と所掌事務に係る経費で、農地法に基づく農地の売買（権利移動）や農地転用に係る審議、農業経営基盤強化促進法に定める利用権設定に関する業務などと、それらに付帯・関連する事務事業を実施しています。 また、法改正により、農長委員会の役割が「農地等の利用の最適化の推進」として強化されています。 7月から新体制に移行することから、農業委員及び新たに設置される農地利用最適化推進委員への研修や活動支援を実施します。</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 農林業費 (項) 農業費 (目) 農業委員会費 報酬 10,626千円 (農業委員 農地最適化推進委員) 報償費 4,396千円 (農業委員会補助員 248名) 旅費 597千円 (農業委員費用弁償 566千円) (普通旅費・研修旅費 31千円) 消耗品費 422千円 (作業服 248千円、研修資料 134千円、 活動記録42千円他) 印刷製本費 1千円 電話代・郵送料・手数料・保険料 151千円 負担金 606千円 (府農業会議会費)</p> <p>4 主な特定財源 農業委員会交付金等 4,020千円 農地利用最適化交付金 1,755千円</p>						
担当課	農業委員会事務局		電話	直通 24-7046 内線 4171		

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	中心市街地活性化基本計画推進事業				継続	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
8,064	国	府	市債	その他	一般財源	4,560
		4,032		4,032		
<p>1 事業の背景・目的 第1期に続いて平成28年3月に国の認定を受けた第2期福知山市中心市街地活性化基本計画を推進することで、中心市街地の活性化を図ります。</p> <p>2 事業の内容 中心市街地活性化基本計画の目的を達成するための事業を、効果的かつ着実に進めていくために、福知山商工会議所や福知山まちづくり株式会社等の関係団体並びに市民グループ等と連携を図りながら、以下の業務委託及び助成を行います。</p> <p>(1) 中心市街地活性化基本計画推進事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テナントミックス推進事業の相談窓口及び啓発、事業推進等 ・街なみ環境整備事業の事業推進 ・福知山城憩いの広場「ゆらのガーデン」のガーデニングサークル事務局業務 ・若人チャレンジ事業 <p>(2) タウンマネージャー業務委託【まちづくり会社支援事業から統合】</p> <p>(3) 中心市街地通行量調査業務【中心市街地活性化に係る事業を統合】</p> <p>(4) 中心市街地活性化協議会運営事業【中心市街地活性化協議会運営事業を統合】</p> <p>(5) アドバイザー業務補助事業【新規】</p> <p>中心市街地活性化基本計画推進のため、福知山まちづくり株式会社にアドバイザーを配置し会社支援を行うとともに、現場で中心市街地活性化基本計画推進事業の運営に携わります。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 商工費 (項) 商工費 (目) 商工業振興費</p> <p>(1) 旅費 297千円</p> <p>(2) 需用費 30千円</p> <p>(3) 委託料 5,529千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化基本計画推進事業業務委託 4,560千円 ・タウンマネージャー業務委託 300千円 ・通行量調査業務委託 669千円 <p>(4) 負担金補助及び交付金 2,208千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化協議会運営事業補助金 100千円 ・アドバイザー業務委託補助金 2,108千円 <p>4 財源内訳</p> <p>府補助金(みらい戦略一括交付金) 4,032千円</p> <p>地域振興基金繰入金 4,032千円</p>						
担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075 内線 4142			

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業				継続	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
6,000	国	府	市債	その他	一般財源	6,000
	3,000			3,000		
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>地方の商店街は、いずれの地域も郊外型やロードサイドへの大型店の進出、後継者難や店主の高齢化等により、個店だけでなく組織としても新たな投資が困難となっている所が増加しています。</p> <p>このため、従来にない公民協働の新たな事業モデルを戦略的に組み立て実施することで地域経済全体の循環を促し、中心市街地の賑わいと交流人口の倍増を図ります。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>中心市街地活性化に取り組む福知山駅正面通り商店街と有志によって組織された福知山フロント株式会社が、商店街再生プラン（5か年実行計画）に基づき観光戦略を策定し、テナントミックスによる飲食店の開設に向けた各種調整、ゲストハウスを活用した地域の賑わい再生や市域全体の活性化に結び付けていくツアー等を行なう事業の経費について補助金を交付します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 商工費 (項) 商工費 (目) 商工業振興費</p> <p>商店街再生プロジェクト支援事業費補助金 6,000千円</p> <p>(1) インバウンド観光現地紹介・誘致業務 1,300千円</p> <p> ブロガーなどによる情報発信、ツアー企画等</p> <p>(2) 観光戦略プラン策定業務（事務局業務） 2,844千円</p> <p>(3) 広報活動費 1,856千円</p> <p> 新聞や観光雑誌、ホームページ更新費用、マップ作成等</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>国庫補助金（地方創生推進交付金） 3,000千円</p> <p>地域振興基金繰入金 3,000千円</p>						
担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075 内線 4142			

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	中心市街地活性化関連道路整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
255,000	国	府	市債	その他	一般財源	152,000
	32,500		209,700		12,800	

1 事業の背景・目的

中心市街地において、歴史的資産等を活用し、快適で調和の取れた街なみの形成を図るために、中心市街地活性化基本計画に基づいて、リニューアルが進む広小路商店街の景観に配慮した道路改良を実施し、通行車両及び歩行者の安心安全を確保します。

2 事業の内容

市道広小路本町線の道路側溝改修、歩道改良工事の実施及び電線類等の地中化に関する移転補償を行います。

3 事業費の内訳

(款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 道路新設改良費
 工事請負費 65,000千円
 補償、補填及び賠償金 190,000千円

4 主な特定財源

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 土木費国庫補助金
 社会資本整備総合交付金 65,000千円×補助率50%=32,500千円
 (款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債
 公共事業等債 (65,000千円-32,500千円)×充当率90%≒29,200千円
 合併特例債 対象分190,000千円×充当率95%=180,500千円



広小路本町線

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059 内線 4215
-----	----------	----	--------------------

政策名	新たな観光戦略の展開													
事業名	K T R 支援事業					継続								
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額								
147,662	国	府	市債	その他	一般財源	131,368								
			43,000	104,662		16,418※								
※H27前倒し計上した予算額を示す														
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>京都丹後鉄道は沿線地域の人々の貴重な移動手段であり、京都府北部地域の振興と、本市の都市機能に欠かせない交通基盤です。この交通基盤を維持し、地域の活力向上につなげるため、平成27年4月から上下分離による再構築を行い、基盤保有会社〔北近畿タンゴ鉄道(株)(KTR)〕と運行会社(WILLER TRAINS(株))による事業展開を図っています。</p> <p>京都府をはじめ、沿線自治体と連携して、安全運行に必要な基盤を維持し、沿線地域の活性化と交流の拡大を促進するためKTRに支援を行います。</p> <p>2 事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ KTR経営安定化対策事業費補助金 KTRに本市が課税する固定資産税・都市計画税負担に対する補助 ○ KTR宮福線等電化高速化支援事業費補助金 KTR宮福線等電化高速化事業に伴うKTRの返済金に対する補助 ○ KTR再生支援事業補助金 KTR特急車両ディスカバリーの老朽化改修及びデザイン車両化を行う経費に対する補助 ○ KTR基盤補助金 KTRが国庫補助事業として行う安全性向上に資する設備整備等に関する事業及び、安全運行を支援するため、線路や電路などの基盤部分に係る経費に対し、京都府をはじめ関係自治体が協調して行う補助 <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 交通対策費 負担金補助及び交付金 K T R に対する補助 147,662千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">地域振興基金繰入金</td> <td style="text-align: right;">63,831千円</td> </tr> <tr> <td>過疎地域自立促進基金繰入金</td> <td style="text-align: right;">40,831千円</td> </tr> <tr> <td>過疎対策債</td> <td style="text-align: right;">25,400千円</td> </tr> <tr> <td>旧合併特例債</td> <td style="text-align: right;">17,600千円</td> </tr> </table>							地域振興基金繰入金	63,831千円	過疎地域自立促進基金繰入金	40,831千円	過疎対策債	25,400千円	旧合併特例債	17,600千円
地域振興基金繰入金	63,831千円													
過疎地域自立促進基金繰入金	40,831千円													
過疎対策債	25,400千円													
旧合併特例債	17,600千円													
担当課	市民人権環境部 生活交通課	電話	直通 24-7020 内線 2231											

政策名	新たな観光戦略の展開					
事業名	敬老乗車券事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
14,493	国	府	市債	その他	一般財源	12,293
				5,446	9,047	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>路線バス等の公共交通は、自動車等の移動手段を持たない高齢者等にとってなくてはならない交通移動手段です。しかしながら、自家用車に過度に依存する社会構造の進展、少子高齢化や人口減少の進行等により公共交通の利用者は減少傾向にあります。</p> <p>こうしたなか、75歳以上の高齢者を対象に、路線バスや京都丹後鉄道（丹鉄）の乗車券として利用できる敬老乗車券を安価で販売することで、高齢者の外出を支援するとともに公共交通の利用促進を図ります。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>【対象】 市内に住所を有し、その年度に75歳以上になる人で、「福知山市在宅高齢者外出支援助成事業」の対象でない人</p> <p>【事業の内容】</p> <p>○市内を運行する路線バス（高速バスは除く）及び丹鉄の乗車券として利用できる敬老乗車券を、1冊3,000円分（100円券×30枚つづり）を500円で販売します。</p> <p>○券の購入は、同一年度ひとり3冊9,000円分を限度とし、有効期限は購入年度の翌年度末とします。ただし、運転免許証を自主返納されたことが確認できる人は、同一年度の購入冊数上限を5冊とします。</p> <p>*販売は市役所及び各支所で行います。</p> <p>*バス運行事業者及び丹鉄には、利用された敬老乗車券相当額を補填します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>（款）総務費 （項）総務管理費 （目）交通対策費</p> <p>負担金 運行事業者への運賃補填 12,495千円</p> <p>事務費 消耗品、印刷製本費（敬老乗車券印刷代等4,500冊） 259千円</p> <p>賃金 窓口販売対応臨時職員賃金 1,739千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>（款）繰入金 （項）基金繰入金 （目）基金繰入金</p> <p>過疎地域自立促進基金繰入（敬老乗車券事業基金繰入） 3,346千円</p> <p>（款）諸収入 （項）雑入 （目）雑入</p> <p>敬老乗車券販売収入 2,100千円</p>						
担当課	市民人権環境部 生活交通課		電話	直通 24-7084 内線 2232		

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり				
事業名	街路事業（多保市正明寺線 高畑工区）				継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)				前年度 予算額
186,929	国	府	市債	その他	一般財源
	59,977		120,300		6,652
					556,492

1 事業の背景・目的

現高畑橋は昭和35年に架設されてから50年以上経過し、橋面・高欄の損傷等、老朽化が著しく進んでいます。また、幅員4.5mと狭小で歩道がなく、交通渋滞や歩行者の安全な通行

に支障を生じ、地元自治会及び利用者から早期整備が望まれています。

高畑橋の架け替え事業は、橋長178m、車道幅員を7mに拡幅し、両側に2.5mの歩道を設けるものです。

新橋完成により、長田野工業団地と国道175号との交通の流れが円滑になり、福知山市東部と中心市街地とのアクセスが強化されます。さらに、歩行者にとっても安心・安全な通行確保を図ります。

2 事業の内容

昨年度に引き続き、取合い道路の築造を行い、新橋の開通を行います。

また、新橋へ切替後、旧橋等の撤去を計画しており左岸側の撤去に着手します。

- ・取合道路整備工事
- ・護岸工事（左岸）
- ・旧橋等撤去工事（左岸）
- ・水管橋移設補償



3 事業費の内訳

(款) 土木費	(項) 都市計画費	(目) 街路事業費	
	旅費	29千円	
	委託料	250千円	
	工事請負費	160,650千円	
	補償、補填及び賠償金	26,000千円	(水管橋移設補償)
	計	186,929千円	

4 主な特定財源

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 土木費国庫補助金
 防災・安全交付金 109,050千円×補助率55%≒59,977千円

(款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債
 旧合併特例債

(186,929千円－59,977千円－29千円－250千円)×充当率95%≒120,300千円

担当課	土木建設部都市計画課	電話	直通 24-7050 内線 4317
-----	------------	----	--------------------

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	社会資本整備総合交付金事業（道路整備）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
140,000	国	府	市債	その他	一般財源	80,000
	77,000		56,700		6,300	

1 事業の背景・目的

道路は市民生活や経済活動の基盤となる重要な社会資本であることから、国において社会資本の円滑な整備促進を目的として、社会資本整備総合交付金が創設されています。

市道において、幹線道路の新設・舗装改良、自然災害防止などの大規模な事業については、年次計画を立て、有利な社会資本整備総合交付金を活用して事業を実施し、市民生活の向上を図ります。

また、由良川水系河川整備計画に伴い、築堤計画と整合を図りながら、川北橋（川北荒木線）の改修工事を実施します。

2 事業の内容

道路改築、舗装修繕、歩道整備などに関する測量設計及び工事等を実施します。

3 事業費の内訳

(款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 道路新設改良費
 委託料 17,000千円 (実施設計、公共嘱託登記業務)
 工事請負費 120,000千円 (川北橋 外5路線)
 公有財産購入費 3,000千円 (猪崎川北線)

4 主な特定財源

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 土木費国庫補助金
 社会資本整備総合交付金 140,000千円×補助率55%=77,000千円
 (款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債
 公共事業等債 (140,000千円-77,000千円)×充当率90%=56,700千円



川北橋全景



川北橋 車道・歩道

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059 内線 4218
-----	----------	----	--------------------

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	地域間交流促進ネットワーク事業（市道整備）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
114,402	国	府	市債	その他	一般財源	—
	57,201		54,600		2,601	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>地方版総合戦略（まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略として策定した、地域再生計画『北近畿の拠点“福知山”のネットワークを強化する道づくり計画』に基づき、市内の道路網の整備を行います。</p> <p>地域間の交流ネットワークの強化を通じて、交通の利便性の向上、地域間交流の促進を進めるとともに、災害時における避難経路の確保、安全・安心な道路環境、観光入込客数の増加を図ることを目的とします。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>本地域再生計画に位置付けた市道の道路改良・舗装改良等について、地方創生道整備推進交付金により事業を実施します。</p> <p>平成28年度～32年度 総事業費 450,000千円（市道分）うち29年度 114,402千円（市道分）</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>（款）土木費（項）道路橋りょう費（目）道路新設改良費 委託料（測量・設計業務） 30,000千円 工事請負費（道路改良工事） 84,402千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>（款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）土木費国庫補助金 地方創生道整備推進交付金 114,402千円×補助率50%=57,201千円 （款）市債（項）市債（目）土木債 合併特例（対象分102,402千円－国費51,201千円）×95%≒48,600千円 過疎対策（対象分12,000千円－国費6,000千円）×100%=6,000千円</p>						
担当課	土木建設部土木課		電話	直通 24-7059 内線 4215		

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	広域交通網整備促進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
113,000	国	府	市債	その他	一般財源	120,000
			107,300		5,700	

1 事業の背景・目的

国道9号及び駅南地域等市街地周辺において頻繁に発生している交通混雑を緩和し、郊外幹線道路へ通行車両を誘導するため、広域交通網としてのバイパス道路を整備し、市街地周辺とのアクセスをスムーズにします。

また、住民交流や観光施設への利用の活性化を図り、さらには、緊急避難路として位置付け、安全で円滑な交通体系の充実を図ります。

2 事業の内容

市道福知山停車場奥榎原線の道路拡幅改良にかかる用地取得及び工事を実施します。

事業期間：平成23年度～平成31年度（予定）

3 事業費の内訳

(款) 土木費	(項) 道路橋りょう費	(目) 道路新設改良費
委託料	2,000千円	(公共嘱託登記業務)
工事請負費	100,000千円	(道路新設改良工事)
公有財産購入費	10,000千円	(用地買収)
補償、補填及び賠償金	1,000千円	(物件移転補償)

4 主な特定財源

(款) 市債	(項) 市債	(目) 土木債
旧合併特例債	113,000千円	× 充当率95% ≒ 107,300千円



福知山停車場奥榎原線

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059 内線 4218
-----	----------	----	--------------------

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	橋りょう長寿命化対策事業				継続	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
43,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	22,000			21,000		95,000

1 事業の背景・目的

橋りょうを良好な状態で維持するため、道路法に基づき、橋りょうの点検及び長期的な補修計画の策定を行い、今後老朽化する道路橋の増大に対し、予防・計画的な修繕及び長寿命化対策等を進めていきます。

計画的に事業を実施することにより、全体的な橋りょうの維持管理費の縮減を図り、道路橋の安全性、信頼性を確保していきます。

2 事業の内容

橋りょう長寿命化修繕計画の策定のために、市内の市道橋1,101橋について、年次計画に基づいて橋りょう点検を行います。平成29年度 133橋（予定）

また、橋りょう修繕についても実施していきます。

3 事業費の内訳

(款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 橋りょう維持費
 修繕料 2,000千円 (橋りょう修繕 宮橋外3橋)
 委託料 40,000千円 (長寿命化修繕計画策定業務)
 工事請負費 1,000千円 (橋りょう改修 1橋)

4 主な特定財源

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 土木費国庫補助金
 社会資本整備総合交付金 40,000千円×補助率0.55=22,000千円

(款) 使用料及び手数料 (項) 使用料 (目) 土木使用料
 道路橋りょう使用料 3,000千円

(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金
 公共施設等総合管理基金

(事業費40,000千円－国費22,000千円) × 充当率100% = 18,000千円



橋りょう点検状況 (長田野地内)

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059 内線 4215
-----	----------	----	--------------------

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	斎場火葬炉設備改修事業				新規	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
40,000	国	府	市債	その他	一般財源	
			38,000	2,000		—

1 事業の背景・目的

斎場も開設後20年が経過しました。前回の平成19年度から平成23年度(5か年)にわたる大規模改修の後、10年が経過し、5基の火葬炉の使用件数も、それぞれ2,000件近くとなっています。耐熱ブロックやバーナー・点火トランス・排気系機器などの傷みが激しく、燃焼効率も悪化しています。火葬炉の耐用年数が10年、耐用件数が2,000件となっており、安全で安定した火葬炉の運用を行うために定期的な第2期目の大規模改修を、平成29年度から平成32年度の4か年でを行います。

2 事業の内容

- (1) 5号炉の耐熱ブロック等の全面積替え
- (2) 3系排気系機器等の更新
- (3) 2・5号炉の制御盤の更新等

3 事業費の内訳

(款) 衛生費 (項) 保健衛生費 (目) 環境衛生費
 ・ 工事請負費 40,000千円
 (5号炉全面積替 13,200千円、耐火材部分改修 1,800千円、3系列煙道全面積替 1,200千円、3系列排気ファン更新 3,600千円、他)

4 主な特定財源

(款) 市債 (項) 市債 (目) 衛生債
 旧合併特例債 40,000×充当率95%=38,000千円

(写真) 火葬炉の外観及び制御盤



火葬炉内の耐熱ブロック



担当課	市民人権環境部 生活交通課 斎場	電話	直通 27-6122 内線
-----	---------------------	----	---------------

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	空家対策事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
6,704	国	府	市債	その他	一般財源	—
					6,704	

1 事業の背景・目的

適切な管理が行われていない空家等に対して、福知山市空家等対策計画に基づき、総合的な空家施策の推進を図ります。

2 事業の内容

適切な管理が行われていない空家等が、地域住民の生活環境に深刻な悪影響を及ぼすことのないよう、空家等の実態調査、所有者等の特定、指導等の措置、所有者への意向調査を行い総合的・計画的な空家対策を実施します。

3 事業費の内訳

(款) 土木費 (項) 住宅費 (目) 住宅管理費

報酬 189千円 (空家等対策協議会委員報酬)
賃金 6,010千円 (空家調査等業務)
旅費、需用費、役務費等 505千円

□福知山市空家等対策協議会の設置
平成28年8月1日

□委員構成
市長ほか外部有識者 計9名

□平成28年度開催回数 計4回
第1回・・・平成28年 8月
第2回・・・平成28年 12月
第3回・・・平成29年 2月
第4回・・・平成29年 3月 (予定)



第1回福知山市空家等対策協議会

担当課	土木建設部建築課	電話	直通 24-7053 内線 4242
-----	----------	----	--------------------

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	水洗化促進補助事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
66,004	国	府	市債	その他	一般財源	66,931
	1,819	1,819			62,366	
<p>1 事業の背景・目的 浄化槽整備区域内において、浄化槽の設置による水洗化を促進し、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に資するため、浄化槽の設置し、又はその維持管理を行う方を支援します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 合併処理浄化槽設置整備事業補助金 浄化槽整備区域内において、10人槽以下の合併処理浄化槽を設置する方に対して、補助金を交付します。 (人槽区分) (補助限度額) 5人槽 409千円 7人槽 613千円 10人槽 974千円</p> <p>(2) 合併処理浄化槽維持管理事業補助金 浄化槽整備区域内において、10人槽以下の合併処理浄化槽の維持管理を行う方に対して、1基につき年額33千円の補助金を交付します。</p> <p>(3) 水洗化促進事業補助金 下水道事業の処理区域外において、浄化槽の設置に伴い、水洗便所改造工事を行う方であって、その方及びその世帯員全員の市民税が非課税である方に対し、240千円を限度として補助金を交付します。</p> <p>(4) 浄化槽汚泥処理負担金 浄化槽世帯から排出される汚泥に係る処理負担金について、下水道事業会計に支出します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款)衛生費 (項)清掃費 (目)清掃総務費</p> <p>(1) 合併処理浄化槽設置整備事業補助金 7,154千円 (2) 合併処理浄化槽維持管理事業補助金 42,570千円 (3) 水洗化促進事業補助金 240千円 (4) 浄化槽汚泥処理負担金 15,860千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款)国庫支出金 (項)国庫補助金 (目)衛生費国庫補助金 合併処理浄化槽設置整備事業 1,819千円 (款)府支出金 (項)府補助金 (目)衛生費府補助金 合併処理浄化槽設置整備事業 1,819千円</p>						
担当課	上下水道部 お客様サービス課		電話	直通 22-6500 内線 72-210		

政策名	豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり					
事業名	消防水利整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
26,670	国	府	市債	その他	一般財源	28,820
			17,800		8,870	

1 事業の背景・目的

市民の生命と財産を守り、安心・安全なまちづくりを推進していくため、耐震化されていない防火水槽を耐震性に整備し、災害に強い消防防災体制を構築します。

また、消火栓の保守管理・整備を行うとともに、転落危険性のある防火水槽への安全対策としてフェンスなどを設置します。

2 事業の内容

- | | |
|----------------|--------------|
| (1) 耐震性貯水槽新設 | 2基 (土、三和町台頭) |
| (2) 防火水槽安全対策 | 15か所 |
| (3) 消火栓保守管理・整備 | 1式 |
| (4) 防火水槽標識整備 | 50か所 |

3 事業費の内訳

(款) 消防費 (項) 消防費 (目) 消防施設費

- | | | |
|----------------|------|----------|
| (1) 耐震性貯水槽新設 | 2基 | 12,000千円 |
| (2) 防火水槽安全対策 | 15か所 | 8,710千円 |
| (3) 消火栓保守管理・整備 | 1式 | 5,690千円 |
| (4) 防火水槽標識整備 | 50か所 | 270千円 |

4 主な特定財源

(款) 市債 (項) 市債 (目) 消防債

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 耐震性貯水槽新設 (土) | 6,000千円 (緊急防災・減災事業債 100%) |
| 耐震性貯水槽新設 (三和町台頭) | 6,000千円 (過疎対策債 100%) |
| 防火水槽安全対策 | 5,800千円 (過疎対策債 100%) |



土新設予定地



三和町台頭新設予定地

担当課	消防本部警防課	電話	直通 24-0119 内線 2420+205
-----	---------	----	------------------------

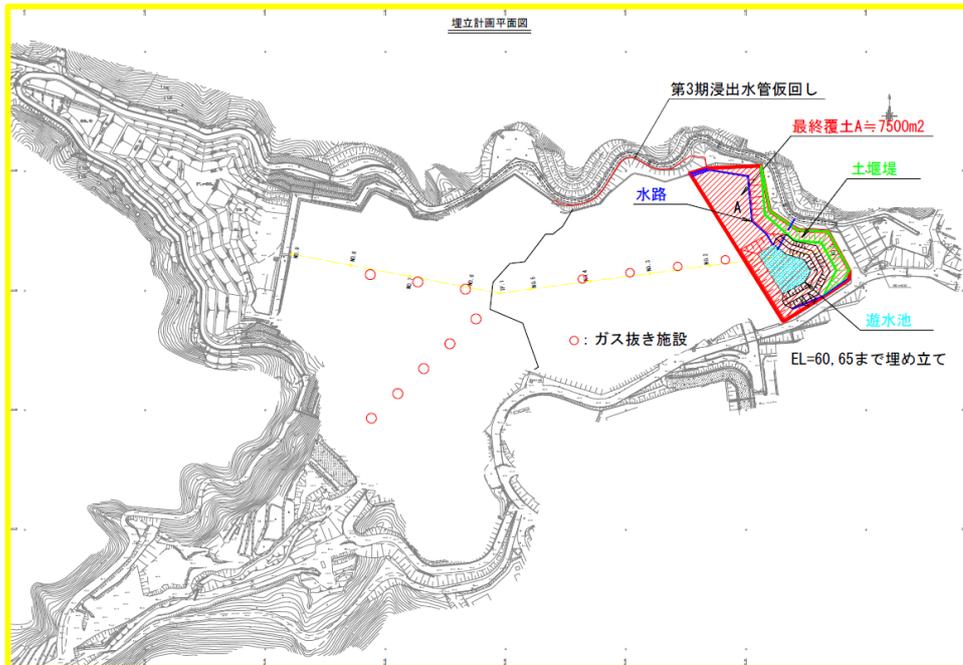
政策名	豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり					
事業名	第1期・第2期処分場埋立整備事業				継続	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
78,300	国	府	市債	その他	一般財源	
			74,300	4,000		20,000

1 事業の背景・目的

埋立処分場の更なる容量の確保が必要なため、第1期・第2期埋立処分場の嵩上げ整備を複数年計画で実施します。

2 事業の内容

第1工程として、ガス処理施設の設置、最下流部の土堰堤築造、最終覆土等の整備をします。



3 事業費の内訳

(款)衛生費 (項)清掃費 (目)じん介処理費
(節)工事請負費 78,300千円

4 主な特定財源

(款)市債 (項)市債 (目)衛生債
旧合併特例 事業費78,300×充当率95%≒74,300千円
(款)繰入金 (項)基金繰入金 (目)基金繰入金
公共施設総合管理基金繰入 4,000千円

担当課	市民人権環境部環境政策室	電話	直通 22-1827 内線 6120
-----	--------------	----	--------------------

政策名	豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり					
事業名	地球温暖化対策再エネ・省エネ推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3,938	国	府	市債	その他	一般財源	7,600
		3,400			538	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>エネルギー対策と地球温暖化対策は、国を挙げて取組まれている事業であり、本市としても積極的に取組む必要があります。</p> <p>本事業により、再生可能エネルギー促進に向け、市として取組む内容を整理検討する有識者を含めた委員会を開催します。</p> <p>また、再エネ・省エネの普及を後押しするため、住宅への再エネ設備等の導入を支援します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 再生可能エネルギー導入の促進に向けた再生可能エネルギー推進委員会の開催</p> <p>(2) 再生可能エネルギー導入及び省エネルギー促進のための設備設置補助(家庭向け自立型再エネ導入補助金)</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 衛生費 (項) 保健衛生費 (目) 環境保全費</p> <p>(1) 報償費 委員等謝礼 120千円</p> <p>(2) 旅費 委員等旅費 18千円</p> <p>(3) 負担金補助及び交付金 〔家庭向け自立型再エネ導入補助金〕</p> <p>①太陽光発電出力1kW当り20千円(上限80千円)</p> <p>②蓄電設備の蓄電容量1kWh当り50千円(上限300千円) (80千円+300千円)×年間10件=3,800千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 衛生費府補助金 (節) 保健衛生費補助金 京都府家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金 (80千円×1/2+300千円)×10件=3,400千円</p>						
担当課	市民人権環境部環境政策室		電話	直通 22-1827 内線 6110		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	高齢者保健福祉計画推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3,567	国	府	市債	その他	一般財源	3,603
		1,500			2,067	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>平成27年度から始まった第7次福知山市高齢者保健福祉計画の3年目を迎え、平成30年度から32年度を計画期間とする第8次計画の策定を行います。</p> <p>今回の計画は、平成28年度実施の介護予防日常生活圏域ニーズ調査等の結果を踏まえて、中学校区ごとの課題を抽出し、きめ細かなサービス計画を整理するほか、計画期間中の介護保険料額の決定や今後の高齢者保健福祉施策の目標を定めます。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 高齢者対策協議会の開催 (5回開催)</p> <p>(2) 計画策定に係る専門業者への委託</p> <p>(3) その他調整事務</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 老人福祉費</p> <p>(1) 高齢者対策協議会開催経費 985千円</p> <p>① 委員報酬 8千円×24人×5回=960千円</p> <p>② 会議案内・資料等郵送料 82円×24人×10回=20千円</p> <p>③ PPC使用料 5千円</p> <p>(2) 計画策定委託料 2,500千円</p> <p>(3) その他調整事務経費 82千円</p> <p>① 旅費 42千円</p> <p>② 消耗品費 40千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 民生費府補助金</p> <p>京都府市町村高齢化対策推進事業補助金 1,500千円</p>						
担当課	福祉保健部高齢者福祉課	電話	直通 24-7073 内線 2141			

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	女性のためのがん検診推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
34,900	国	府	市債	その他	一般財源	35,708
	663			590	33,647	

1 事業の背景・目的

子宮頸がんは罹患率のピークが若年化しており、平成24年度の人口10万対罹患率は35～39歳で28.1、40～44歳で32.8と高くなっています。また、死亡率も諸外国の低下に反して上昇しています。

乳がんは、人口10万対罹患率は113と女性の中で一番高く、死亡率も上昇しています。

こうした状況から女性のがん検診の受診促進を図り、がんの早期発見と正しい健康意識の普及および啓発を行い、健康の保持・増進を図ります。

2 事業の内容

(1) 検診の内容

- ・子宮頸がん検診：直接採取による膣細胞診、組織診
- ・子宮体がん検診：子宮内膜の直接採取による細胞診、組織診
- ・乳がん検診：視触診とマンモグラフィ併用検診
(40歳代は2方向、50歳以上は1方向撮影)

(2) 対象者・自己負担金

- ・子宮がん検診 20歳以上の市民 700円 *自己負担金無料制度あり
- ・乳がん検診 40歳以上の市民 700円

(3) 無料クーポン券送付による個別受診勧奨通知

下記対象者へ、市実施の検診が無料で受診できるクーポン券と啓発用検診手帳を送付し、受診率向上を図る。

- ・子宮頸がん検診 H29.4.1現在、20歳の市民(355人予定)
- ・乳がん検診 H29.4.1現在、40歳の市民(477人予定)

(4) 節目年齢者への個別受診勧奨通知

検診受診につながる効果のある個別通知について、対象者を限定し(罹患率の高くなる年齢等)、はがき通知勧奨を実施予定。

3 事業費の内訳

(款) 衛生費 (項) 保健衛生費 (目) 保健指導費

- ・賃金 385千円 ・需用費 818千円 ・役務費 502千円
- ・委託料 33,185千円 ・扶助費 10千円

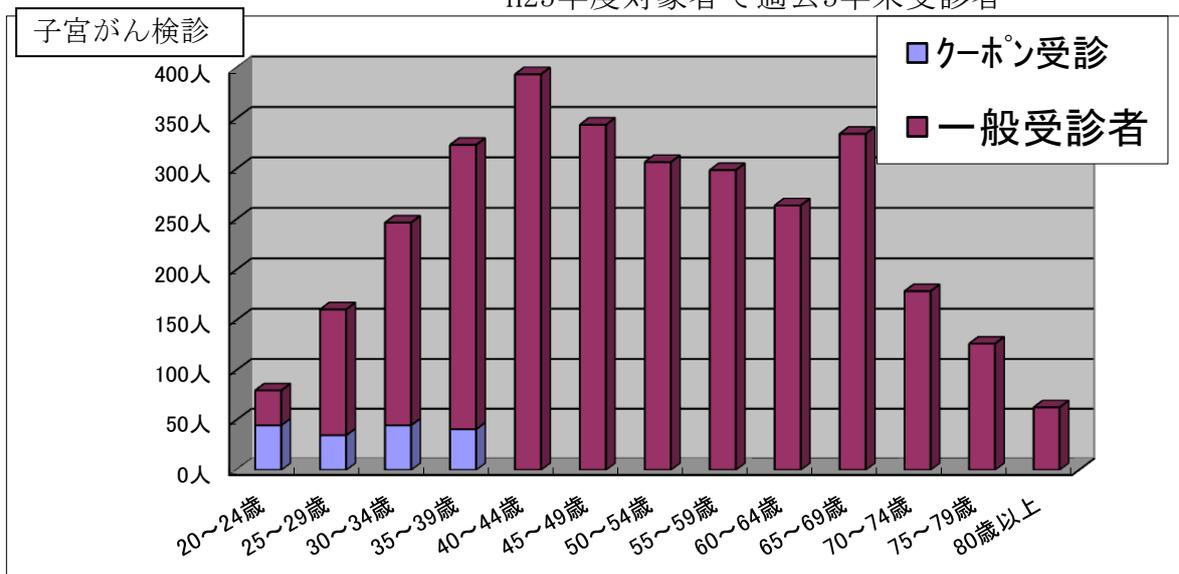
4 主な特定財源

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 衛生費国庫補助金

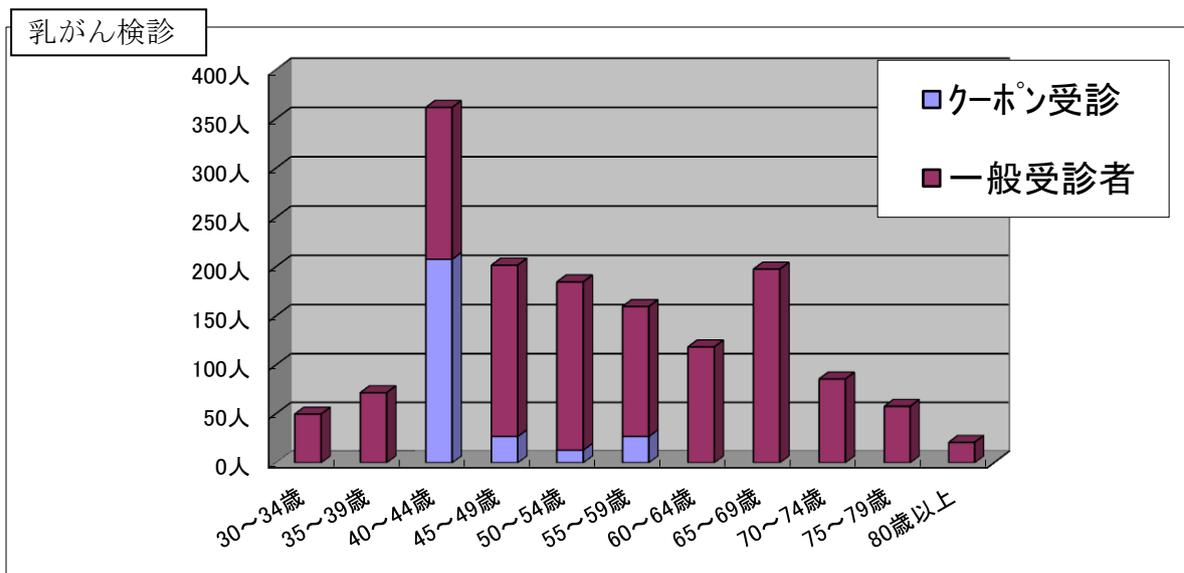
- ・疾病予防対策事業費補助金 663千円

【参考】平成27年度受診状況

* 無料クーポン対象者 ・子宮がん検診20歳 ・乳がん検診40歳
 ・H25年度対象者で過去5年未受診者



検診全体の受診率が20.2%、無料クーポン対象者の受診率は11.7%（うち無料クーポン券を利用した人の93.6%は新規受診者）。これを機会に毎年受診が習慣化されるよう、啓発します。（がん確定者0人）



検診全体の受診率が20.6%、無料クーポン対象者の受診率は15.0%（うち無料クーポン券を利用した人の87.2%が新規受診者）。乳がん検診は2年に1度の検診のため、2年後に継続できるよう受診勧奨に努めます。（がん確定者5人（無料クーポン対象者では0人））

担当課	福祉保健部健康推進室	電話	直通 23-2788 内線 6210
-----	------------	----	--------------------

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	地域福祉推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3,943	国	府	市債	その他	一般財源	2,652
		1,458			2,485	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>近年の急速な人口減少や少子・高齢化の進行、家族や地域のあり方の変容、経済や雇用をめぐる厳しい状況を背景に、社会的孤立や児童虐待、またひきこもりや貧困の問題など様々な問題が顕在化・深刻化しており、災害への備えを含め公的サービスだけでは対応が困難で複雑多様な福祉課題が山積しています。</p> <p>このような状況のなか、本市では人権が尊重され、人と人とのつながりを大切にし、お互いに支え合い・助け合う関係やその仕組みをつくり、誰もが安心・安全に暮らしていける地域社会の実現をめざして地域福祉計画を策定しています。</p> <p>第2次福知山市地域福祉計画（計画期間：平成25年度～平成29年度）策定から4年が経過し、社会情勢や地域における生活課題の変化等に対応するため、計画を見直し、新たに第3次福知山市地域福祉（計画期間：平成30年度～平成34年度）を策定します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>地域福祉計画策定委員会の開催及び計画策定業務の委託</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>（款）民生費 （項）社会福祉費 （目）社会福祉総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 955千円（委員報酬） ・需用費 34千円（消耗品費、印刷製本費） ・役務費 38千円（郵送料） ・委託料 2,916千円（地域福祉計画策定業務） <p>4 主な特定財源</p> <p>（款）府支出金 （項）府補助金 （目）民生費府補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府みらい戦略一括交付金 1,458千円 						
担当課	福祉保健部地域福祉課	電話	直通 24-7088 内線 2112			

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	子育て交流・相談・支援事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
15,896	国	府	市債	その他	一般財源	12,482
	4,997	4,997			5,902	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>本市では、子育て世代の親子の交流や相談の場として、保育園に併設されている4カ所の子育て支援センター、地域子育て支援拠点施設「すくすくひろば」を設けています。また、市内の公共施設などを利用して実施している「おひさまひろば」を実施しています。</p> <p>今後、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を担う子育て支援の場としてさらに充実し、就学前までの子どもとその保護者を対象にした交流・相談・支援を行います。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>既存の事業である「地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援ひろば事業・子育て支援センター運営事業）」「おひさまひろば事業」「利用者支援事業」の子育て支援を、子育ての交流・相談・支援の包括的な支援事業として位置づけ、充実を図ります。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童福祉総務費</p> <p>賃金： 8,026千円(三和・夜久野・大江子育て支援センター臨時職員)</p> <p>報償費： 110千円</p> <p>旅費： 36千円</p> <p>需用費： 1,219千円</p> <p>役務費： 35千円</p> <p>委託料： 6,420千円</p> <p>地域子育て支援ひろば事業業務委託料 4,267,320円</p> <p>おひさまひろば事業業務委託料 899,230円</p> <p>利用者支援事業(基本型)業務委託料 1,102,284円</p> <p>施設管理に関わる業務委託料 150,580円</p> <p>備品購入費： 50千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>子ども・子育て支援交付金(国庫) 4,997千円</p> <p>子ども・子育て支援交付金(府) 4,997千円</p>						
担当課	福祉保健部子育て支援課		電話	直通 24-7083 内線 2111		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	ファミリー・サポート・センター運営事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1,994	国	府	市債	その他	一般財源	1,999
	664	664			666	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>ファミリー・サポート・センターは、育児の援助を行いたい者（援助会員）と育児の援助を受けたい者（依頼会員）の会員組織を設け、相互の援助活動の調整を行っています。</p> <p>仕事を持っている保護者を中心に、依頼会員が増えていますが、援助会員が少ないのが課題となっています。</p> <p>○平成28年9月末現在会員数 依頼会員：226人 援助会員：68人 両方会員：38人</p> <p>○平成28年度上半期活動状況 依頼件数：320件</p> <p>○子育て支援員研修受講会員 4人</p> <p>2 事業の内容</p> <p>・ファミサポの運営を委託して実施します。 委託先：福知山市社会福祉協議会 平成28年～ 長期継続契約</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童福祉総務費 委託料：ファミリー・サポート・センター事業業務委託料 1,994千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>子ども・子育て支援交付金(国庫) 664千円 子ども・子育て支援交付金(府) 664千円</p>						
担当課	福祉保健部子育て支援課		電話	直通 24-7082 内線 2111		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	保育所委託事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,100,515	国	府	市債	その他	一般財源	1,972,572
	673,431	364,440		461,148	601,496	

1 事業の背景・目的

平成27年4月にスタートした子ども・子育て支援新制度は、子どもの育ちと子育てを社会全体で支援するため、必要とする全ての家庭が利用できるよう支援の量を拡充し、同時に全ての子どもたちが健やかに成長していけるよう支援の質を向上させることを目指しています。

本事業では、民間認可保育所への保育の委託、地域型保育事業所への給付費の支払いを行い、保育環境のさらなる充実を図っていきます。

年 度	民間 保育所	市外民間 保育所	地域型 保育所	合 計
平成26年度	1,853人	63人	-	1,916人
平成27年度	1,925人	77人	28人	2,030人
平成28年度	1,962人	80人	28人	2,070人

2 事業の内容

人数は1月1日時点

子ども・子育て支援法による給付制度に基づき、民間認可保育所、地域型保育事業者に対し運営に要する経費を支出します。

3 事業費の内訳

(款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童措置費

- ・委託料.....2,014,652千円
- ・負担金補助及び交付金....85,863千円

4 主な特定財源

(款) 分担金及び負担金 (項) 負担金 (目) 民生費負担金

- ・利用者負担額(保育料) .461,048千円

(款) 使用料及び手数料 (項) 手数料 (目) 民生手数料

- ・保育料督促手数料.....100千円

(款) 国庫支出金 (項) 国庫負担金 (目) 民生費国庫負担金

- ・保育所運営費.....635,338千円
- ・施設型給付費等.....38,093千円

(款) 府支出金 (項) 府負担金 (目) 民生費府負担金

- ・保育所運営費.....317,669千円
- ・施設型給付費等.....19,046千円

(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 民生費府補助金

- ・多子世帯保育料軽減事業..27,725千円

担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7083 内線 2147
-----	-------------	----	--------------------

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	放課後児童クラブ運営事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
159,359	国	府	市債	その他	一般財源	200,477
	32,000	32,000		79,205	16,154	

1 事業の背景・目的

保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や学校休業中に安心して遊び生活できる場を提供するとともに健全育成を図り、保護者の就労と子育ての両立を支援します。

2 事業の内容

放課後児童クラブは、市直営12か所、委託1か所、補助6か所、合計19か所で、平日は放課後から午後7時まで、土曜日と長期休業中は午前7時45分から午後7時まで開設しています。

児童クラブに対する保護者ニーズが多様化するなか、施設の充実や指導員の資質向上を進めるなど、利用児童の安心・安全な居場所を確保するための環境整備を推進します。



放課後児童クラブの様子

3 事業費の内訳

(款) 教育費	(項) 社会教育費	(目) 社会教育総務費	
・賃金	119,561千円	・委託料	6,547千円
・報償費	221千円	・使用料及び賃借料	124千円
・旅費	113千円	・備品購入費	463千円
・需用費	5,450千円	・負担金補助及び交付金	23,061千円
・役務費	3,819千円		
		合 計	159,359千円

4 主な特定財源

(款) 使用料及び手数料	(項) 使用料	(目) 教育使用料	
	・放課後児童クラブ使用料		40,205千円
(款) 国庫支出金	(項) 国庫補助金	(目) 教育費国庫補助金	
	・子ども・子育て支援事業		32,000千円
(款) 府支出金	(項) 府補助金	(目) 教育費府補助金	
	・子ども・子育て支援事業		32,000千円
(款) 繰入金	(項) 基金繰入金	(目) 基金繰入金	
	・放課後児童クラブ運営事業基金繰入		39,000千円

担当課	教育委員会生涯学習課	電話	直通 24-7067 内線 2118
-----	------------	----	--------------------

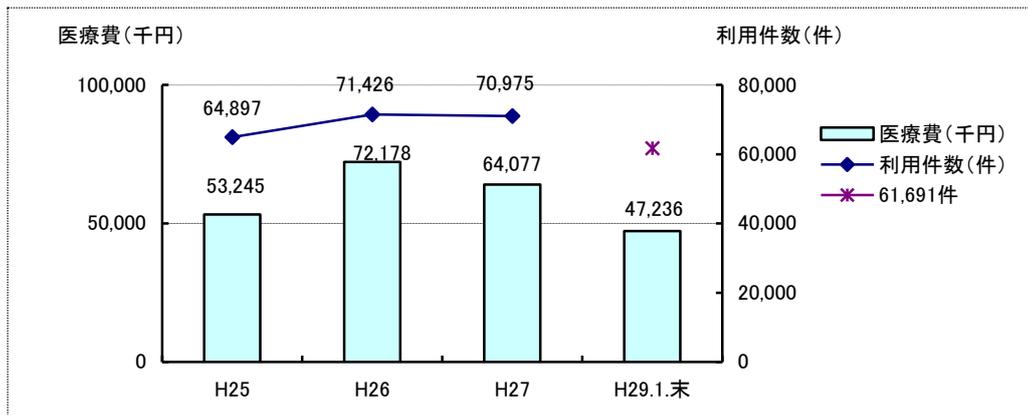
政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり				
事業名	ふくふく医療費支給事業				継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)				前年度 予算額
69,491	国	府	市債	その他	一般財源
					69,491
					69,956

1 事業の背景・目的

子どもの健康保持及び増進を図るとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援を図ります。

2 事業の内容

3歳以上中学3年生までの子どもの入院外の医療費について、1医療機関1日500円までの自己負担で受診できるよう医療費を公費負担します。



3 事業費の内訳

(款) 民生費	(項) 社会福祉費	(目) 社会福祉総務費
・ 需用費	161千円	
・ 役務費	5,394千円	
・ 扶助費	63,936千円	

担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7011 内線 2115
-----	-------------	----	--------------------

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	不妊治療費助成事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
8,127	国	府	市債	その他	一般財源	9,434
		2,662			5,465	

1 事業の背景・目的

不妊治療を受けている方の経済的な負担の軽減を図るため、治療費の一部を助成します。

さらに精密な治療については、国や府の助成制度が充実してきています。

2 事業の内容

【対象】

- ①医療保険適用の治療を受けた人
- ②人工授精を受けた人
- ③不育症の原因検査、治療を受けた人
- ※1年以上京都府内に継続して居住し、福知山市に住民票がある期間の治療費が対象となります。

不妊治療費の自己負担金の
4分の3を限度額の範囲内で助成

【限度額】1年度 150千円
ただし医療保険適用治療のみの場合
90千円
不育症は1回の妊娠につき75千円

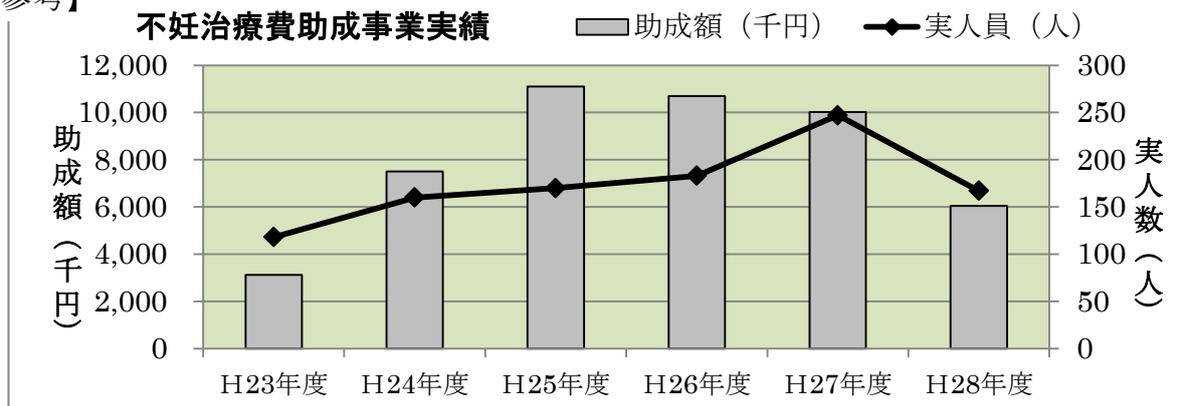
3 事業費の内訳

(款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)保健衛生総務費
賃金 116千円 役務費 25千円 扶助費 7,986千円

4 主な特定財源

(款)府支出金 (項)府補助金 (目)衛生費府補助金
不妊治療等給付事業助成費補助金 2,662千円

【参考】



項目	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
実人員(人)	118	160	170	183	247	167
助成額(千円)	3,127	7,505	11,098	10,699	10,026	6,045

※ H28年度は、H29年1月まで

担当課	福祉保健部健康推進室	電話	直通 23-2788 内線 6220
-----	------------	----	--------------------

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	障害福祉計画策定事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3,772	国	府	市債	その他	一般財源	—
				1,500	2,272	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>本市では、平成27年3月に「障害のある人もない人も、すべての人が共に生きていくまちづくり」を基本理念とした福知山市障害者計画（平成27年度から平成32年度までの6年間）及び第4期福知山市障害福祉計画（平成27年度から平成29年度までの3年間）を策定し、住み慣れた地域社会のなかで、すべての人が互いに尊重し支え合い、いきいきと活動しながら共に生活していく社会の構築に向けて、取り組んでいます。</p> <p>第4期福知山市障害福祉計画については、平成29年度が最終年度となるため、新たに第5期福知山市障害福祉計画（平成30年度から平成32年度までの3年間）の策定を行います。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>第5期福知山市障害福祉計画（平成30年度から平成32年度までの3年間）を策定します。</p> <p>計画の策定にあたっては、障害のある人の生活の現状や課題、障害福祉サービスの利用状況や意向などを把握するため、障害のある人や障害福祉サービス事業所への意識調査（アンケート）を実施します。</p> <p>また、市民公募による計画策定委員をはじめ、保健・医療・福祉関係者や当時者団体等で構成している「福知山市地域自立支援協議会」において、協議及び検討を行います。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>（款）民生費 （項）社会福祉費 （目）社会福祉援護費 報酬 508千円（計画策定委員報酬） 役務費 264千円（郵送料） 委託料 3,000千円（計画策定業務）</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>（款）府支出金 （項）府補助金 （目）民生費府補助金 ・障害福祉計画策定事業（みらい戦略一括交付金） 1,500千円</p>						
担当課	福祉保健部社会福祉課		電話	直通 24-7017 内線 2124		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	外出支援助成事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
15,390	国	府	市債	その他	一般財源	12,816
					15,390	
<p>1 事業の背景・目的 下肢の障害等により、自ら外出することが困難な在宅高齢者について、本人及び介護にあまっている家族等の精神的・経済的負担の軽減を図ることを目的にタクシー等の利用料金の一部を助成します。</p> <p>2 事業の内容 非課税世帯で原則要支援2以上の在宅高齢者に外出支援助成券を交付します。</p> <p>3 事業費の内訳 (款)民生費 (項)社会福祉費 (目)老人福祉費 事業費 15,390千円 ・需用費 120千円 (助成券印刷) ・役務費 450千円 (助成券郵送料) ・扶助費 14,820千円 (助成券支出)</p>						
担当課	福祉保健部高齢者福祉課	電話	直通 24-7013 内線 2141			

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	介護人材確保対策事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
12,021	国	府	市債	その他	一般財源	15,610
				11,792	229	

1 事業の背景・目的

市内の各施設における介護職員等の不足に対処するため、各種助成制度や一般社団法人福知山民間社会福祉施設連絡協議会（以下「福施連協」という。）と連携した取組により介護人材の確保・質の向上を支援します。

また、福施連協と共同での介護の日大作戦の実施など、福祉人材をPRする活動を行います。

2 事業の内容

(1) 京都府北部福祉人材養成システムの推進

① 実務者研修受講料支援

(ア) 福施連協が実施する介護福祉士実務者研修の受講料を支援

(イ) 受講料は、無資格者は受講料150千円、初任者研修修了者120千円、ヘルパー1級修了者100千円で、助成額は受講料の2分の1

② 介護福祉士実務者研修実施に係る支援

福施連協が実施する介護福祉士実務者研修の研修会場（福知山公立大学）の使用料を支援

③ 京都府北部福祉人材確保・定着戦略会議等への参画

(2) 各種助成事業

① UIターン家賃助成

(ア) 新規採用介護職員のうち、UIターン者に家賃を助成

(イ) 助成期間は3年間、助成額は、家賃の2分の1

（上限額（月）：1年目40千円、2年目30千円、3年目20千円）

② 介護福祉士育成修学資金貸付

(ア) 介護福祉士を養成する学校の入学金及び授業料を対象に年間800千円（最大2年間）を無利子で貸与

(イ) 介護福祉士を取得し、市内の施設・事業所で3年間勤務した場合、返還は不要

③ 介護職員初任者研修受講料支援

(ア) 民間が実施する介護職員初任者研修を受講者の研修受講料を支援、助成額は受講料の2分の1（上限額は3万円）

(イ) 研修終了後、3か月以内に市内の介護事業所等に就職し、当該介護事業所等で就職した日から6か月以上勤務した場合は受講料の全額（上限額は6万円）

(3) 福祉人材PRプロジェクトの推進

① 介護の日大作戦2017福知山の開催

② 介護人材就職フェアの開催

③ 京阪神の大学・専門学校等への訪問による宣伝活動

④ 福祉人材PRプロジェクト会議の開催

3 事業費の内訳

(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 老人福祉費

(1) 人材確保各種助成事業 10,592千円

- ア UIターン家賃助成 (補助金) 4,056千円
(1年目) 15,500円×7人×12ヶ月=1,302,000円
(2年目) 13,250円×6人×12ヶ月=954,000円
(3年目) 18,750円×8人×12ヶ月=1,800,000円

イ 介護福祉士育成修学資金貸付 (貸付金) 3,036千円
(1年目) 800,000円×3人=2,400,000円
(2年目) 636,000円×1人=636,000円

ウ 介護職員初任者研修受講料支援 (補助金) 750千円
・ 60,000円×5人=300,000円
・ 30,000円×15人=450,000円

エ 介護福祉士実務者研修受講料助成 (福祉連協実施) 2,750千円
・ 無資格者 (150,000円×1/2)×15人=1,125,000円
・ 初任者研修修了者 (120,000円×1/2)×25人=1,500,000円
・ ヘルパー1級修了者 (50,000円×1/2)×5人=125,000円

(2) 実務者研修実施補助 (研修会場使用料への助成) 1,200千円

(3) 福祉人材PR・その他 229千円

- ア 介護の日イベント周知用地元紙広告掲載 50千円
- イ その他 (福祉人材養成システム会議出張旅費、印刷製本費) 179千円

4 主な特定財源

(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金
地域福祉基金 11,792千円

担当課

福祉保健部高齢者福祉課

電話

直通 24-7013 内線 2144

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	生活保護扶助事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1,763,574	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,311,505	22,400		15,900	413,769	1,742,339

1 事業の背景・目的

憲法 25 条に規定する理念に基づき、市民等の健康で文化的な最低限度の生活を保障することで安全で安心な生活を確保し、また自立支援を行うことによって「貧困の再生産」や「貧困の連鎖」の防止を図ります。

2 事業の内容

国民最後のセーフティネットとして、困窮の程度により次に掲げる各扶助を支給するとともに世帯の自立支援を行います。

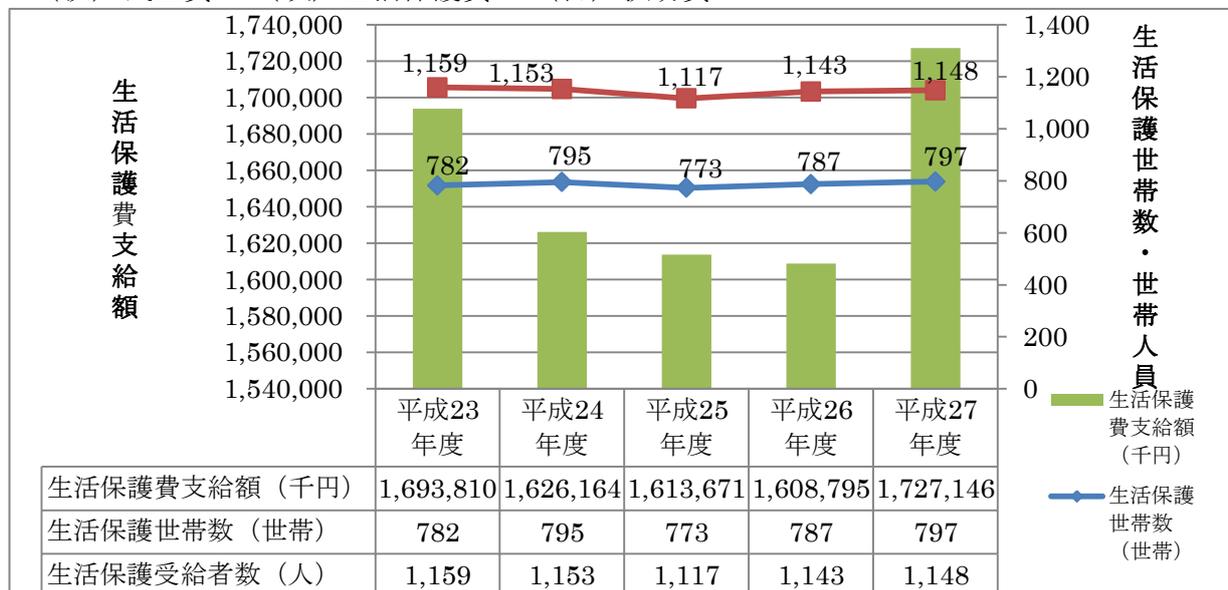
- 保護の種類 ①生活扶助 ②教育扶助 ③住宅扶助 ④医療扶助
⑤介護扶助 ⑥出産扶助 ⑦生業扶助 ⑧葬祭扶助

○保護の要件

生活保護は、保護を必要とされる本人、その扶養義務者又は同居の親族の申請に基づき、審査の上で開始します。また利用し得る資産、能力その他あらゆるものを、最低限度の生活の維持のために活用することを要件とします。

3 事業費の内訳

(款) 民生費 (項) 生活保護費 (目) 扶助費



4 主な特定財源

(款) 国庫支出金 (項) 国庫負担金 (目) 民生費国庫負担金 1,311,505千円
(款) 府支出金 (項) 府負担金 (目) 民生費府負担金 22,400千円
(款) 諸収入 (項) 雑入 (目) 雑入 15,900千円
府負担金は、本市に帰来先がない方(行旅病人等)への保護費のみ対象です。

担当課	福祉保健部社会福祉課	電話	直通 24-7094 内線 2171
-----	------------	----	--------------------

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり																	
事業名	生活困窮者自立支援事業					継続												
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額												
10,030	国	府	市債	その他	一般財源	12,094												
	6,861				3,169													
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>生活困窮者自立支援法が成立し、平成27年4月1日より生活困窮者に対するワンストップ型の相談窓口を開設しています。ここでは「第2のセーフティネット」として、生活保護に至っていない生活困窮者に対し、各支援員が本人の状況に応じて寄り添い「経済的・社会的自立」を支援しています。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>ア 支援対象者</p> <p>福知山市在住の方で、経済的に困窮しており、就労等による自立に向けた支援を希望される方。（既に生活保護を受給されている方は対象外）</p> <p>イ 支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立相談支援事業（必須事業） <ul style="list-style-type: none"> ①生活困窮者からの相談対応と情報提供 ②支援プランに基づく自立支援 ③支援機関との連携と支援ネットワークの構築 ※法的解決支援が必要な場合は、京都司法書士会の支援を受けます。 ・住居確保給付金（必須事業） <p>離職等により経済的に困窮し、住居を失った又はそのおそれがある方に対し、有期で住居確保給付金を支給します。</p> ・就労準備支援事業（任意事業） <p>一般就労に向けた準備として、基礎能力の形成からの支援を実施します。</p> ・一時生活支援事業（任意事業） <p>住居喪失者に対する宿泊場所の提供等を実施します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>（款）民生費（項）社会福祉費（目）社会福祉総務費</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>・旅費</td> <td style="text-align: right;">211千円</td> <td>・需用費</td> <td style="text-align: right;">240千円</td> </tr> <tr> <td>・役務費</td> <td style="text-align: right;">317千円</td> <td>・委託料</td> <td style="text-align: right;">6,772千円</td> </tr> <tr> <td>・使用料及び賃借料</td> <td style="text-align: right;">1,080千円</td> <td>・扶助費</td> <td style="text-align: right;">1,410千円</td> </tr> </table> <p>4 主な特定財源</p> <p>（款）国庫支出金（項）国庫負担金（目）民生費国庫負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者自立支援事業 1,573千円 <p>（款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）民生費国庫補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者自立支援事業等 5,288千円 							・旅費	211千円	・需用費	240千円	・役務費	317千円	・委託料	6,772千円	・使用料及び賃借料	1,080千円	・扶助費	1,410千円
・旅費	211千円	・需用費	240千円															
・役務費	317千円	・委託料	6,772千円															
・使用料及び賃借料	1,080千円	・扶助費	1,410千円															
担当課	福祉保健部社会福祉課		電話	直通 24-7094 内線 2171														

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり				
事業名	みつまた活用調査研究事業				新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)				前年度 予算額
46	国	府	市債	その他	一般財源
					46
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>夜久野町畑の今里地区には日本の紙幣の原料となる「みつまた」が群生しており、その「みつまた」の特産化を図るため、地域住民が「みつまた（三椏）特産研究会」を立ち上げ、現在京都府の「小さな経営革新チャレンジ支援事業」に取り組まれています。</p> <p>この取り組みを京都府と連携して支援していくために、庁内にプロジェクトチームを立ち上げ「みつまた」の活用について調査・研究を行います。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>局納みつまたの生産地等視察研修 ・岡山県岡山市、真庭市 京都府との連携調整（調査研究等）</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>（款）総務費 （項）総務管理費 （目）地域交流推進費 旅費 27千円（視察研修等） 使用料及び賃借料 19千円（高速道路等通行料）</p>					
担当課	地域振興部夜久野支所	電話	直通 37-1103 内線 74-9220		

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	地域間交流促進ネットワーク事業（林道整備）					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
28,000	国	府	市債	その他	一般財源	—
		14,900		11,700	1,400	

1 事業の背景・目的

地方版総合戦略（まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略）として策定した、地域再生計画『北近畿の拠点“福知山”のネットワークを強化する道づくり計画』に基づき、市内の道路網を整備します。

地域間の交流ネットワークの強化を通じて、交通の利便性の向上、地域間交流の促進を進めるとともに、災害時における避難経路の確保、安心・安全な道路環境、観光入込客数の増加を図ることを目的とします。

2 事業の内容

本地域再生計画に位置づけた林道の法面保全等について、地方創生道整備推進交付金により事業を実施します。

計画期間 平成28年度～平成32年度

総事業費 100,000千円（林道分）うち平成29年度28,000千円（林道分）

3 事業費の内訳

（款）農林業費	（項）林業費	（目）林業振興費	
	需用費（消耗品費）		65千円
	委託料（測量・設計業務）		2,706千円
	工事請負費		25,229千円

4 主な特定財源

（款）府支出金	（項）府補助金	（目）農林業費府補助金	14,900千円
	額田大油子線	$18,000千円 \times 55\% = 9,900千円$	
	大江山線	$10,000千円 \times 50\% = 5,000千円$	
（款）市債	（項）市債	（目）その他市債	11,700千円
	公共事業等債	$(28,000千円 - 14,900千円) \times 90\% = 11,700千円$	



林道額田大油子線



林道大江山線

担当課	農林商工部林業振興課	電話	直通 24-7047 内線 4130
-----	------------	----	--------------------

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	6次産業推進事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,254	国	府	市債	その他	一般財源	2,317
		900			1,354	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>米価をはじめとする農産物価格が低迷する中、農業を守るためには農産物に付加価値を付ける6次産業化や販売促進活動の推進による農家所得の向上が必要であり、農産物加工に取り組む組織に対して加工施設整備や販売促進活動の支援を行います。</p> <p>また、福知山産農産物の販路拡大を図るために新たにマーケティング調査を行うとともに、6次産業化に取り組む農家等に対してアドバイザーを派遣します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>1) 6次産業化支援事業</p> <p>農産加工組織などが取り組む加工用設備の導入や販売促進のためのギフト用化粧箱・パンフレット等の製作を支援し、新たな商品開発やブランド化を促進します。</p> <p>【加工施設整備支援】(補助率)30%以内 (上限)300千円</p> <p>【販売促進活動支援】(補助率)50%以内 (上限)200千円</p> <p>2) マーケティング調査事業</p> <p>関西圏(特に京阪神地域)を中心として、福知山産農産物の販路拡大を図るためにマーケティング調査を行います(新規)。</p> <p>3) 6次産業化に取り組む農家等に対するアドバイザー派遣支援事業(新規)</p> <p>すでに6次産業化の取組みを行っている農家等や、これから新しく6次産業化に取り組もうとされる農家等に対してアドバイザーを派遣し、本市における6次産業化の取組みの更なる推進に向けて支援します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款)農林業費 (項)農業費 (目)農業振興費</p> <p>報償費 285千円(アドバイザー謝礼)</p> <p>旅費 169千円(アドバイザー旅費)</p> <p>委託料 800千円(マーケティング調査委託料)</p> <p>補助金 1,000千円(加工施設整備支援補助金他)</p>						
担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044 内線 4121			

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいあるまちづくり					
事業名	中山間地域等直接支払交付事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
126,484	国	府	市債	その他	一般財源	124,070
		93,216			33,268	

1 事業の背景・目的

中山間地域等の農村・農地は、水源かん養機能や洪水防止機能など多面的機能を有しております。その反面、平地に比べて自然的・経済的・社会的な条件の不利な面が多くあり、担い手の減少、耕作放棄地の増加等の問題が深刻となっています。

こうした問題点を低減し、農業生産の維持を通して多面的機能を確保するため、また経済的な格差を補正するため、対象農用地に交付金を交付します。

2 事業の内容

特定農山村法、山村振興法、過疎法など8法で指定された地域および知事特認地域（上豊富、下豊富、佐賀）内の対象農用地に対して交付金を交付します。

交付単価(10a 当たり)

地目	区分	8割単価	10割単価	※超急傾斜 加算
田	急傾斜(傾斜度1/20以上)	16,800円	21,000円	6,000円
	緩傾斜(傾斜度1/100以上)	6,400円	8,000円	
畑	急傾斜(傾斜度15度以上)	9,200円	11,500円	6,000円
	緩傾斜(傾斜度8度以上)	2,800円	3,500円	

※超急傾斜加算は協定農用地の勾配が田で1/10以上、畑で20度以上であり、農地を保全する活動に加えて農産物の販売を促進する活動を実施する必要があります。

単位：ha、千円

地域区分	協定数	協定内訳		農地区分	形状区分	交付対象面積		交付対象面積合計	超急傾斜加算		交付金合計
		10割単価	26			8割単価	37		10割単価	8割単価	
通常地域	63	10割単価	26	田	急傾斜	170	200	370	20	1,200	70,500
					緩傾斜	180	300	480			33,600
		8割単価	37	畑	急傾斜			0			0
					緩傾斜	3	3	6			189
	計	63			353	503	856	20	1,200	104,289	
特認地域	3	10割単価	3	田	急傾斜	100		100			21,000
					緩傾斜			0			0
		8割単価	0	畑	急傾斜			0			0
					緩傾斜			0			0
	計	3			100	0	100	0	0	21,000	
合計	66		66		453	503	956	20	1,200	125,289	

3 事業費の内訳

(款) 農林業費 (項) 農業費 (目) 農業振興費

直接支払交付金 125,289千円
 地図情報システムパソコン使用料 407千円
 その他事務費(自動車借り上げ料、印刷費等) 788千円

4 主な特定財源

中山間地域等支払交付金等 93,216千円(府補助事業)

担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044 内線 4122
-----	------------	----	--------------------

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	多面的機能支払交付事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
183,859	国	府	市債	その他	一般財源	181,914
		138,368			45,491	
<p>1 事業の背景・目的 農村地域の農地や農業用水などの農業生産に欠かせない資源は、その適切な保全・管理が困難になっています。こうした中、地域ぐるみでの効果の高い共同活動と農村環境保全活動、水路・農道等の農業用施設の長寿命化の取り組みを支援します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>1) 農地維持支払及び資源向上支払(共同)交付金 地域ぐるみによる農道、水路等の農業施設の維持管理活動等の支援</p> <p>2) 資源向上支払(長寿命化)交付金 水路、農道等施設の長寿命化(農業用施設の更新、改良工事)活動の支援</p> <p>3) 環境保全型直接支払交付金 地球温暖化防止と環境負荷低減の取組を実施する農家グループ等への支援</p> <p>3 事業費の内訳 (款) 農林業費 (項) 農業費 (目) 農業振興費</p> <p>1) 農地維持支払及び資源向上支払(共同) 取り組み組織 47組織 交付対象面積 1,982ha(田1,897ha、畑85ha) (46+1(見込み)) 交付金 94,039千円</p> <p>2) 資源向上支払(長寿命化) 取り組み組織 39組織 交付対象面積 1,895ha(田1,814ha、畑81ha) (37+2(見込み)) 交付金 81,439千円</p> <p>3) 環境保全型直接支払交付金 取り組み面積 132ha 交付金6,481千円</p> <p>4) 推進事務費 パソコンリース代、需用費等 1,900千円</p> <p>4 主な特定内訳</p> <p>多面的機能支払交付金 136,468千円(府補助事業) 多面的機能支払推進事務交付金 1,800千円(府補助事業) 環境保全型直接支払事務交付金 100千円(府補助事業)</p>						
担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044 内線 4121			

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	小規模企業融資制度				拡充	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
14,581	国	府	市債	その他	一般財源	14,540
				14,581		
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>経済が厳しい状況にある昨今、日々の経営安定を図るために必要とする事業資金を金融機関から借り受ける小規模事業者を支援することで産業の活性化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とします。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 金融機関への利子補填「マル福」【縮小】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成19年4月1日から平成29年3月31日までに利用した京都府の小規模企業おうえん融資の金利のうち0.5%分を市が負担します。しかし、京都府の金利が1.7%から1.2%に引き下げられ、小規模企業の負担が少ない低金利融資制度になったことから、平成29年4月1日以降の新規融資にかかる0.5%分の利子補填については廃止します。 <p>(2) 企業者への利子補給</p> <ul style="list-style-type: none"> 京都府の小規模企業おうえん融資の利用事業者に6か月分の利子相当額を全額補給（「マル福」利用者への利子補給） 日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金融資の利用事業者に6か月分の利子相当額を全額補給（「マル経」利用者への利子補給） 京都府の小規模企業おうえん融資を取り扱えない金融機関（但馬銀行、但馬信用金庫、中兵庫信用金庫）の融資を利用する小規模事業者に6か月分の利子相当額（上限75千円）を全額補給【拡充】 <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 商工費 (項) 商工費 (目) 商工業振興費</p> <p>(1) 金融機関への利子補填「マル福」</p> <p>負担金補助及び交付金 8,819千円</p> <p>(2) 企業者への利子補給</p> <p>負担金補助及び交付金 5,762千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 「マル福」利用者への利子補給 4,769千円 「マル経」利用者への利子補給 543千円 「マル福」を取り扱えない3金融機関の融資利用者への利子補給 450千円 <p>4 主な特定財源</p> <p>地域振興基金繰入金 14,581千円</p>						
担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075 内線 4143			

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり																													
事業名	内宮参道活性化事業					新規																								
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																								
3,160	国	府	市債	その他	一般財源	-																								
					3,160																									
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>本市の農山村地域では、人口減少、高齢化、空き家の増加が進行し、共同作業の困難化、農林業の衰退、生活環境の悪化など、集落機能の低下や担い手不足が重要課題となっています。また一方では、従来の都会中心の価値観や社会情勢の変化により、農山村地域への移住志向も高まってきており、こうした中、都市部より移住し地域協力活動を行う地域おこし協力隊を配置し、地域課題の解決や地域の維持・活性化を図るとともに、地域住民と協働して地域活性化に寄与する人材を育成します。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>地域おこし協力隊を配置し、地域協力活動を支援します。(1名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の交流拠点を活かしたまちづくり活動、域内外の人的交流の推進及び移住促進に向けた取組み。 ・移住希望者への情報発信、相談及び支援 ・元伊勢参道を中心とした観光資源の発掘、滞在型観光の企画及び情報発信 ・地域内の空き家等の利活用の促進 <p>3 事業費の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>(款) 総務費</td> <td>(項) 総務管理費</td> <td>(目) 地域交流推進費</td> </tr> <tr> <td>○報酬</td> <td>2,200千円</td> <td>(200千円×11月)</td> </tr> <tr> <td>○旅費</td> <td>56千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○需用費</td> <td>224千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○役務費</td> <td>35千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○使用料及び賃借料</td> <td>610千円</td> <td>(パソコン・住居・車両等賃借料)</td> </tr> <tr> <td>○備品購入費</td> <td>15千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○負担金補助及び交付金</td> <td>20千円</td> <td></td> </tr> </table>							(款) 総務費	(項) 総務管理費	(目) 地域交流推進費	○報酬	2,200千円	(200千円×11月)	○旅費	56千円		○需用費	224千円		○役務費	35千円		○使用料及び賃借料	610千円	(パソコン・住居・車両等賃借料)	○備品購入費	15千円		○負担金補助及び交付金	20千円	
(款) 総務費	(項) 総務管理費	(目) 地域交流推進費																												
○報酬	2,200千円	(200千円×11月)																												
○旅費	56千円																													
○需用費	224千円																													
○役務費	35千円																													
○使用料及び賃借料	610千円	(パソコン・住居・車両等賃借料)																												
○備品購入費	15千円																													
○負担金補助及び交付金	20千円																													
担当課	地域振興部 移住・企業立地推進課	電話	直通 24-9174 内線 4163																											

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	移住・定住促進事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
18,293	国	府	市債	その他	一般財源	8,539
	2,048	6,978		9,267		7,652 [※]
※H27前倒し計上した予算額を示す。						
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>全国的な少子高齢化や人口減少による地域の担い手不足等により地域経済や活力が低下する中、地域の持続性の確保が課題となっています。</p> <p>住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくりを進めるとともに、若年層や子育て世代等の交流・移住を促進し、定住人口の増加による地域振興を図ります。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 移住希望者、移住者に関する支援・情報発信等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住宅支援金 (@30千円×12月×15組=5,400千円) 移住者が居住する賃貸住宅の家主に対して、月額30千円を上限に家賃を1年間交付します。 ○雇用奨励金 (@40千円×12月×8組=3,840千円) 移住者の雇用主に対し月額40千円を1年間交付します。 ○移住希望者向け情報発信 (情報誌作成・HP維持管理:844千円) ○移住体験ツアー (547千円) ○回帰フェア、移住セミナー等 (597千円) <p>(2) 受入地域支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域連携施設 (シェアハウス等) の開設に関する支援 (2,000千円) <p>(3) 事務経費 (969千円)</p> <p>(4) 地域連携都市圏負担金 (4,096千円)</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 地域交流推進費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 390千円 ○需用費 346千円 ○役務費 107千円 ○委託料 1,247千円 ○使用料及び賃借料 867千円 ○負担金補助及び交付金 15,336千円 <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 総務費国庫補助金 移住・定住促進事業 (地方創生推進交付金) 2,048千円</p> <p>(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 総務費府補助金 移住・定住促進事業 (みらい戦略一括交付金) 6,978千円</p> <p>(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金 移住・定住促進事業基金繰入 (地域振興基金) 9,027千円</p>						
担当課	地域振興部 移住・企業立地推進課		電話	直通 24-9174 内線 4163		

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	農山村空き家バンク事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
12,432	国	府	市債	その他	一般財源	5,300
		6,216		6,216		
<p>1 事業の背景・目的 本市の農山村地域では、過疎高齢化の進行により地域の担い手不足が深刻化し、集落活動の維持が困難になりつつあります。 このような集落内にある空き家等の利活用の促進により定住者を確保し、地域の維持・活性化を図ります。</p> <p>2 事業の内容 「福知山市農山村地域空き家バンク制度要綱」に基づき、空き家等の情報を登録し、利用希望者へ提供するとともに利活用促進のための支援を行います。</p> <p>(1) 契約仲介手数料支援補助金 ○補助率1/2以内（上限：売買（買主）200千円、賃貸（借主）50千円）</p> <p>(2) 空き家清掃等支援補助金 ○補助率1/2以内（上限100千円）</p> <p>(3) 空き家改修補助金 ア 市単独事業分 ○補助率1/2（上限1,000千円） イ 京都府移住促進特別条例に基づく移住促進特別区域 ○補助率10/10（上限1,800千円）</p> <p>3 事業費の内訳 （款）総務費 （項）総務管理費 （目）地域交流推進費</p> <p>(1) 旅 費 57千円 (2) 需用費 465千円 (3) 役務費 260千円 (4) 負担金補助及び交付金 11,650千円 ○契約仲介手数料支援補助金 1,250千円 （売買：200千円×5件、賃貸50千円×5件） ○空き家清掃費等支援補助金 1,000千円（100千円×10件） ○空き家改修補助金 9,400千円 （市単独：1,000千円×4件、特別区域：1,800千円×3件）</p> <p>4 主な特定財源 （款）府支出金 （項）府補助金 （目）総務費府補助金 移住者受入体制強化事業（移住促進特別条例） 2,700千円 農山村空き家バンク事業（みらい戦略一括交付金） 3,516千円 （款）繰入金 （項）基金繰入金 （目）基金繰入金 農山村空き家バンク事業基金繰入（地域振興基金） 6,216千円</p>						
担当課	地域振興部 移住・企業立地推進課		電話	直通 24-9174 内線 4163		

政策名	行財政効率の高いまちづくり																																	
事業名	議会ICT化推進事業					新規																												
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																												
3,168	国	府	市債	その他	一般財源	—																												
				825	2,343																													
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>地方分権の進捗に伴い、地方議会の機能強化や情報公開が求められる中、市議会では、これまでに会議録検索閲覧システム、本会議、委員会等のライブ中継・録画配信、ホームページのリニューアルなど、段階的にICT化（情報通信技術）を進めてきました。</p> <p>本市議会が目指す市民に身近で開かれた議会を実現するためには、議会のICT化をさらに発展させ、議会運営の効率化と議会の機能強化を図ることが重要となります。その一環として、平成29年度にタブレット端末を試行導入し、各種会議、住民説明等に活用、また議会資料等のペーパーレス化などを行い、その有効性や費用対効果の検証を行います。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) タブレット端末34台（議員26台、事務局8台）の導入 (2) 文書共有・会議システムの導入 (3) 議員用グループウェアの導入</p> <p>3 事業費の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>(款)議会費</td> <td>(項)議会費</td> <td>(目)議会費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・タブレット端末通信費（本体費用含む）</td> <td></td> <td></td> <td>2,364千円</td> </tr> <tr> <td>・文書共有・会議システム使用料</td> <td></td> <td></td> <td>573千円</td> </tr> <tr> <td>・議員用グループウェア使用料</td> <td></td> <td></td> <td>110千円</td> </tr> <tr> <td>・タブレット端末管理システム使用料</td> <td></td> <td></td> <td>121千円</td> </tr> </table> <p>4 主な特定財源</p> <table border="0"> <tr> <td>(款)諸収入</td> <td>(項)雑入</td> <td>(目)雑入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・タブレット端末通信費議員負担金</td> <td></td> <td></td> <td>825千円</td> </tr> </table> <p>通信費の費用負担割合 ・・・公費負担50%、議員負担50%</p>							(款)議会費	(項)議会費	(目)議会費		・タブレット端末通信費（本体費用含む）			2,364千円	・文書共有・会議システム使用料			573千円	・議員用グループウェア使用料			110千円	・タブレット端末管理システム使用料			121千円	(款)諸収入	(項)雑入	(目)雑入		・タブレット端末通信費議員負担金			825千円
(款)議会費	(項)議会費	(目)議会費																																
・タブレット端末通信費（本体費用含む）			2,364千円																															
・文書共有・会議システム使用料			573千円																															
・議員用グループウェア使用料			110千円																															
・タブレット端末管理システム使用料			121千円																															
(款)諸収入	(項)雑入	(目)雑入																																
・タブレット端末通信費議員負担金			825千円																															
担当課	市議会事務局	電話	直通 24-7031 内線 5312																															



政策名	行財政効率の高いまちづくり					
事業名	新地方公会計制度導入支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,676	国	府	市債	その他	一般財源	17,715
					2,676	

1 事業の背景・目的

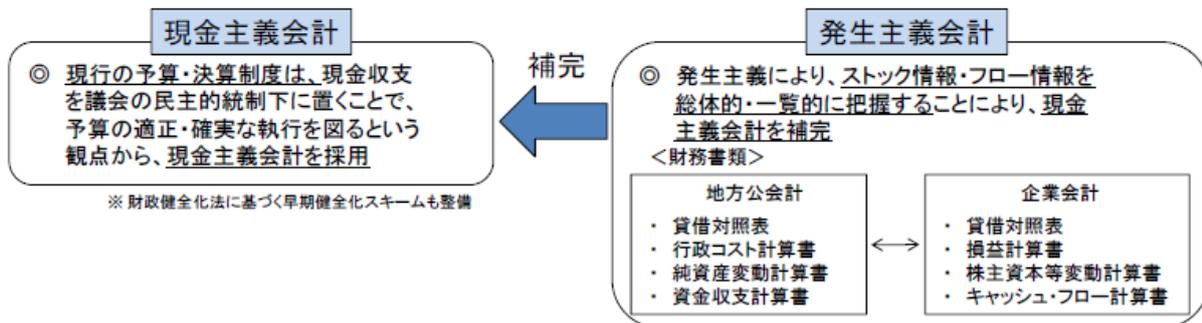
平成27年度から平成29年度までの3年間で、全ての地方公共団体において、「統一的な基準による」財務書類等を作成する要請が総務省より通知されています。総務省の要請に基づき、新制度による財務書類等の作成を行い、公共施設マネジメント等に積極的に活用します。

2 事業の内容

- (1) 新地方公会計制度支援業務 2,500千円
複式簿記等の専門的な知識が必要となる作業において、会計士の立場から指導・助言等の支援を行い、財務書類の精度向上を図る。
- (2) 地方公会計システム保守経費 156千円
総務省より提供されるシステムのみドルウェア保守経費
- (3) 庁用備品 20千円
データバックアップ用HDD

3 事業費の内訳

- (款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 財政管理費
- 委託料 2,656千円
- 備品購入費 20千円



担当課	財務部財政課	電話	直通 24-7035 内線 3322
-----	--------	----	--------------------

政策名	行政効率の高いまちづくり					
事業名	第三セクター等改革推進債償還基金積立事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
186,864	国	府	市債	その他	一般財源	189,875
				186,864		

1 事業の背景・目的

平成24年9月の土地開発公社解散に伴い、土地開発公社が借入っていた資金を福知山市が各金融機関に対して、代位弁済4,996百万円を行いました。そのうち、2,996百万円については、第三セクター等改革推進債を発行し清算しました。

2 事業の内容

土地開発公社解散で福知山市が継承した土地について、利活用を進め、土地貸付収入や土地売払収入を財源に第三セクター等改革推進債償還基金に一旦積立を行い定期償還分とは別に、繰り上げ償還分に対して基金を充当し償還を進めるものです。これにより繰上償還に係る財源の明確化と将来負担の軽減が図られます。

3 事業費の内訳

【参考】 第三セクター等改革推進債 借入額:2,996,200千円 借入利率:0.334%

【当初償還計画】

(単位:千円)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	計
元 金	0	295,141	274,200	250,408	222,959	190,648	151,552	102,309	36,206	36,328	36,449	1,596,200
利 息	0	9,926	8,125	6,561	5,079	3,694	2,421	1,288	334	213	91	37,732
計	0	305,067	282,325	256,969	228,038	194,342	153,973	103,597	36,540	36,541	36,540	1,633,932
繰上償還額	0	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	0	0	0	1,400,000
計画繰上償還累計額		200,000	400,000	600,000	800,000	1,000,000	1,200,000	1,400,000				
年度末残高	2,996,200	2,501,059	2,026,859	1,576,451	1,153,492	762,844	411,292	108,983	72,777	36,449	0	

【修正後償還計画】

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	計
元 金	0	295,141	263,237	249,291	217,596	185,267	150,127	100,878	44,738	44,887	45,037	1,596,199
利 息	0	9,926	7,800	6,532	4,957	3,589	2,399	1,270	412	263	113	37,261
計	0	305,067	271,037	255,823	222,553	188,856	152,526	102,148	45,150	45,150	45,150	1,633,460
繰上償還額	0	300,000	120,000	230,000	230,000	180,000	180,000	160,000	0	0	0	1,400,000
繰上償還実績累計額		300,000	420,000	650,000	880,000	1,060,000	1,240,000	1,400,000				
年度末残高	2,996,200	2,401,059	2,017,822	1,538,531	1,090,935	725,668	395,541	134,663	89,925	45,038	1	

4 主な特定財源

(款) 財産収入 (項) 財産運用収入 (目) 財産貸付収入
公社継承土地貸付収入等 104,864千円

(款) 財産収入 (項) 財産売払収入 (目) 不動産売払収入
公社継承土地売払収入 82,000千円

担当課	財務部財政課	電話	直通 24-7035 内線 3322
-----	--------	----	--------------------

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	国民健康保険事業特別会計				継続	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
9,267,100	国	府	市債	その他	一般財源	9,352,000
	1,641,538	375,424		7,250,138		

1 事業の背景・目的

職場の健康保険や後期高齢者医療制度など他の医療保険に加入していない全ての市民を対象に、法律に基づき国民健康保険事業を運営しています。

国民健康保険の保険者として、保険給付をはじめ被保険者の健康保持・増進のための保健事業、これらの事業の財源に充てるための保険料の賦課・徴収などを行います。

2 事業の内容

【主な事業】

○保険料の賦課・徴収

医療費支出に対応する保険料の賦課については、被保険者数の減少により保険料の収入増が見込めない一方、一人当たりの医療費は増高しており国保財政は厳しい状況ではありますが、平成30年度からの国保広域化により府内全域で保険料率等の見直しが行われることを見据え、本市においても必要に応じて平成30年度に保険料率等の改定を行うこととし、今年度については保険料率等を据え置くこととします。

○国保人間ドック事業 予算額：20,848千円（28年度比 2,339千円減）

対 象 保険料滞納がない世帯で、受診日に満30歳以上の国民健康保険被保険者

受診見込人員 950人（28年度比 50人増）

人間ドック費用 36,228円

自己負担額 14,600円

受診方法 市内の指定医療機関で受診

○特定健康診査等事業 予算額：60,421千円

対 象 受診日に満40歳以上の国民健康保険被保険者

受診見込人員 4,100人（集団1,300人、個別2,800人）（28年度見込と同数）

自己負担額 500円 ※70歳以上、非課税世帯、40歳（新規）は無料

受診方法 集団健診（各保健福祉センター・地域公民館など）

個別健診（市内の指定医療機関）

3 事業費の内訳 計 9,267,100千円 ()内%は予算構成比率

総務費（人件費、物件費） 159,444千円（1.7%）

保険給付費 5,808,259千円（62.7%）

後期高齢者支援金、介護納付金など 1,154,172千円（12.5%）

共同事業拠出金 1,982,541千円（21.4%）

保健事業費（国保検診ほか） 96,230千円（1.0%）

その他 16,454千円（0.2%）

予備費 50,000千円 (0.5%)

4 主な特定財源 () 内%は予算構成比率

保険料(税)	1,440,497千円	(15.5%)
国庫支出金	1,641,538千円	(17.7%)
療養給付費交付金	142,833千円	(1.5%)
前期高齢者交付金	2,963,155千円	(32.0%)
京都府支出金	375,424千円	(4.0%)
共同事業交付金	1,949,203千円	(21.0%)
一般会計繰入金	738,108千円	(8.0%)

担当課

市民人権環境部保険課

電話

直通 24-7015・24-7019
内線 2261、2265

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり																					
事業名	国民健康保険診療所費特別会計					継続																
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																
47,400	国	府	市債	その他	一般財源	50,400																
				47,400																		
<p>1 事業の背景・目的 過疎化・高齢化が進んだ山間地域において、国民健康保険の被保険者の診療やその他の便益を図り、住民の健康を保持増進するために国民健康保険雲原診療所を設置運営します。</p> <p>2 事業の内容 市立福知山市民病院からの医師派遣により診療（往診）を行ないます。 診療日時 毎週月曜日・水曜日・金曜日 10時～12時/13時～14時30分（往診）</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>歳入</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">診療所収入</td> <td style="text-align: right;">32,276千円</td> </tr> <tr> <td>国保特別会計繰入金</td> <td style="text-align: right;">8,584千円</td> </tr> <tr> <td>一般会計繰入金</td> <td style="text-align: right;">6,383千円</td> </tr> <tr> <td>その他（手数料・雑入）</td> <td style="text-align: right;">157千円</td> </tr> </table> <p>歳出</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">診療所管理費</td> <td style="text-align: right;">28,632千円</td> </tr> <tr> <td>医業諸費</td> <td style="text-align: right;">17,686千円</td> </tr> <tr> <td>元利償還金</td> <td style="text-align: right;">82千円</td> </tr> <tr> <td>予備費</td> <td style="text-align: right;">1,000千円</td> </tr> </table> <p>4 主な特定財源 国民健康保険調整交付金</p>							診療所収入	32,276千円	国保特別会計繰入金	8,584千円	一般会計繰入金	6,383千円	その他（手数料・雑入）	157千円	診療所管理費	28,632千円	医業諸費	17,686千円	元利償還金	82千円	予備費	1,000千円
診療所収入	32,276千円																					
国保特別会計繰入金	8,584千円																					
一般会計繰入金	6,383千円																					
その他（手数料・雑入）	157千円																					
診療所管理費	28,632千円																					
医業諸費	17,686千円																					
元利償還金	82千円																					
予備費	1,000千円																					
担当課	市民人権環境部保険課	電話	直通 24-7019 内線 2265																			

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	休日急患診療所費特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
22,900	国	府	市債	その他	一般財源	23,100
				22,900		
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>休日において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診療を提供することにより市民が安心して生活できる環境を整備するため、昭和52年から一般社団法人福知山医師会、福知山薬剤師会の協力を得て、福知山市休日急患診療所を実施しています。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 診療科目 内科・小児科</p> <p>(2) 診療日 日曜日、祝日、12月30日～1月3日(年間71日開設)</p> <p>(3) 診療時間 午前9時～午後0時30分、午後1時30分～午後6時</p> <p>3 事業費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務管理費 8,296千円 ・医業費 14,085千円 ・公債費利子 19千円 ・予備費 500千円 <p>4 主な特定財源</p> <p>(款) 診療収入 (項) 診療収入 (目) 診療収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療収入(窓口) 1,921千円 ・社保支払基金 7,883千円 ・国保連合会診療報酬 3,309千円 ・福祉医療給付金 3千円 <p>(款) 使用料及び手数料 (項) 手数料 (目) 文書料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診断書及び証明書手数料 1千円 <p>(款) 繰入金 (項) 繰入金 (目) 他会計繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会計繰入金 9,783千円 						
担当課	福祉保健部健康推進室	電話	直通 23-2788 内線 6232			

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	介護保険事業特別会計					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
8,451,200	国	府	市債	その他	一般財源	
	2,063,636	1,193,393		5,194,171		8,106,600

1 事業の背景・目的

平成12年度からスタートした介護保険制度は、介護を社会全体で支える仕組みとして定着してきました。

しかし、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者の増加、介護や支援を必要とする方の増加による給付費の増大など、様々な情勢の変化から制度の見直しを迫られ、軽度者向けサービスの一部の介護給付から市町村の地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）への移行、在宅医療・介護連携、認知症施策の推進などの国の制度改正が行われました。

このような流れを受けて、本市でも介護予防・日常生活支援総合事業への対応、在宅医療介護連携の推進、認知症初期対応の充実、高齢者の生活を地域で支える取組の推進などを実施します。また、一定以上所得のある利用者の自己負担の引き上げや保険料算定方法の一部見直しなどの国の制度改正にも対応しながら、引き続き第1号被保険者（65歳以上の方）の保険料賦課徴収、介護認定、各種負担軽減制度の実施、介護保険制度の周知、地域密着型サービス事業所の指定・指導、介護給付費の支払い、福祉用具・住宅改修の許可など様々なサービスの提供やそれに関連する事務を着実に実施します。

2 事業の内容

- (1) 一般管理費 ・介護保険運営にかかる事務費、人件費
- (2) 賦課徴収費 ・介護保険料の賦課徴収にかかる事務費、人件費
- (3) 介護認定審査会費 ・介護認定にかかる事務費、人件費
- (4) 保険給付費 ・介護給付費として、国保連合会等に支払う経費
- (5) 介護予防・生活支援サービス事業費
 - ・軽度の介護を要する高齢者への自立支援、生活支援に係る経費
- (6) 包括的支援事業・任意事業費
 - ・地域包括支援センター運営、在宅医療介護連携、認知症施策推進、生活支援・介護予防サービス基盤整備、介護用品、安心生活見守り、配食サービスなどの事業にかかる経費
- (7) 基金積立金 ・介護給付費準基金利子の積立
- (8) 公債費 ・一時借入金利子
- (9) 償還金及び還付加算金 ・第1号被保険者保険料還付金
- (10) 予備費 ・緊急対応時に備えた予算

主な新規・拡充事業について

(款) 地域支援事業 (項) 介護予防・生活支援サービス事業費 (目) 介護予防・生活支援サービス事業費

区分 新規	事業名 介護予防・生活支援サービス事業 (129,244千円)
-------	---------------------------------

事業の内容

国の介護保険制度の改正に伴い平成29年度から要支援者等を対象とした訪問介護サービス、通所介護サービスが市の地域支援事業に移行します。要支援者等の状態等にあわせて、生活の支援や生活機能の向上に資するサービスを提供します。

<実施するサービス>

- (1) 訪問介護相当サービス
- (2) 訪問型サービスA (基準緩和)
- (3) 通所介護相当サービス
- (4) 短期集中介入サービスC (訪問型サービス+通所型サービス)

区分 新規	事業名 介護予防普及啓発事業 (6,999千円)
-------	--------------------------

事業の内容

国の介護保険制度の改正に伴い、介護リスクや年齢にかかわらず、全ての高齢者を対象とした「一般介護予防事業」を地域において展開します。介護予防・認知症予防を広く普及啓発し、地域と連携する取り組みを通じて、高齢者が要支援や要介護状態になることを可能な限り予防していきます。

<実施する事業>

- (1) 普及啓発事業
 - ・普及啓発用のパンフレット等の作成・配付
 - ・介護予防に係る基本的知識を普及するための講演会等の開催
 - ・運動、栄養、口腔、認知症予防に関する講座の開催
- (2) 集約型事業
 - ・中学校区に交流拠点を設置し、健康体操、レクリエーション等の実施

(款) 地域支援事業 (項) 包括的支援事業・任意事業費 (目) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費

区分 拡充	事業名 生活支援・介護予防サービス基盤整備事業 (11,615千円)
-------	------------------------------------

事業の内容

介護や支援が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる「地域包括ケアシステム」の構築が課題となっています。そこで地域での生活支援や介護予防サービスの基盤整備を実施します。

(1) 地域支援コーディネーターの配置 (新規)

地域における高齢者の日常生活の支援や介護予防の場づくりの検討等を行うために、一部の中学校区でモデル的にコーディネーターの配置を行います。

(2) 生活支援コーディネーターの取組

各中学校区のコーディネーターを統括するとともに、それぞれの地域でワークショップの開催等を通じて、地域の支え合い、介護予防の気運醸成を行うコーディネーター活動を行います。

(3) その他生活支援・介護予防サービスの基盤整備

高齢者対策協議会の生活支援サービス検討部会で、地域での生活支援サービスのあり方の検討を行うほか、地域における資源把握等を進めます。

3 事業費の内訳	
(1) 一般管理費	191,156千円
(2) 賦課徴収費	23,031千円
(3) 介護認定審査会費	55,495千円
(4) 保険給付費	7,866,347千円
(5) 介護予防・生活支援サービス事業費	141,763千円
(6) 包括的支援事業・任意事業費	161,001千円
(7) 基金積立金	173千円
(8) 公債費	44千円
(9) 償還金及び還付加算金	2,190千円
(10) 予備費	10,000千円
計	8,451,200千円

4 主な特定財源	
介護保険料（現年度分）	1,583,791千円
介護保険料（滞納繰越分）	5,022千円
督促手数料他	301千円
介護給付費国庫負担金	1,418,952千円
調整交付金	530,978千円
国庫補助金（介護予防・日常生活支援総合事業）	42,516千円
国庫補助金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）	69,053千円
国庫補助金（その他）	2,137千円
支払基金交付金	2,250,195千円
介護給付費府負担金	1,137,610千円
府補助金（介護予防・日常生活支援総合事業）	21,258千円
府補助金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）	34,525千円
財産収入	173千円
一般会計繰入金（給付）	1,055,303千円
一般会計繰入金（その他）	222,621千円
準備基金繰入金	75,573千円
延滞金	200千円
雑入	992千円
計	8,451,200千円

担当課	福祉保健部高齢者福祉課	電話	直通 24-7013 内線 2144
-----	-------------	----	--------------------

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	介護サービス事業勘定（介護保険事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
21,600	国	府	市債	その他	一般財源	22,400
				21,600		
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>高齢化が進み、要支援認定者（介護予防サービス対象者）が増加傾向にあります。この要支援者を対象にした介護予防サービスの介護予防ケアプラン作成については、地域包括支援センターが受け、直轄で作成を行う分と、その他の居宅介護支援事業所に委託する分があります。この介護予防ケアプラン作成等にかかる経費の予算計上を行います。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>地域包括支援センターにおいて介護予防ケアプランを作成します。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>（款）総務費 （項）総務管理費 （目）一般管理費</p> <p>(1) 地域包括支援センター運営事業 5,078千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費 176千円、役務費 559千円、委託料 876千円 使用料及び賃借料 3,467千円 <p>(2) 地域包括支援センター運営事業（人件費） 8,885千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘱託職員 3名分 <p>（款）事業費 （項）居宅介護支援事業費 （目）居宅介護支援事業費</p> <p>(1) 介護予防サービス計画作成事業 7,436千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターで受けるプラン作成のうち、居宅介護支援事業所への委託料 <p>（款）基金積立金 （項）基金積立金 （目）介護サービス事業基金積立金</p> <p>(1) 基金積立金 90千円</p> <p>（款）公債費 （項）公債費 （目）利子</p> <p>(1) 一時借入金 11千円</p> <p>（款）予備費 （項）予備費 （目）予備費</p> <p>(1) 予備費 100千円</p> <p>4 主な特定財源</p> <p>（款）サービス収入 （項）予防給付費収入（目）居宅支援サービス計画費収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サービス計画作成料 13,915千円 <p>（款）財産収入 （項）財産運用収入 （目）利子及び配当金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス事業基金利子 90千円 <p>（款）繰入金 （項）基金繰入金 （目）介護サービス事業基金繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター運営事業 7,595千円 						
担当課	福祉保健部高齢者福祉課	電話	直通 24-7013 内線 2151			

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり																			
事業名	後期高齢者医療事業特別会計				継続															
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額														
1,934,400	国	府	市債	その他	一般財源	1,862,700														
				1,934,400																
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>75歳以上の高齢者を対象とした医療保険制度です。京都府後期高齢者医療広域連合が保険者の役割を果たし、高齢者の医療の確保に関する法律第48条に規定する後期高齢者医療の事務を行います。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>(1) 一般管理費 ・後期高齢者医療事業運営に係る一般経費</p> <p>(2) 一般管理費(人件費) ・後期高齢者医療事業運営に係る人件費</p> <p>(3) 後期高齢者医療保険料徴収事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府広域連合が賦課を行った保険料を市が徴収します。 <p>(4) 後期高齢者医療広域連合納付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府後期高齢者医療広域連合規約に基づき算出された納付金を納めます。 <p>① 共通経費</p> <p>広域連合の組織運営に要する事務費負担金</p> <p>② 保険料納付金</p> <p>特別徴収、普通徴収により徴収した保険料負担金</p> <p>③ 保険基盤安定負担金</p> <p>低所得者等の保険料軽減分を公費補填する負担金</p> <p>④ 療養給付費負担金</p> <p>療養の給付に要する負担金</p> <p>(5) 後期高齢者医療保健事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾病の予防、早期発見、早期治療により医療費を抑制します。 <p>(6) 後期高齢者医療人間ドック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾病の予防、早期発見、早期治療により医療費を抑制します。 <p>(7) 公債費 ・一時借入金の利子</p> <p>(8) 保険料還付金 ・保険料の還付金</p> <p>(9) 予備費 ・緊急対応時に備えた予算</p> <p>3 事業費の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">(1) 一般管理費</td> <td style="text-align: right;">9,534千円</td> </tr> <tr> <td>(2) 一般管理費(人件費)</td> <td style="text-align: right;">19,150千円</td> </tr> <tr> <td>(3) 後期高齢者医療保険料徴収事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・旅費</td> <td style="text-align: right;">14千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・需用費</td> <td style="text-align: right;">431千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・役務費</td> <td style="text-align: right;">2,494千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・委託料</td> <td style="text-align: right;">519千円</td> </tr> </table>							(1) 一般管理費	9,534千円	(2) 一般管理費(人件費)	19,150千円	(3) 後期高齢者医療保険料徴収事業		・旅費	14千円	・需用費	431千円	・役務費	2,494千円	・委託料	519千円
(1) 一般管理費	9,534千円																			
(2) 一般管理費(人件費)	19,150千円																			
(3) 後期高齢者医療保険料徴収事業																				
・旅費	14千円																			
・需用費	431千円																			
・役務費	2,494千円																			
・委託料	519千円																			

(4) 後期高齢者医療広域連合納付金	
・ 共通経費負担金	22,105千円
・ 療養給付費負担金	854,411千円
・ 保険基盤安定負担金	253,348千円
・ 保険料等負担金	731,164千円
(5) 後期高齢者医療保健事業	
・ 賃金	947千円
・ 需用費	206千円
・ 役務費	805千円
・ 委託料	25,424千円
・ 使用料及び賃借料	12千円
(6) 後期高齢者医療人間ドック事業	
・ 需用費	84千円
・ 役務費	117千円
・ 委託料	9,216千円
(7) 公債費	103千円
(8) 保険料還付金	1,316千円
(9) 予備費	3,000千円

4 主な特定財源

・ 特別徴収	456,258千円
・ 普通徴収	252,866千円
・ 普通徴収（過年度分）	1,571千円
・ 証明手数料	1千円
・ 督促手数料	135千円
・ 一般会計繰入金	1,184,081千円
・ 延滞金	213千円
・ 保険料還付金	1,316千円
・ 雑入	17,703千円
・ 繰越金	20,256千円

担当課

市民人権環境部保険課

電話

直通 24-7018 内線 2145

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	病院事業（病院事業会計）					拡充
予算額	財源内訳					前年度 予算額
14,801,055	国	府	市債	その他	一般財源	13,477,200
	9,700	32,650	156,900	14,601,805		

1 事業の背景・目的

市民病院は地域の中核病院として、福知山市域のみならず広域化する医療ニーズに対応するため、医師、看護師等の医療スタッフの確保と医療機能の充実に努めてまいります。また、放射線治療装置更新にむけて、建屋の建設に着手いたします。

大江分院では訪問看護や訪問診療などの在宅医療を推進し、高齢化社会における地域に根ざした医療の提供を推進します。さらに、市民病院と連携しながら総合診療専門医の育成施設として、魅力ある病院づくりを進めるとともに、運営の合理化・効率化により安定経営を目指します。



2 事業の内容

【主な事業】

◆市民病院

◎施設整備事業

①事業の概要

新リニアック棟建設工事

②総事業費

287,996千円 うち29年度分121,534千円

建設費	270,000千円	108,000千円
設計費	10,476千円	10,476千円
工事監理費	7,020千円	2,808千円
事務費	500千円	250千円

◎医療機器等整備事業

①事業の概要

医療情報システム（電子カルテ）の更新

医療用画像管理システム（PACS）の更新

②総事業費 1,123,722千円

◆大江分院

◎医療機器等整備事業

①事業の概要

訪問看護システムの更新

エアーマットの 신설

②総事業費 2,787千円

3 その他

《継続費》

款	項	事業名	総額(千円)	年度	年割額(千円)
1 資本的支出	1 建設改良費	新リニアック棟 建設事業	270,000	29	108,000
				30	162,000

《債務負担行為》

事項	期間	限度額(千円)
リニアック装置整備事業	平成29年度から 平成30年度まで	820,800
新リニアック棟建設 工事監理業務	平成29年度から 平成30年度まで	7,020



担当課

市民病院事務部総務課

電話

代表 22-2101 内線 2211

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり																														
事業名	農業集落排水施設事業（農業集落排水施設事業特別会計）				継続																										
予算額(千円)	財源内訳(千円)				前年度 予算額																										
972,800	国	府	市債	その他	一般財源																										
		12,450	180,400	779,950																											
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>農山村地域における用排水の水質保全、生活環境の改善を図るため、市内21地区で運営している農業集落排水施設事業の処理場、マンホールポンプ（311箇所）、管渠など各施設の適正な維持管理に努めます。</p> <p>また、人口減少等により計画水量に対して余裕の生じた農業集落排水施設の北有路地区に三河地区を、井田額田地区に今西中地区を統合し、維持管理経費の縮減を図ります。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>【主な事業】</p> <p>（1）施設管理事業 農業集落排水施設中六人部地区施設管理事業ほか市内全21地区（簡易排水1地区を含む。）の農業集落排水施設の維持管理等</p> <p>（2）農業集落排水施設統合事業 北有路地区、井田額田地区</p> <p>3 事業費の内訳</p> <p>【主な事業】</p> <p>（1）施設管理事業</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>施設管理費</td> <td style="text-align: right;">415,184千円</td> </tr> <tr> <td>（内訳）需用費</td> <td style="text-align: right;">70,029千円（光熱水費・修繕料等）</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">204,571千円（処理施設維持管理業務等）</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">66,364千円（管きよ移設工事等）</td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td style="text-align: right;">14,962千円（汚泥処理負担金等）</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">59,258千円（直営経費）</td> </tr> </table> <p>（2）施設統合事業</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>築造費</td> <td style="text-align: right;">33,400千円</td> </tr> <tr> <td>（内訳）工事請負費</td> <td style="text-align: right;">33,400千円（統合関連工事）</td> </tr> </table> <p>4 主な特定財源</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・集落排水使用料</td> <td style="text-align: right;">193,320千円</td> </tr> <tr> <td>・一般会計繰入金</td> <td style="text-align: right;">530,711千円</td> </tr> <tr> <td>・集落排水事業債</td> <td style="text-align: right;">180,400千円</td> </tr> <tr> <td>・集落排水府補助金</td> <td style="text-align: right;">12,450千円</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td style="text-align: right;">55,919千円</td> </tr> </table>						施設管理費	415,184千円	（内訳）需用費	70,029千円（光熱水費・修繕料等）	委託料	204,571千円（処理施設維持管理業務等）	工事請負費	66,364千円（管きよ移設工事等）	負担金補助及び交付金	14,962千円（汚泥処理負担金等）	その他	59,258千円（直営経費）	築造費	33,400千円	（内訳）工事請負費	33,400千円（統合関連工事）	・集落排水使用料	193,320千円	・一般会計繰入金	530,711千円	・集落排水事業債	180,400千円	・集落排水府補助金	12,450千円	・その他	55,919千円
施設管理費	415,184千円																														
（内訳）需用費	70,029千円（光熱水費・修繕料等）																														
委託料	204,571千円（処理施設維持管理業務等）																														
工事請負費	66,364千円（管きよ移設工事等）																														
負担金補助及び交付金	14,962千円（汚泥処理負担金等）																														
その他	59,258千円（直営経費）																														
築造費	33,400千円																														
（内訳）工事請負費	33,400千円（統合関連工事）																														
・集落排水使用料	193,320千円																														
・一般会計繰入金	530,711千円																														
・集落排水事業債	180,400千円																														
・集落排水府補助金	12,450千円																														
・その他	55,919千円																														
担当課	上下水道部 総務課 お客様サービス課 下水道課	電話	直通 22-6503 内線 72-370 直通 22-6500 内線 72-210 直通 23-2085 内線 72-401																												

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	水道事業（水道事業会計）				継続	
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
4,670,500	国	府	企業債	その他	一般財源	3,045,100
	71,482	7,443	650,000	3,941,575		
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>市民生活や産業活動を支える重要なライフラインとして、災害に強い水道施設の整備に取り組みます。</p> <p>本年度は、堀山送水管布設替工事など老朽化した施設や管路の更新を計画的に進め、水道水の安定供給に努めます。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>【主な事業】</p> <p>建設改良事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 堀山送水管布設替工事 多保市正明寺線橋梁架替に伴う配水管布設替工事 他 <p>3 事業費の内訳</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 堀山送水管布設替工事 311,000千円 多保市正明寺線橋梁架替に伴う配水管布設替工事 48,000千円 <p>4 主な特定財源</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道料金 1,742,626千円 企業債 650,000千円 加入金 62,674千円 国庫補助金 71,482千円 一般会計繰入金 391,039千円 <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道料金改定（H29.7使用分～、平均改定率13.76%） 簡易水道事業の水道事業への統合 						
担当課	上下水道部 総務課 お客様サービス課 水道課	電話	直通22-6503 内線72-370 直通22-6500 内線72-210 直通22-6502 内線72-300			

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり				
事業名	下水道事業（下水道事業会計）				継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)				前年度 予算額
7,292,500	国	府	企業債	その他	一般財源
	1,044,250	1,000	1,358,800	4,888,450	
<p>1 事業の背景・目的 平成26年8月豪雨災害に伴う国・府・市の検討結果に基づく治水対策及び土師地区の浸水対策を推進し、防災対策の強化に取り組みます。また、ライフライン施設として安心・安全で快適な市民生活を持続していくために適切な施設の維持管理と計画的な施設の改築更新を行っていきます。</p> <p>2 事業の内容 【主な事業】 建設改良事業 ・法川排水区小谷ヶ丘貯留施設設置工事 ・土師排水区段畑雨水ポンプ場建設工事 ・福知山終末処理場し渣沈砂除去設備更新工事</p> <p>3 事業費の内訳 【主な事業】 管渠施設拡張事業費 雨水管渠布設事業費 ・法川排水区小谷ヶ丘貯留施設設置工事 493,000千円 ポンプ場施設拡張事業費 雨水排水ポンプ場築造事業費 ・土師排水区段畑雨水ポンプ場建設工事 500,000千円 処理場施設改良事業費 水処理・汚泥処理施設改築更新事業費 ・福知山終末処理場し渣沈砂除去設備更新工事 150,000千円</p> <p>4 主な特定財源 ・下水道使用料 1,706,026千円 ・一般会計負担金等 883,131千円 ・企業債 1,358,800千円 ・国府補助金 1,045,250千円</p> <p>5 その他 ・下水道使用料改定（H29.7使用分～、平均改定率17.47%）</p>					
担当課	上下水道部 総務課 お客様サービス課 下水道課	電話	直通 22-6503 直通 22-6500 直通 23-2085	内線 72-370 内線 72-210 内線 72-401	

施策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり（生活基盤）																							
事業名	石原土地区画整理事業 （石原土地区画整理事業特別会計）					継続																		
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																		
609,000	国	府	市債	その他	一般財源	700,600																		
				609,000																				
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>石原地区は、近畿自動車道敦賀線の開通に伴い、広域的観点から福知山 I C へのアクセス道路の整備が必要となります。また、既存の幹線道路や生活道路は拡幅等による改善、更には長田野工業団地に近いことから良質な住宅地の供給が求められています。</p> <p>石原土地区画整理事業では、都市基盤及び都市施設を整備し、生活利便性の向上を図るとともに、良好な生活環境を形成する市街地づくりを行うことを目的としています。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>本事業は、平成4年度に事業着手、以後、都市基盤及び都市施設の整備を行い、平成21年度に換地処分を完了しました。特別会計の早期閉鎖にむけ、平成29年度は、積極的な保留地の売却に努めます。</p> <p>3 事業費の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">旅費</td> <td style="text-align: right;">57千円</td> </tr> <tr> <td>需用費（消耗品費、修繕料ほか）</td> <td style="text-align: right;">503千円</td> </tr> <tr> <td>役務費（通信運搬費、広告料、手数料）</td> <td style="text-align: right;">9,721千円</td> </tr> <tr> <td>委託料（除草業務、現場技術業務ほか）</td> <td style="text-align: right;">5,460千円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">2,000千円</td> </tr> <tr> <td>公債費</td> <td style="text-align: right;">1,087千円</td> </tr> <tr> <td>前年度繰上充用金</td> <td style="text-align: right;">590,172千円</td> </tr> </table> <p>4 財源の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">保留地処分金</td> <td style="text-align: right;">608,941千円</td> </tr> <tr> <td>雑入（保留地電柱占用料）</td> <td style="text-align: right;">59千円</td> </tr> </table>							旅費	57千円	需用費（消耗品費、修繕料ほか）	503千円	役務費（通信運搬費、広告料、手数料）	9,721千円	委託料（除草業務、現場技術業務ほか）	5,460千円	工事請負費	2,000千円	公債費	1,087千円	前年度繰上充用金	590,172千円	保留地処分金	608,941千円	雑入（保留地電柱占用料）	59千円
旅費	57千円																							
需用費（消耗品費、修繕料ほか）	503千円																							
役務費（通信運搬費、広告料、手数料）	9,721千円																							
委託料（除草業務、現場技術業務ほか）	5,460千円																							
工事請負費	2,000千円																							
公債費	1,087千円																							
前年度繰上充用金	590,172千円																							
保留地処分金	608,941千円																							
雑入（保留地電柱占用料）	59千円																							
担当課	土木建設部都市整備課	電話	直通 24-7048 内線 4332																					

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり				
事業名	宅地造成事業(宅地造成事業特別会計)				継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)				前年度 予算額
22,600	国	府	市債	その他	一般財源
				22,600	
					22,500

1 事業の背景・目的

戸田地区は、出水時における由良川の氾濫により幾度となく浸水被害を被ってきました。こうした背景の中で、国土交通省が実施する由良川改修による築堤事業により、対象家屋の集団移転先用地を、併せて実施した「ほ場整備、区域内の既存集落隣接地に確保、造成を行い代替地として分譲するもので、地区計画を導入し「農」と「住」の一体的な整備による田園住区を創出していきます。

併せて、移転対象とならない既存集落についても移転先住宅用地と定期的に集落環境整備を行い、本集落の一体性を確保していきます。

2 事業の内容

[全体計画]

	非農用地造成事業	集落環境整備事業
開発区域	6.2 h a	6.7 h a
事業概要	宅地分譲 85区画 区画道路、公園施設、 防災設備、管路整備 事業年度：平成14年度 ～平成29年度	集落道路、幹線道路、 防災設備、公園緑地 事業年度：平成13年度～ 平成28年度

[平成29年度事業概要]

- ・造成地植栽工 1式
- ・未分譲宅地除草等委託料 1式
- ・雨水排水ポンプ施設点検清掃費 1式

3 事業費の内訳

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 1,200千円 ・報償費 224千円 ・前年度繰上充用金 18,561千円 | <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 195千円 ・事務費 1,340千円 ・予備費ほか 1,080千円 |
|--|--|

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7041 内線 4112
-----	------------	----	--------------------

施策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり																													
事業名	と畜場費特別会計					継続																								
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																								
32,500	国	府	市債	その他	一般財源	32,500																								
				32,500																										
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>京都府北部における農畜産振興、安心・安全な食肉供給施設並びに生産流通における重要な機能の維持確保を図ります。 また、地産地消及び食育の推進を目的とします。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>食用に供する牛・馬などのと畜解体が、衛生的かつ円滑に実施されるための施設の維持管理を行います。</p> <p style="text-align: center;">平成27年度 年間利用頭数</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>大動物（牛、馬）</td> <td style="text-align: right;">584頭</td> </tr> <tr> <td>小動物（仔牛等）</td> <td style="text-align: right;">2頭</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">586頭</td> </tr> </table> <p>3 事業費の内訳</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>一般管理費</td> <td style="text-align: right;">29,623千円</td> </tr> <tr> <td>食肉センター運営補助</td> <td style="text-align: right;">2,346千円</td> </tr> <tr> <td>一時借入金利息</td> <td style="text-align: right;">31千円</td> </tr> <tr> <td>予備費</td> <td style="text-align: right;">500千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">32,500千円</td> </tr> </table> <p>4 主な特定財源</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>施設使用料</td> <td style="text-align: right;">4,049千円</td> </tr> <tr> <td>一般会計繰入金</td> <td style="text-align: right;">1,996千円</td> </tr> <tr> <td>雑入（4市運営負担金ほか）</td> <td style="text-align: right;">26,455千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">32,500千円</td> </tr> </table>							大動物（牛、馬）	584頭	小動物（仔牛等）	2頭	合 計	586頭	一般管理費	29,623千円	食肉センター運営補助	2,346千円	一時借入金利息	31千円	予備費	500千円	合 計	32,500千円	施設使用料	4,049千円	一般会計繰入金	1,996千円	雑入（4市運営負担金ほか）	26,455千円	合 計	32,500千円
大動物（牛、馬）	584頭																													
小動物（仔牛等）	2頭																													
合 計	586頭																													
一般管理費	29,623千円																													
食肉センター運営補助	2,346千円																													
一時借入金利息	31千円																													
予備費	500千円																													
合 計	32,500千円																													
施設使用料	4,049千円																													
一般会計繰入金	1,996千円																													
雑入（4市運営負担金ほか）	26,455千円																													
合 計	32,500千円																													
担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044 内線 4126																											

施策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり																													
事業名	公設地方卸売市場事業特別会計					継続																								
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																								
6,600	国	府	市債	その他	一般財源	6,700																								
				6,600																										
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>生産者に安定的な販路を提供するとともに、消費者には生鮮食料品等を日々安定的に供給する多数の小売商等の仕入機構としての役割を果たし、取引の適正化と流通の円滑化を図ることにより、市民生活の安定に寄与することを目的として実施します。</p> <p>平成24年度から指定管理者制度（利用料金制）を導入しています。 平成29年度からは、指定管理者が変更となります。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>市場取引業務、施設管理について指定管理者に適正な指導助言を行い、協定に基づく施設修繕を実施します。</p> <p>価格安定対策事業の実施により、地場野菜の流通促進を図ります。</p> <p style="text-align: center;">平成27年度 青果取扱量・高</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>野菜</td> <td style="text-align: right;">1,275 t</td> <td style="text-align: right;">352,578千円</td> </tr> <tr> <td>果実</td> <td style="text-align: right;">873 t</td> <td style="text-align: right;">265,554千円</td> </tr> <tr> <td>花卉など</td> <td style="text-align: right;">42 t</td> <td style="text-align: right;">25,658千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">2,190 t</td> <td style="text-align: right;">643,790千円</td> </tr> </table> <p>3 事業費の内訳</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>一般管理費</td> <td style="text-align: right;">5,584千円</td> </tr> <tr> <td>一時借入金利子</td> <td style="text-align: right;">16千円</td> </tr> <tr> <td>予備費</td> <td style="text-align: right;">1,000千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">6,600千円</td> </tr> </table> <p>4 主な特定財源</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>一般会計繰入金</td> <td style="text-align: right;">6,600千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">6,600千円</td> </tr> </table>							野菜	1,275 t	352,578千円	果実	873 t	265,554千円	花卉など	42 t	25,658千円	合 計	2,190 t	643,790千円	一般管理費	5,584千円	一時借入金利子	16千円	予備費	1,000千円	合 計	6,600千円	一般会計繰入金	6,600千円	合 計	6,600千円
野菜	1,275 t	352,578千円																												
果実	873 t	265,554千円																												
花卉など	42 t	25,658千円																												
合 計	2,190 t	643,790千円																												
一般管理費	5,584千円																													
一時借入金利子	16千円																													
予備費	1,000千円																													
合 計	6,600千円																													
一般会計繰入金	6,600千円																													
合 計	6,600千円																													
担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044 内線 4126																											

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり							
事業名	福知山市下夜久野地区財産区管理会特別会計					継続		
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額		
172	国	府	市債	その他	一般財源	172		
				172				
<p>1 事業の背景・目的 福知山市下夜久野地区財産区管理会条例に基づき、財産の保全並びに基金の管理を図ります。</p> <p>2 事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財産区有林の現地確認による保全管理 ・下夜久野地区財産区管理会に要する費用の財源及び財産区保有の財産の維持管理を実施する費用の財源確保 <p>3 事業費の内訳</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・管理経費 報酬 160千円 需用費(消耗品費) 3千円 役務費 1千円 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・維持経費 需用費(印刷製本費) 3千円 負担金補助及び交付金 4千円 積立金 1千円 </td> </tr> </table> <p>4 主な特定財源 福知山市下夜久野地区財産区財政調整基金</p>							<ul style="list-style-type: none"> ・管理経費 報酬 160千円 需用費(消耗品費) 3千円 役務費 1千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持経費 需用費(印刷製本費) 3千円 負担金補助及び交付金 4千円 積立金 1千円
<ul style="list-style-type: none"> ・管理経費 報酬 160千円 需用費(消耗品費) 3千円 役務費 1千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持経費 需用費(印刷製本費) 3千円 負担金補助及び交付金 4千円 積立金 1千円 							
担当課	地域振興部夜久野支所	電話	直通 37-1101 内線 74-9211					

政策名	行財政効率の高いまちづくり					
事業名	地域情報通信ネットワーク事業特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1,993,200	国	府	市債	その他	一般財源	1,171,000
			998,900	25,273	969,027	

1 事業の背景・目的

「e-ふくちやま」事業として平成18年度から実施している本事業は、平成30年度を最終目標として事業の民営化を進めています。

平成29年度においては、事業民営化に関する基本協定を締結した民間事業者に対して再整備費用等の財政支援を行うことで、民間事業者によるサービス提供環境の整備を推進します。これにより平成29年から本事業が終了する平成31年3月までを移行期間として、利用者のサービス移行を図ります。

また、従来の光ファイバー網や情報通信設備について、本事業終了までの間は継続して維持管理を行う必要があることから、施設の保守管理等を実施し、サービスの維持と安定供給を図ります。

2 事業の内容

(1) 情報通信環境再整備事業

公募型プロポーザルにより選定した民間事業者、株式会社ケイ・オプティコムに対して補助金や負担金等の財政支援を行い、平成30年度までに既存の「e-ふくちやま」情報通信環境から同社のサービスへの移行を図ります。

ア 民間事業者補助

三和・夜久野・大江の3方面への中継局や光ファイバー網の整備費等に対する補助

イ 利用者移行促進負担金

移行期間の間、(株)ケイ・オプティコムのテレビ再送信サービスを市のサービスと同額の500円(税抜)に減額するための負担金

ウ テレビ視聴支援金

移行期間の間、市のテレビ再送信サービスで使用料の減免を受けている生活保護世帯や非課税世帯等の利用者が、(株)ケイ・オプティコムのサービスに移行した場合の減免相当額を支給

(2) 「e-ふくちやま」保守管理事業

テレビ再送信施設のメンテナンス業務及び事故への対応業務、並びに情報通信基盤施設の保守業務等を実施します。

ア テレビ難視聴対策運営保守及び通信基盤施設保守業務

イ 地域イントラ設備機器保守業務

ウ 電柱共架料及び管路使用料・民地借地料

エ 放送・通信機器ハウジング料

オ 電柱支障移転

カ 加入金及び使用料の調定、納付書・督促状発送業務

3 事業費の内訳

(1) 事業費	1,214,418千円	
情報通信環境再整備事業		1,014,347千円 (継続)
「e-ふくちやま」保守管理事業		189,094千円 (継続)
「e-ふくちやま」保守管理事業 (職員人件費)		7,197千円 (継続)
「e-ふくちやま」整備事業		3,780千円 (継続)

(2) 公債費	776,782千円	
地方債元利償還金		776,373千円 (継続)
一時借入金利子		409千円 (継続)

(3) 予備費	2,000千円	
---------	---------	--

4 主な特定財源

(1) テレビ再送信サービス加入金	38千円
(2) テレビ再送信サービス使用料	20,814千円
(3) 光ファイバー網貸付収入	4,421千円
(4) 情報通信環境再整備事業債 (過疎債・辺地債・旧合併特例債)	998,900千円
(5) 一般会計繰入金	969,027千円

担当課

総務部情報推進課

電話

直通 24-7060 内線 3121